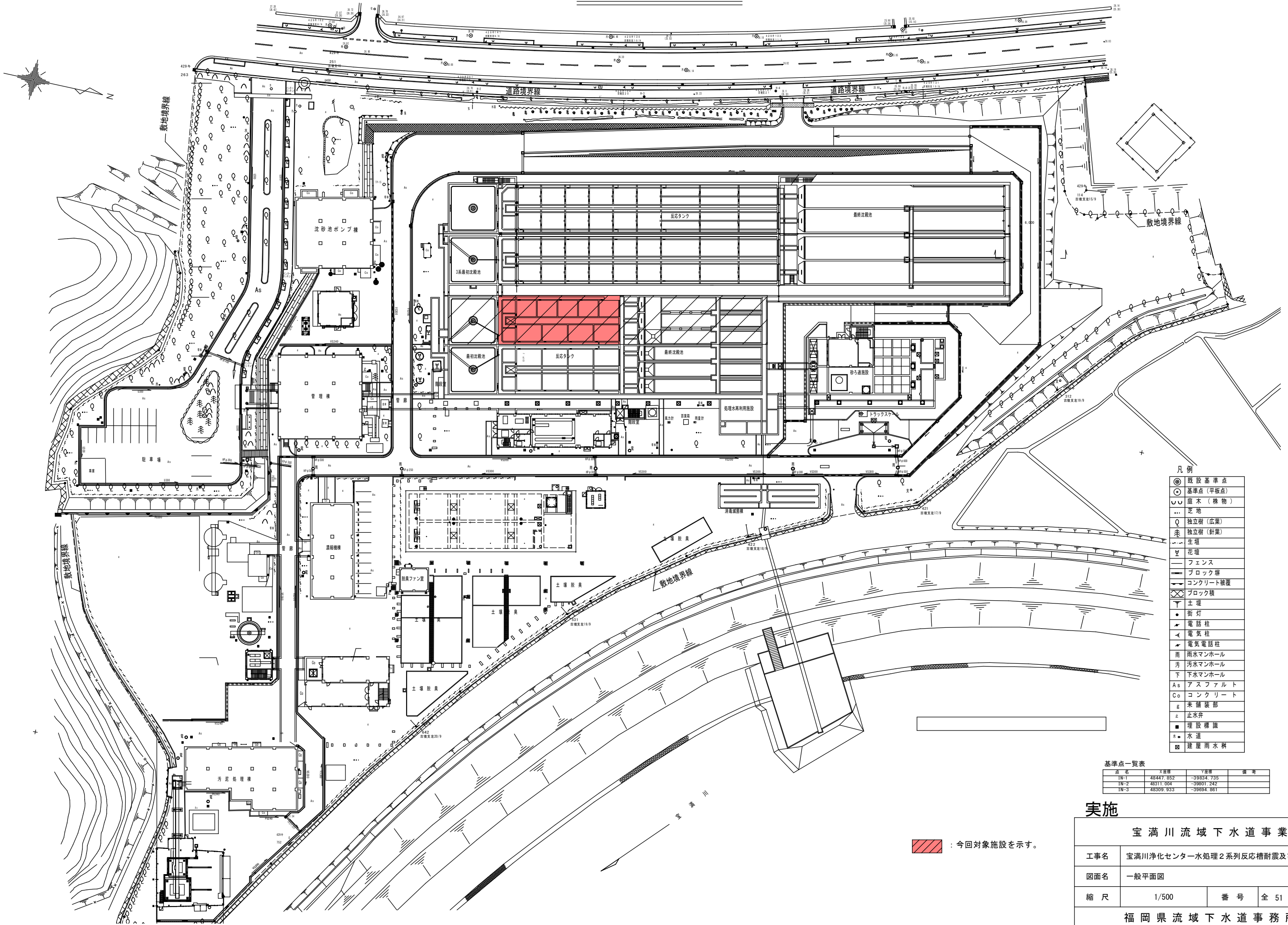


一般平面図

S=1/500



- 凡例
- ◎ 既設基準点
  - 基準点(平板点)
  - 〰 庭木(株物)
  - ... 芝地
  - 独立樹(広葉)
  - △ 独立樹(針葉)
  - 生垣
  - ▽ 花壇
  - フェンス
  - ブロック塀
  - コンクリート被覆
  - ▨ ブロック積
  - 土堤
  - 街灯
  - ⚡ 電話柱
  - ⚡ 電気柱
  - ⚡ 電気電話柱
  - 雨 雨水マンホール
  - 汚 汚水マンホール
  - 下 下水マンホール
  - A8 アスファルト
  - Co コンクリート
  - R 未舗装部
  - 止 止水弁
  - 埋設標識
  - 水道
  - 建屋雨水溝

基準点一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
IN-1	48447.852	-39834.735	
IN-2	48311.004	-39801.242	
IN-3	48309.933	-39894.861	

実施

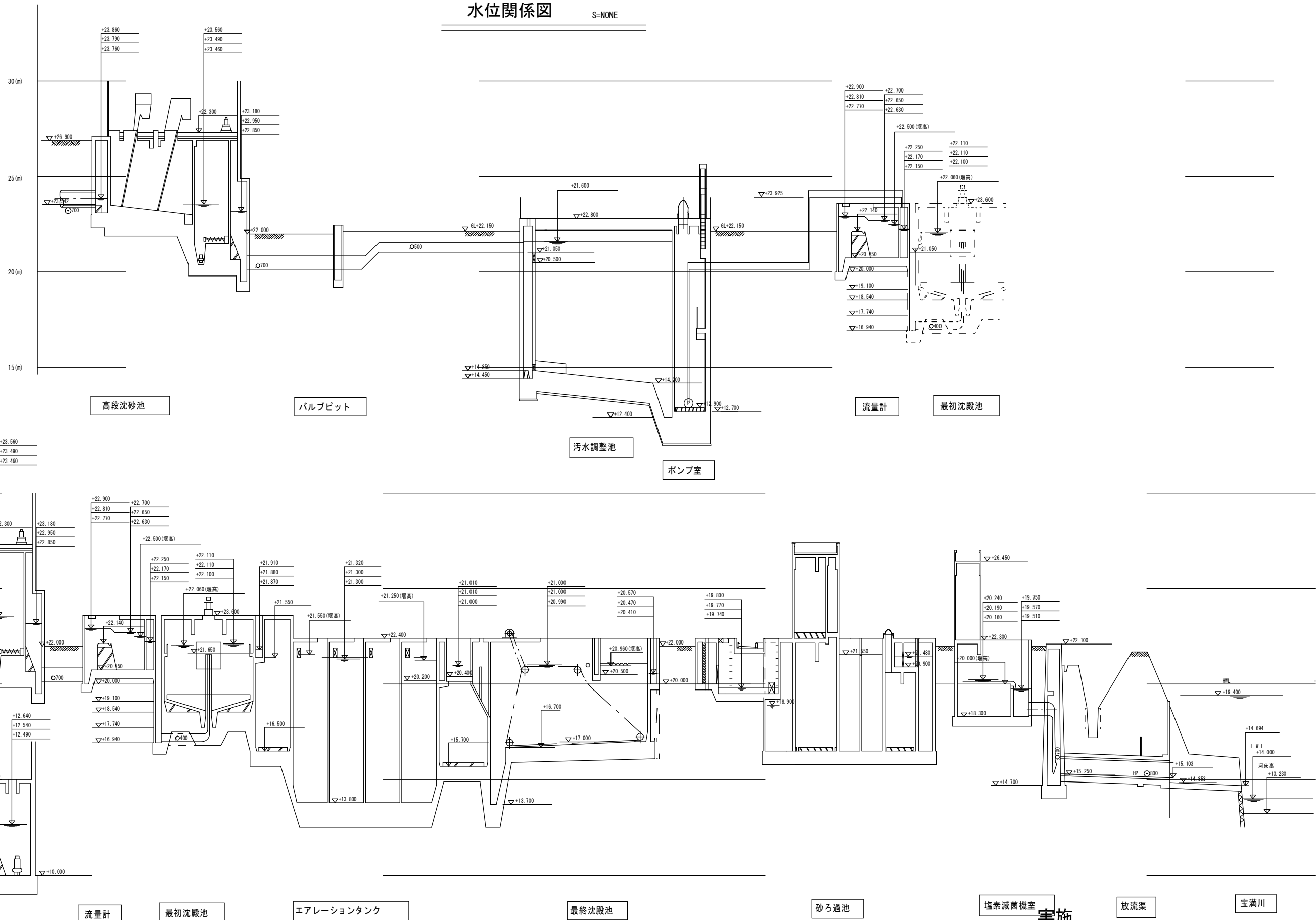
宝満川流域下水道事業

工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	一般平面図		
縮尺	1/500	番号	全51業之内1号
福岡県流域下水道事務所			

▨ : 今回対象施設を示す。

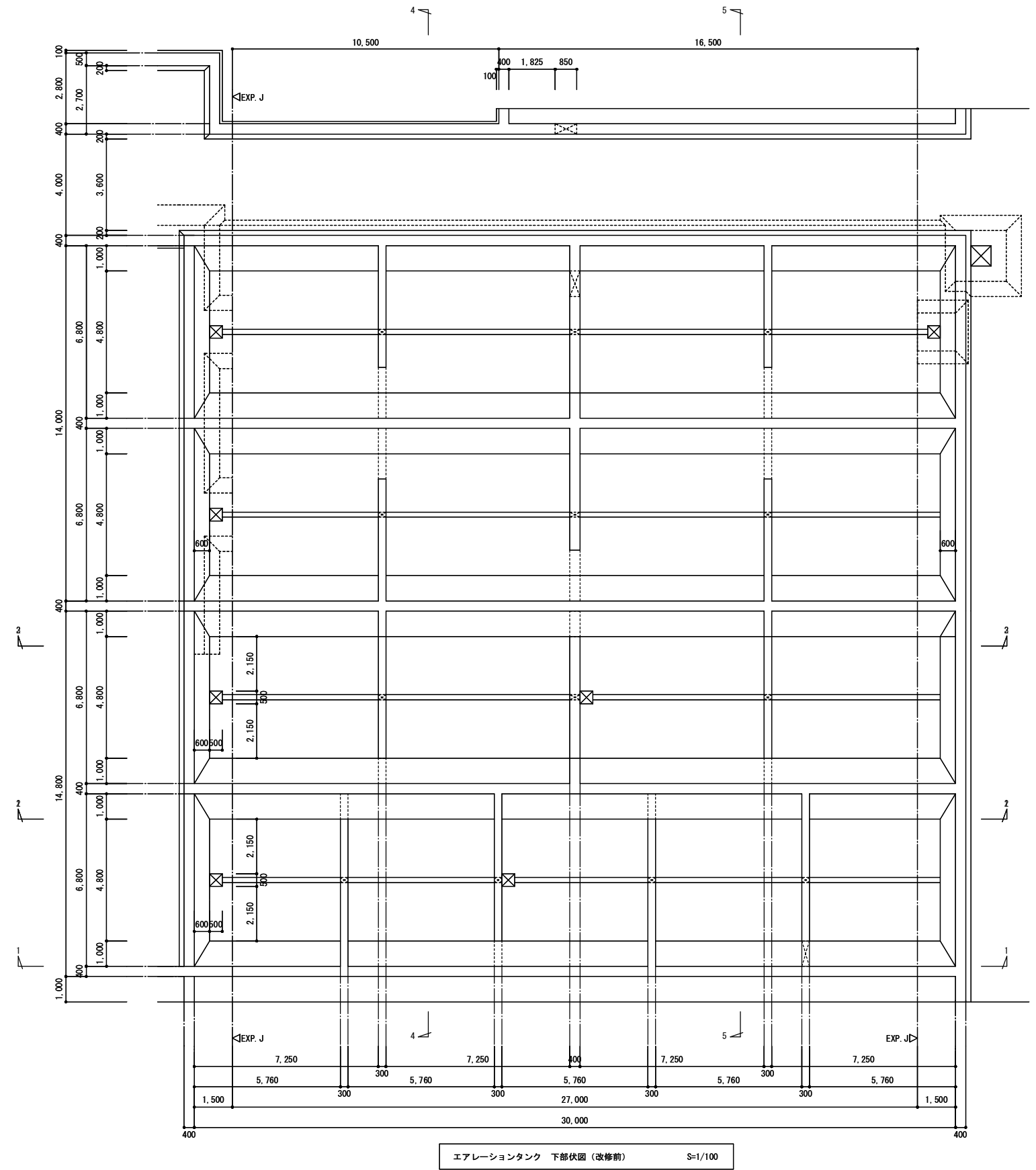
水位関係図

S=NONE



実施

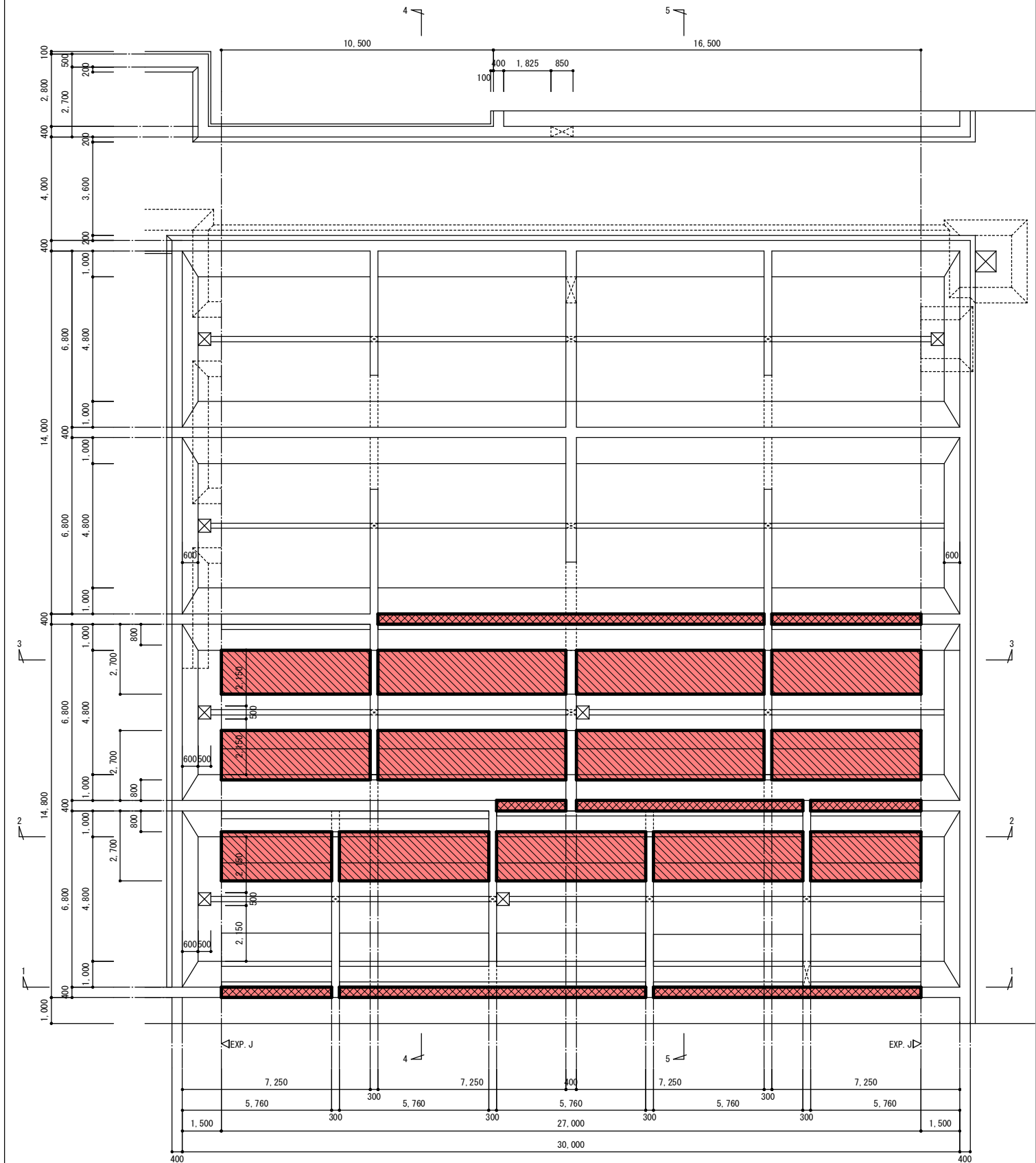
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	水位関係図		
縮尺	NONE	番号	全51葉之内2号
福岡県流域下水道事務所			



実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 下部伏図 (改修前)		
縮尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 3 号
福岡県流域下水道事務所			

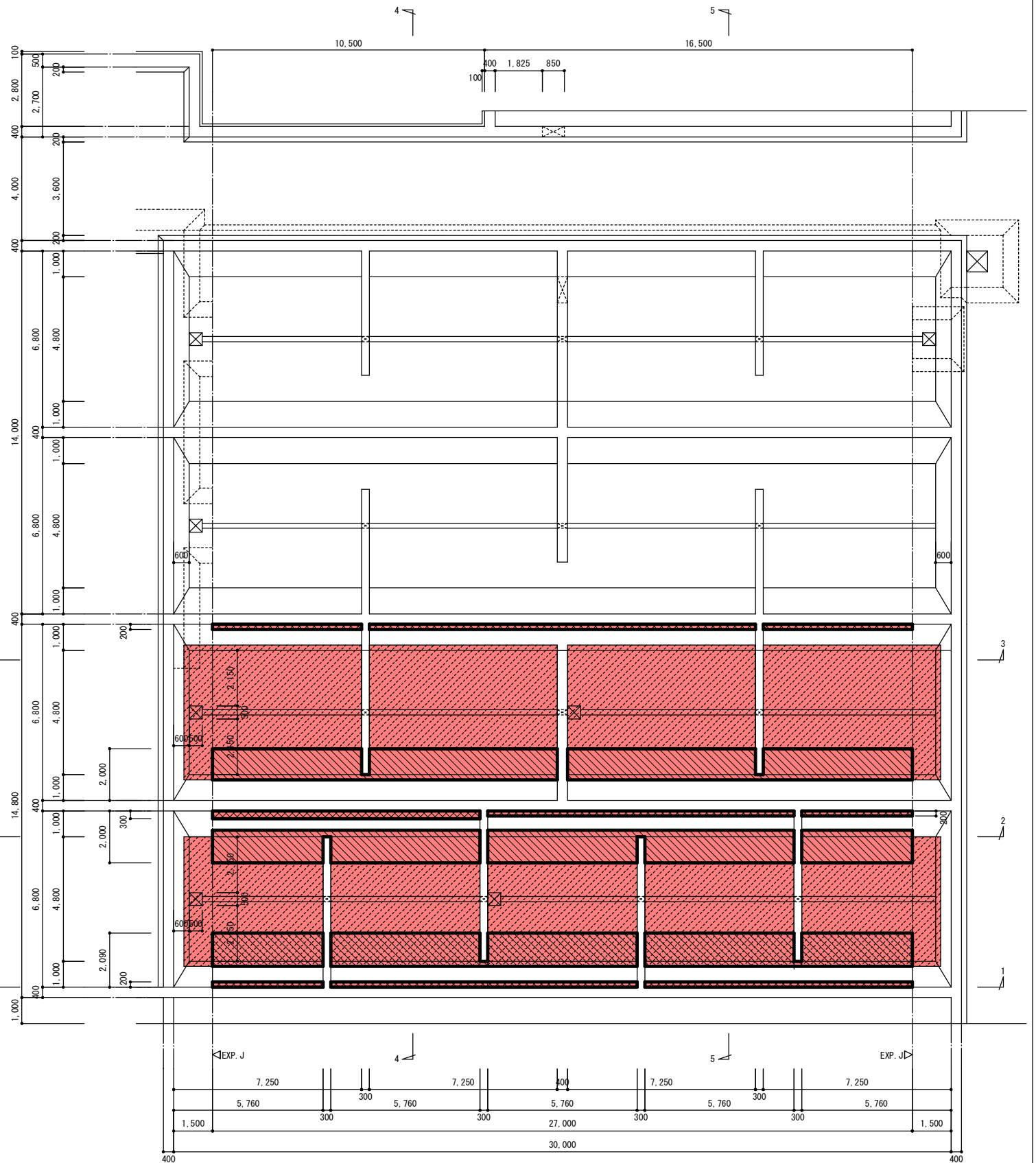
改修後



エアレーションタンク（改修後）あと施工せん断補強 S=1/100

特記なき限り

- 印はあと施工せん断補強(底版)の範囲を示す
- 印はあと施工せん断補強(壁)の範囲を示す



エアレーションタンク(改修後) 増打補強 S=1/100

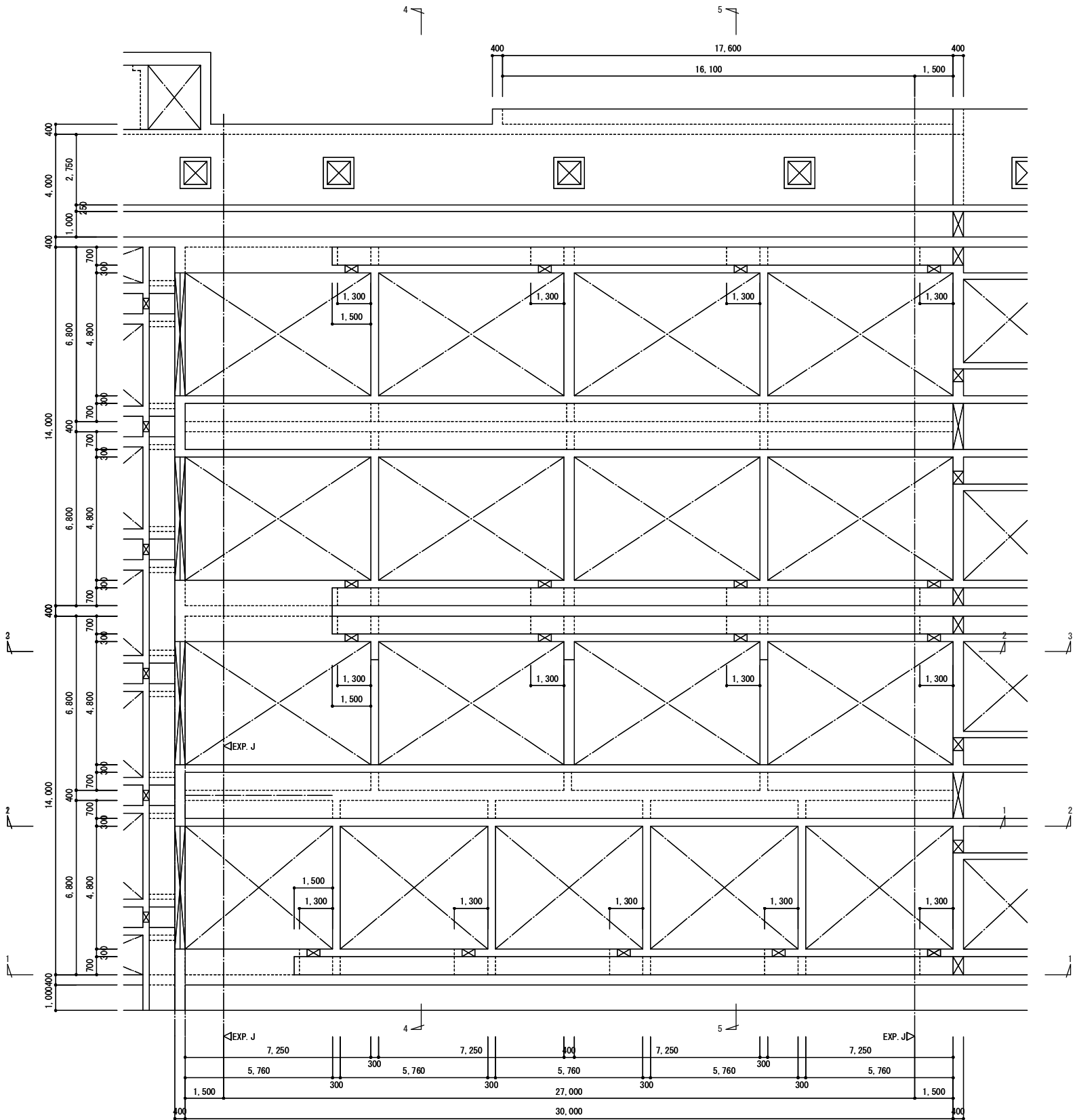
特記なき限り

- 印は増打補強(底版)の範囲を示す
- 印は増打補強(壁)の範囲を示す
- 範囲は無筋コンクリート範囲を示す

## 実施

### 宝満川流域下水道事業

工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 下部伏図(改修後)		
縮尺	1/100	番号	全 51 葉之内 4 号
福岡県流域下水道事務所			



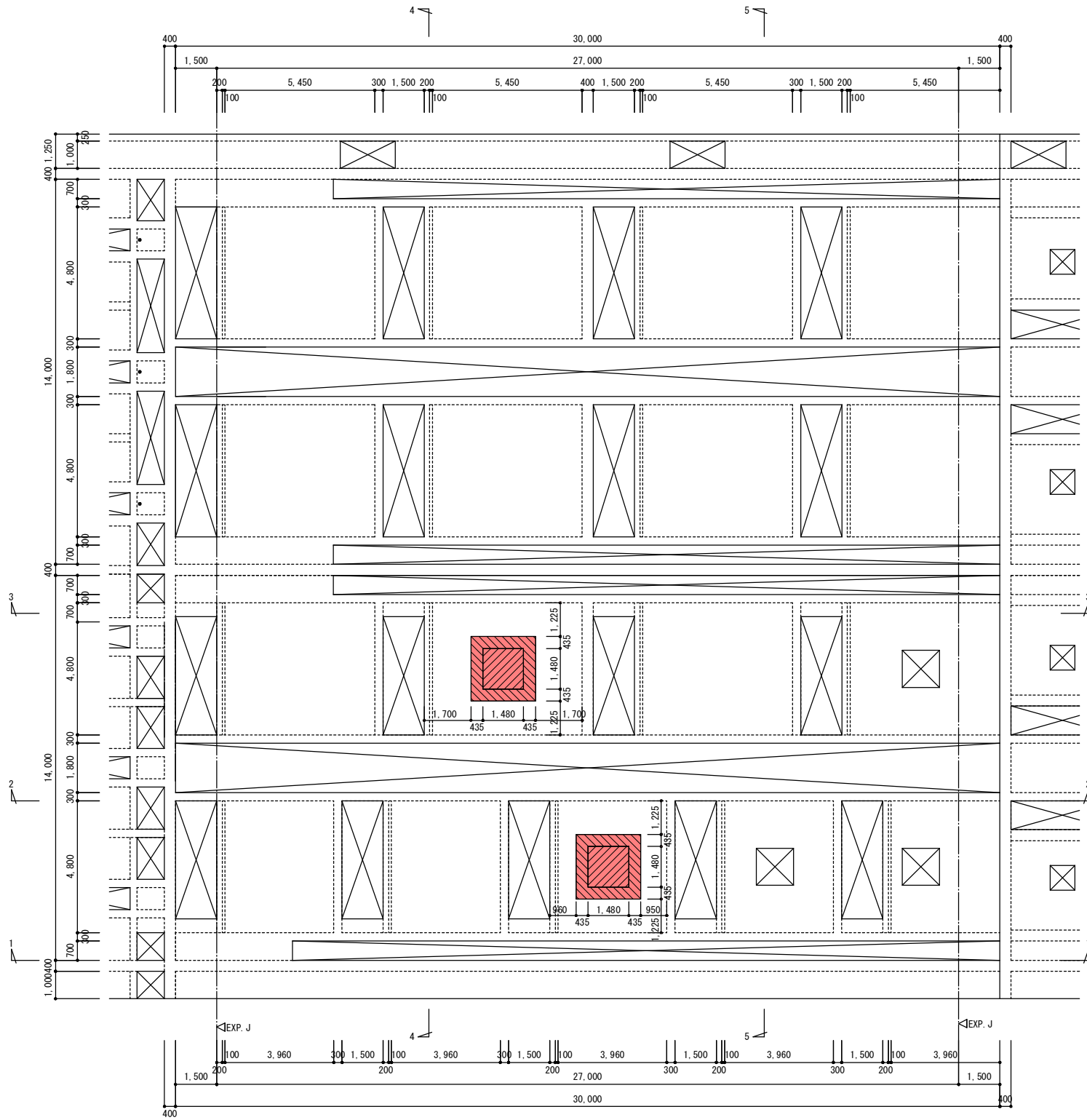
エアレーションタンク 水路部伏図(改修前・改修後) S=1/100

特記なき限り

・補強無し

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 水路部伏図(改修前・改修後)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 5 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



エアレーションタンク 上部伏図（改修前） S=1/100

特記なき限り

印は既存鉄筋はつり出しの範囲を示す

印は既存躯体撤去の範囲を示す

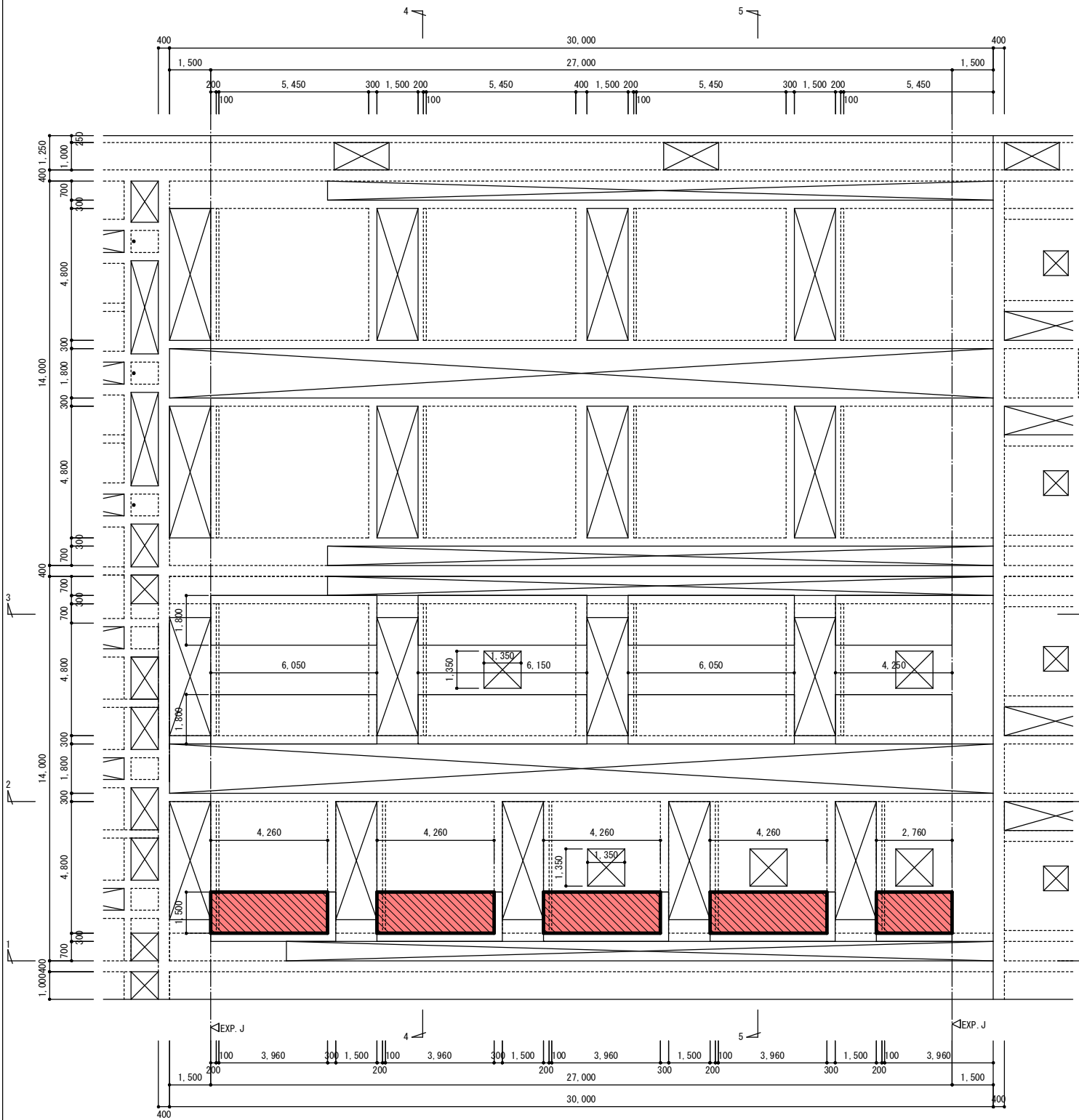
符号は既存図の符号を示す

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 上部伏図（改修前）		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 6 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



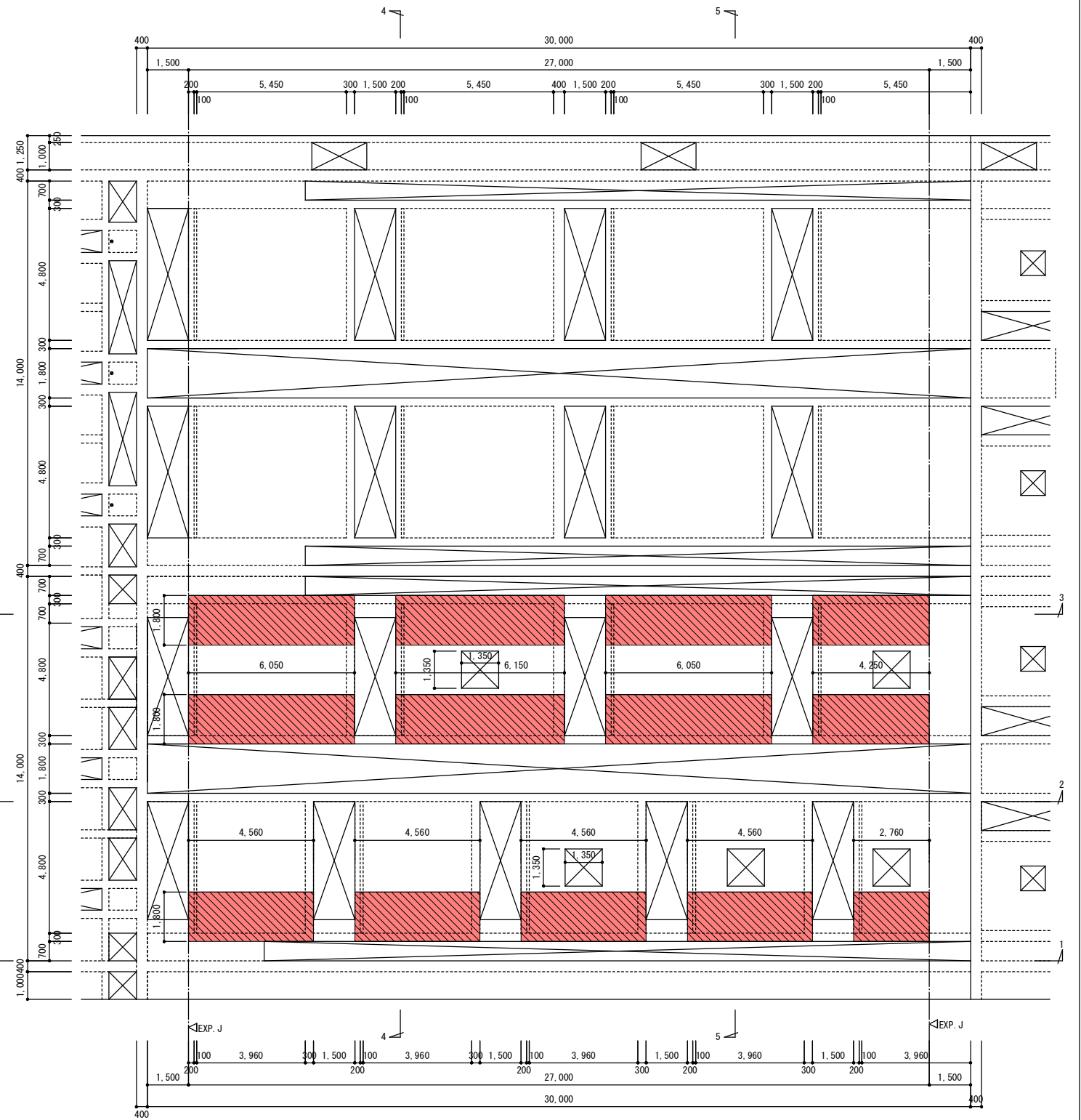
改修後



エアレーションタンク上部伏図(改修後) あと施工せん断補強 S=1/100

特記なき限り  
・印はあと施工せん断補強(頂版)の範囲を示す

改修後



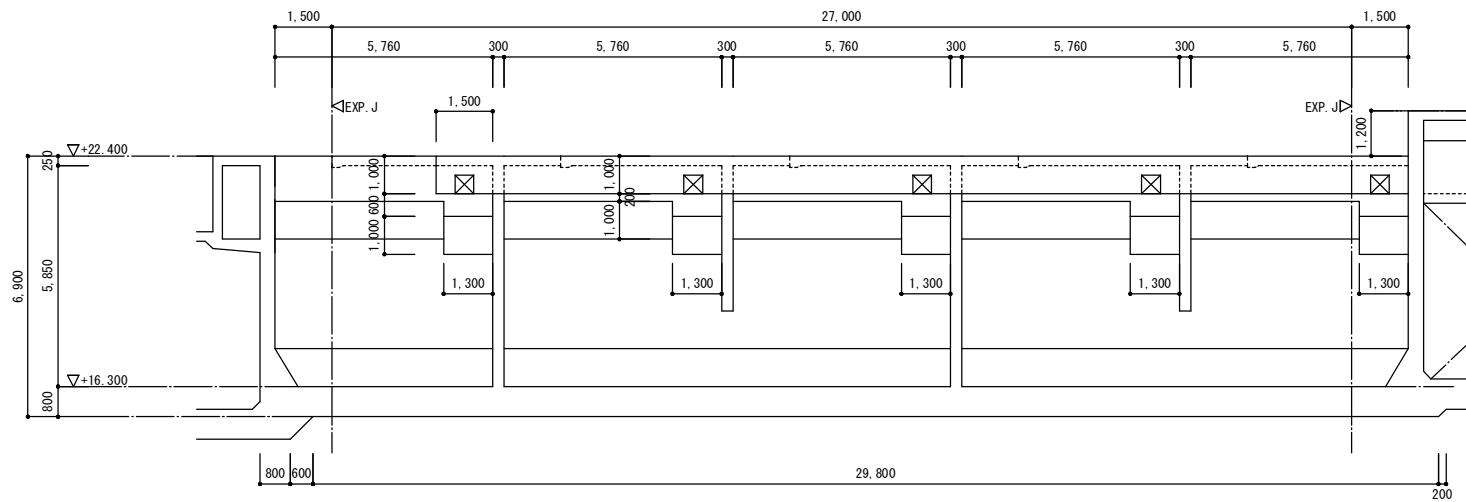
エアレーションタンク上部伏図(改修後) 増打補強 S=1/100

特記なき限り  
・印は増打補強(頂版)の範囲を示す

実施

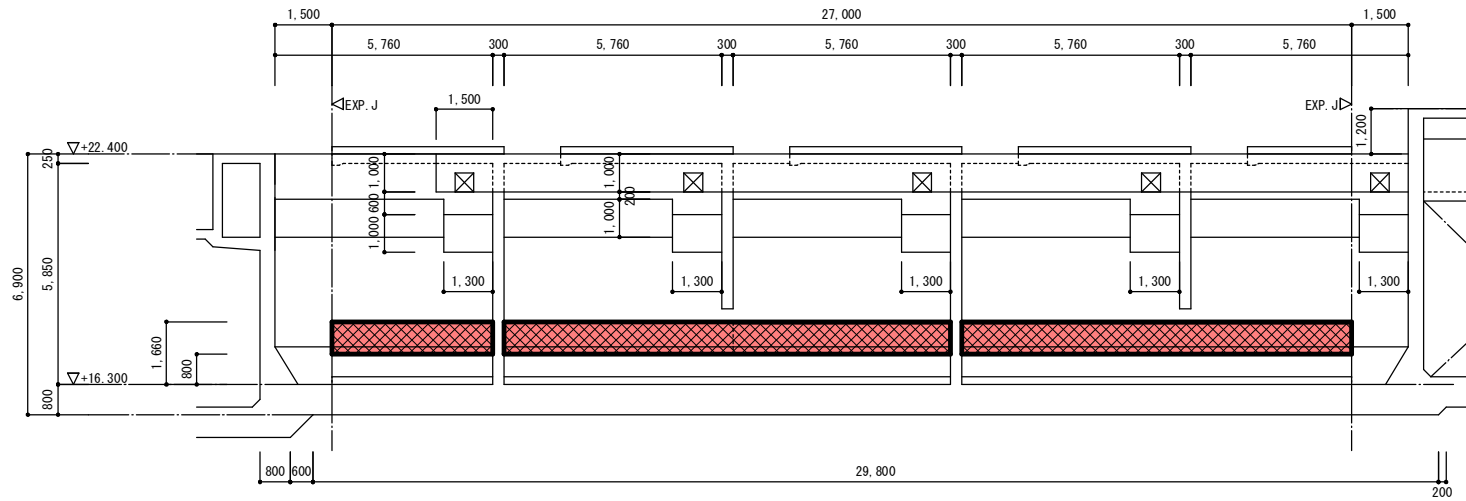
宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 上部伏図(改修後)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 7 号
福岡県流域下水道事務所			

改修前




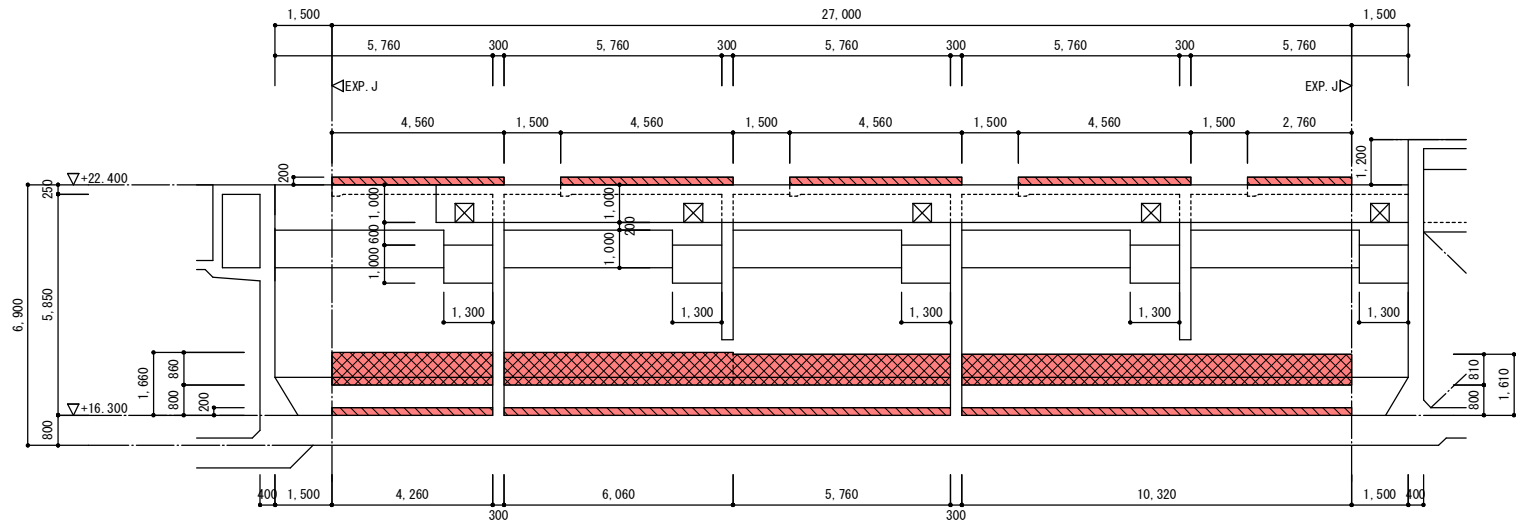
1-1断面図 (改修前) S=1/100

改修後





1-1断面図 (改修後) あと施工せん断補強 S=1/100

特記なき限り  
・  印はあと施工せん断補強 (壁) の範囲を示す



1-1断面図 (改修後) 増打補強 S=1/100

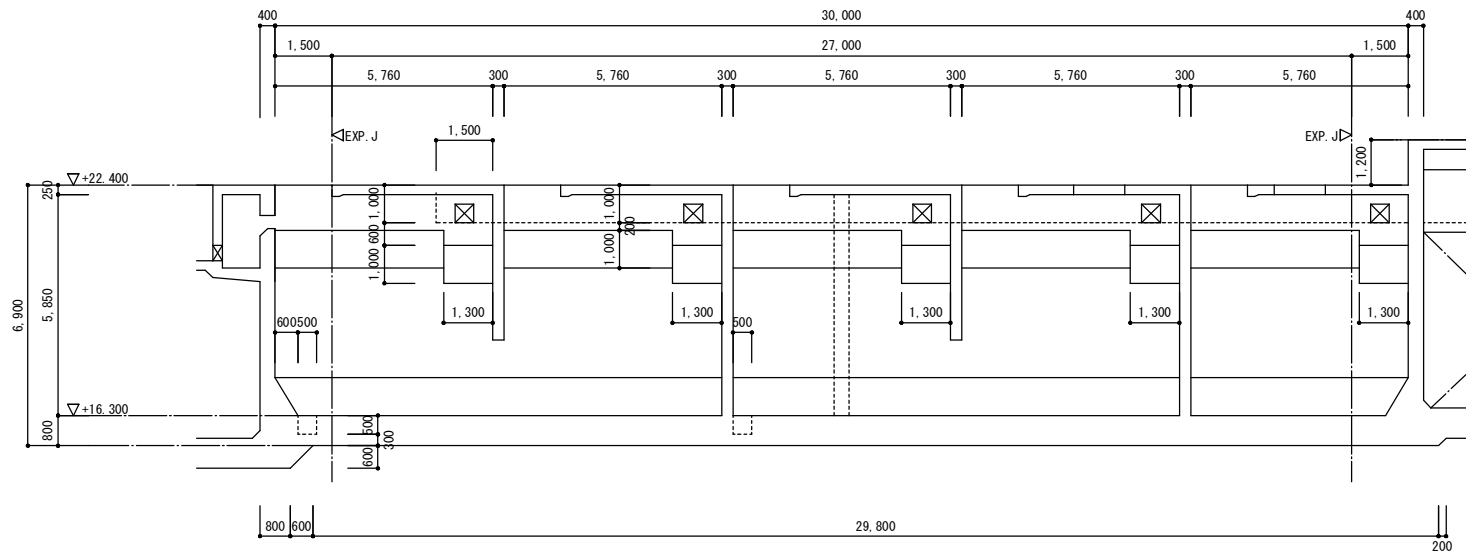
特記なき限り  
・  印は増打補強 (底板・頂版) の範囲を示す  
・  印は増打補強 (壁) の範囲を示す

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(1) (改修前・後)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 8 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



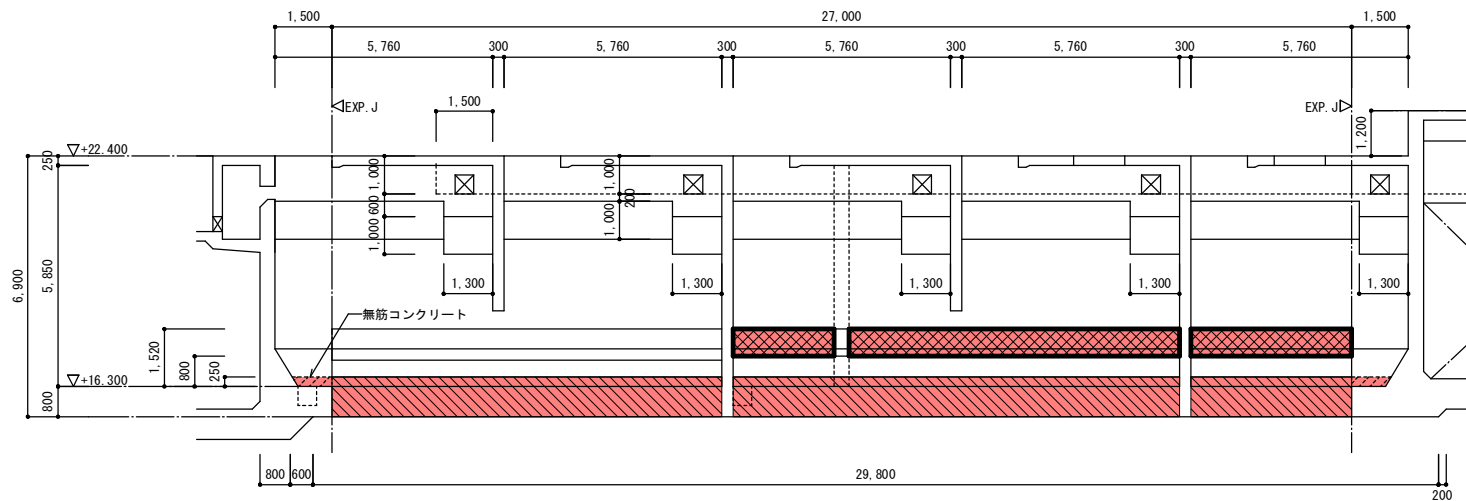
改修前



2-2断面図 (改修前)

S=1/100

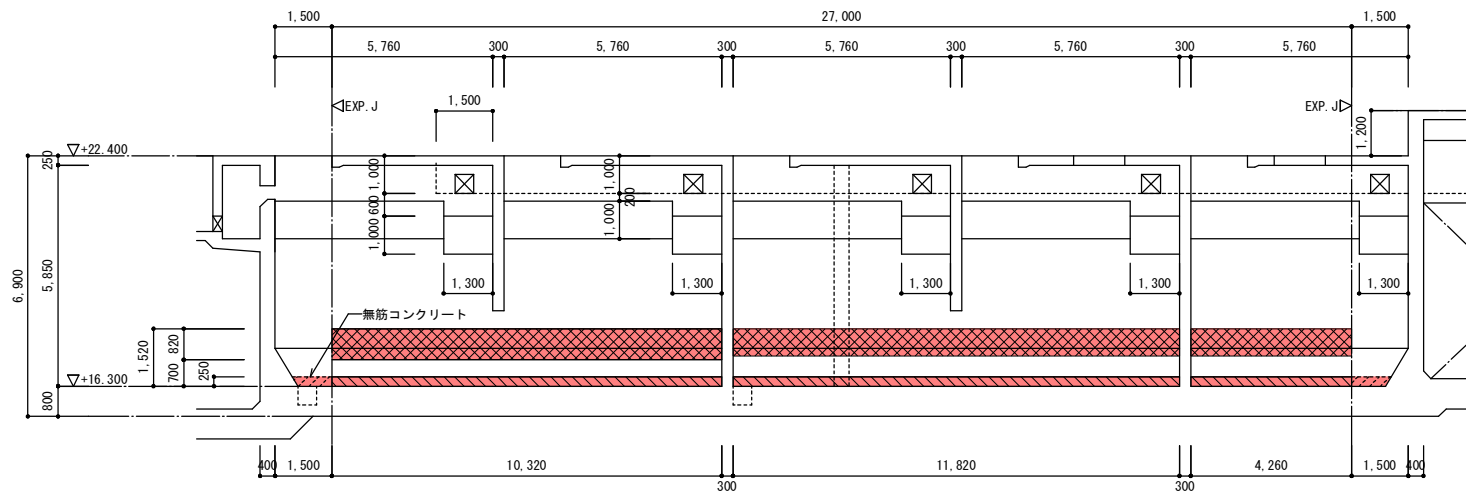
改修後



2-2断面図 (改修後) あと施工せん断補強

S=1/100

- 特記なき限り
- 印はあと施工せん断補強 (底版) の範囲を示す
  - 印はあと施工せん断補強 (壁) の範囲を示す
  - 範囲は無筋コンクリート範囲を示す



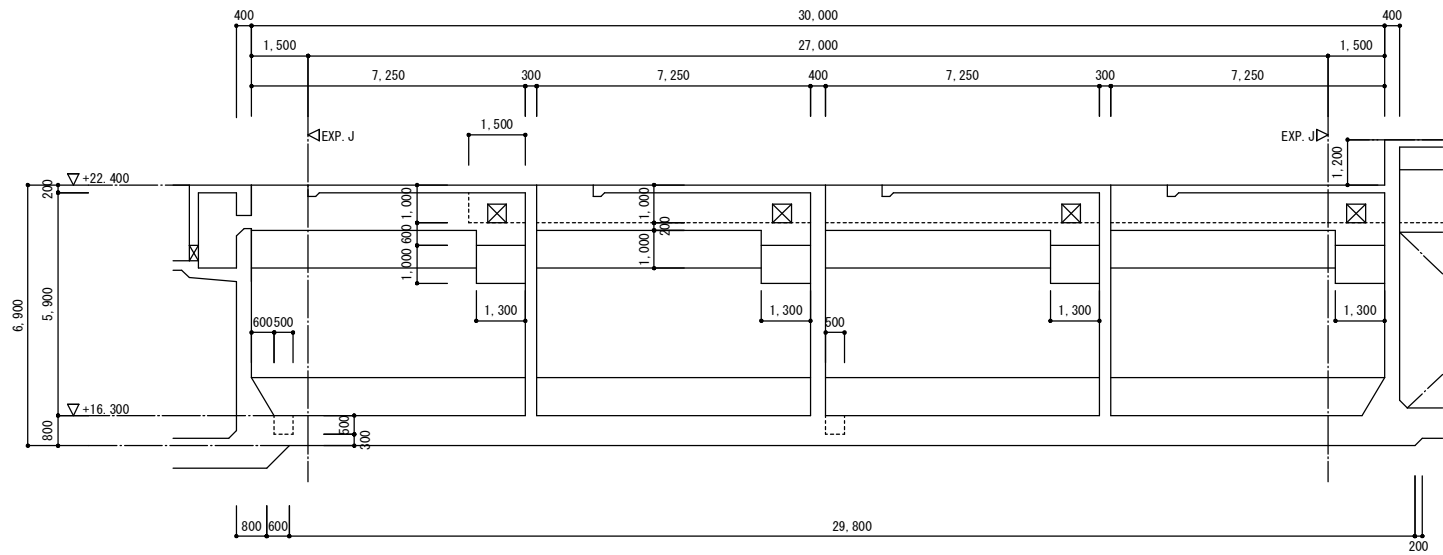
2-2断面図 (改修後) 増打補強

S=1/100

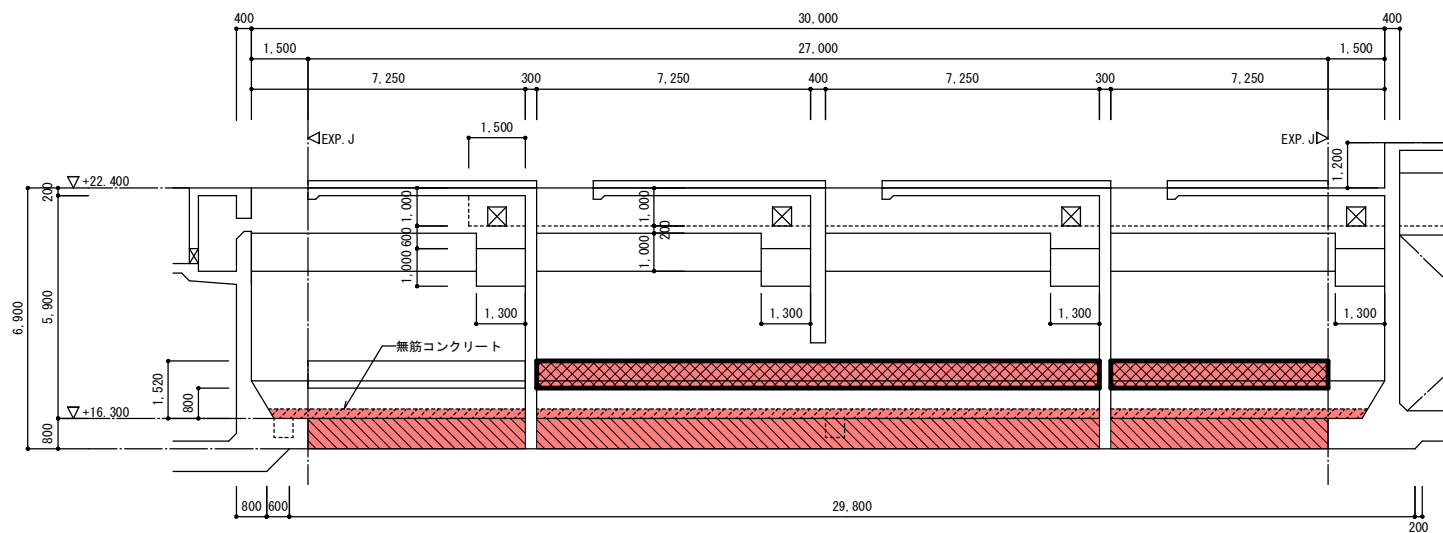
- 特記なき限り
- 印は増打補強 (底版) の範囲を示す
  - 印は増打補強 (壁) の範囲を示す
  - 範囲は無筋コンクリート範囲を示す

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(2) (改修前・後)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 9 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

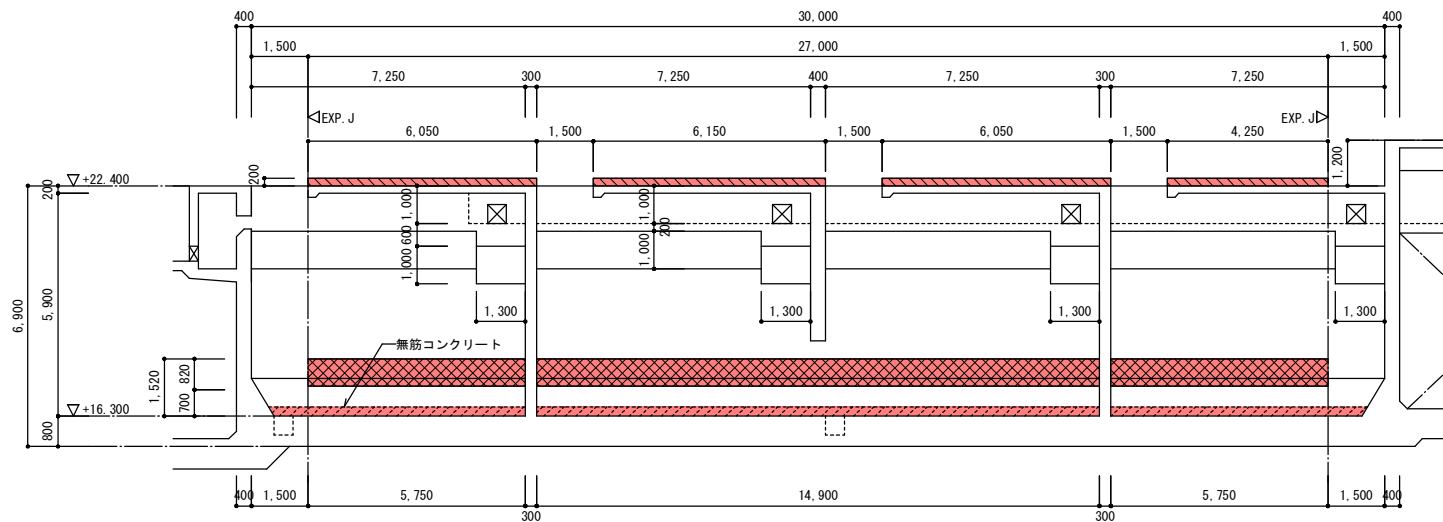


3-3断面図（改修前） S=1/100



3-3断面図（改修後）あと施工せん断補強 S=1/100

- 特記なき限り
- 印はあと施工せん断補強（底版）の範囲を示す
  - 印はあと施工せん断補強（壁）の範囲を示す
  - 範囲は無筋コンクリート範囲を示す



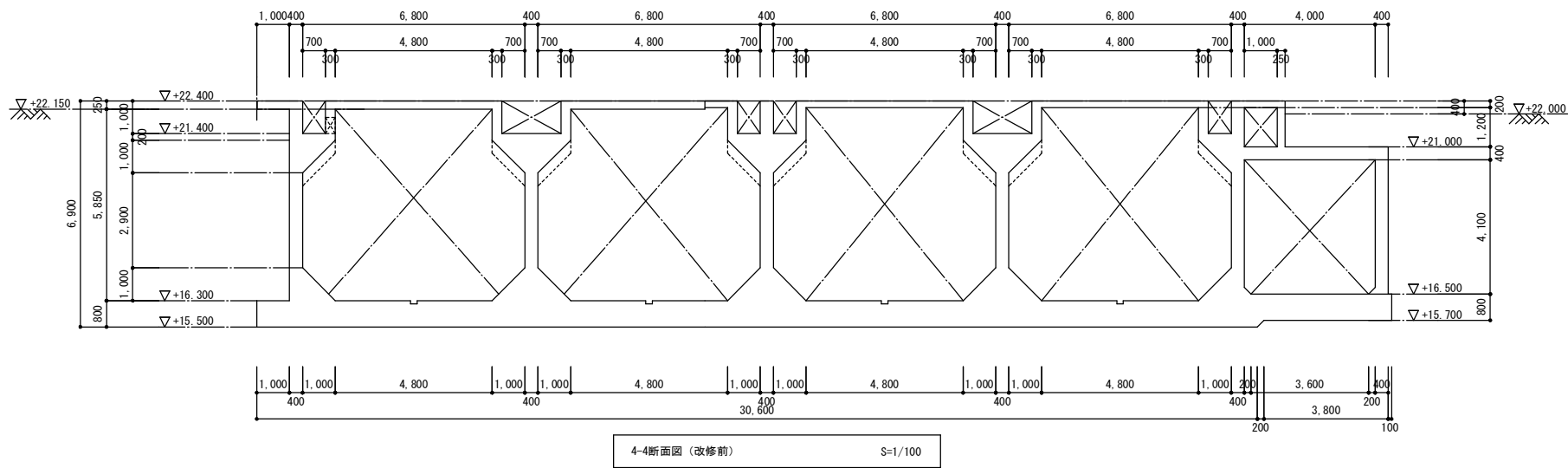
3-3断面図（改修後）増打補強 S=1/100

- 特記なき限り
- 印は増打補強（頂版）の範囲を示す
  - 印は増打補強（壁）の範囲を示す
  - 範囲は無筋コンクリート範囲を示す

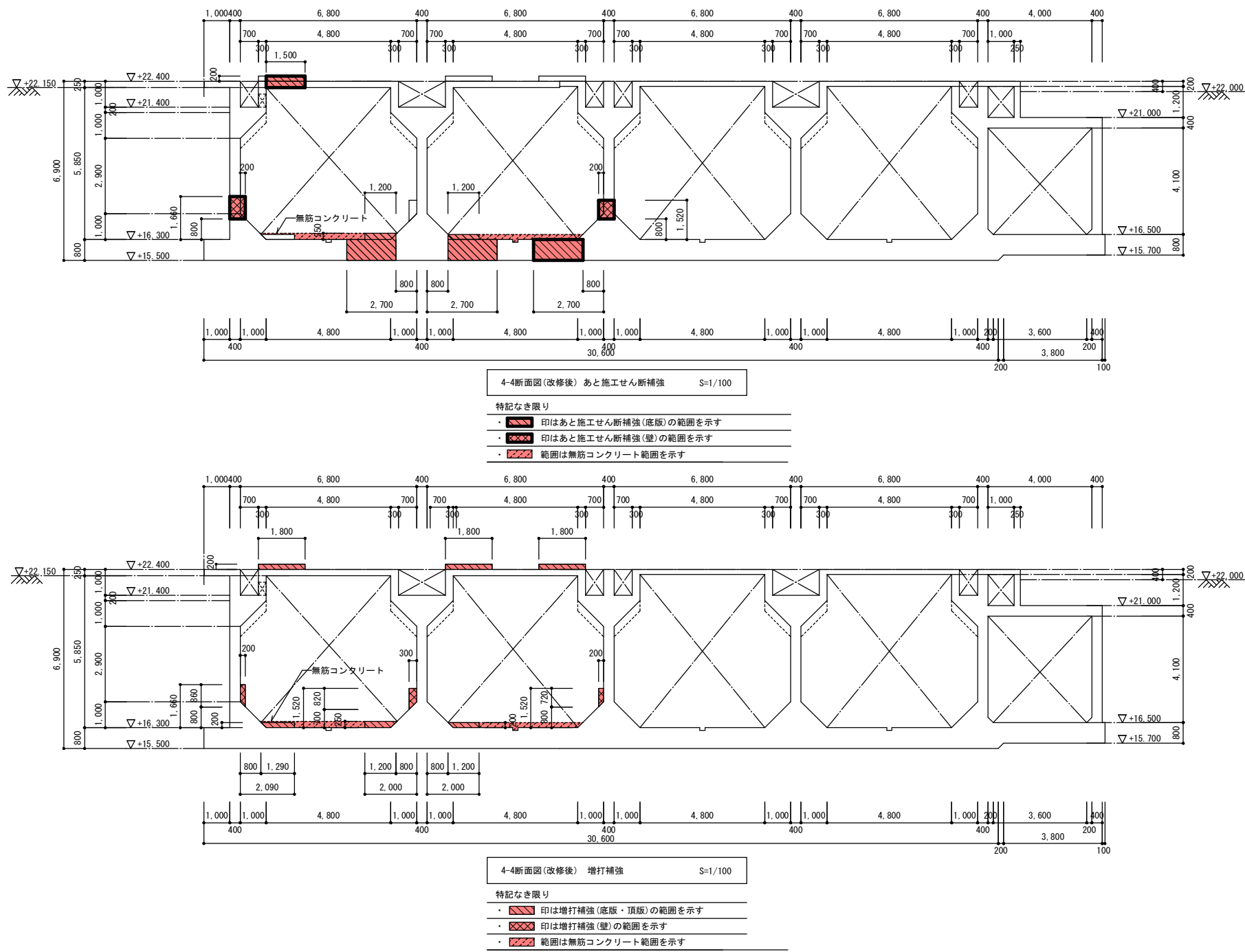
## 実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(3)（改修前・後）		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 10 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

改修前



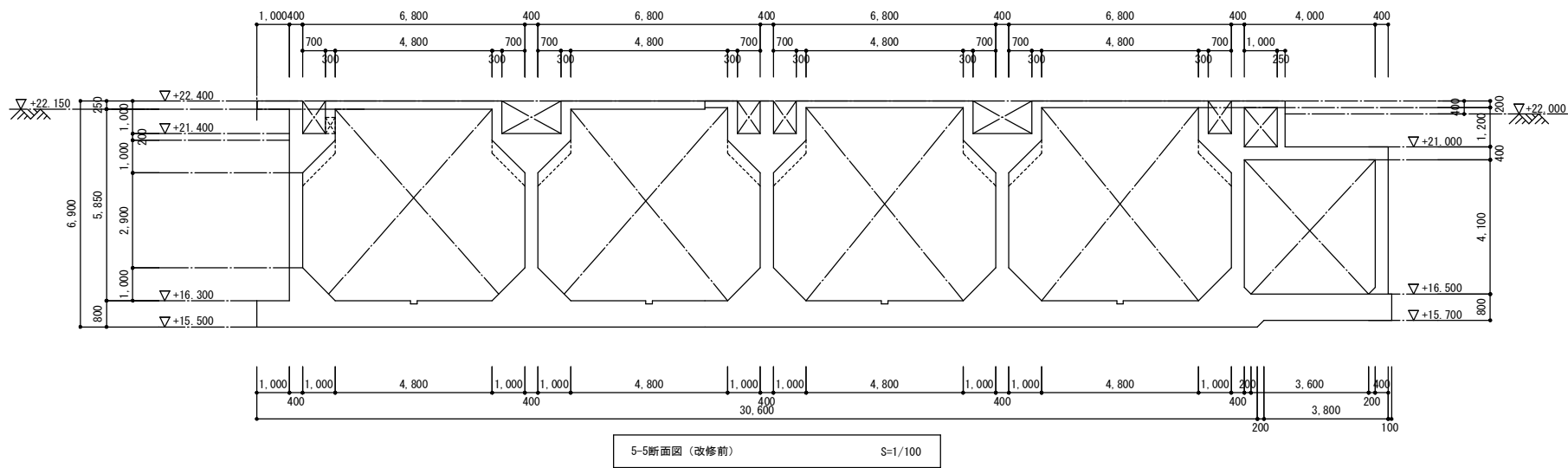
改修後



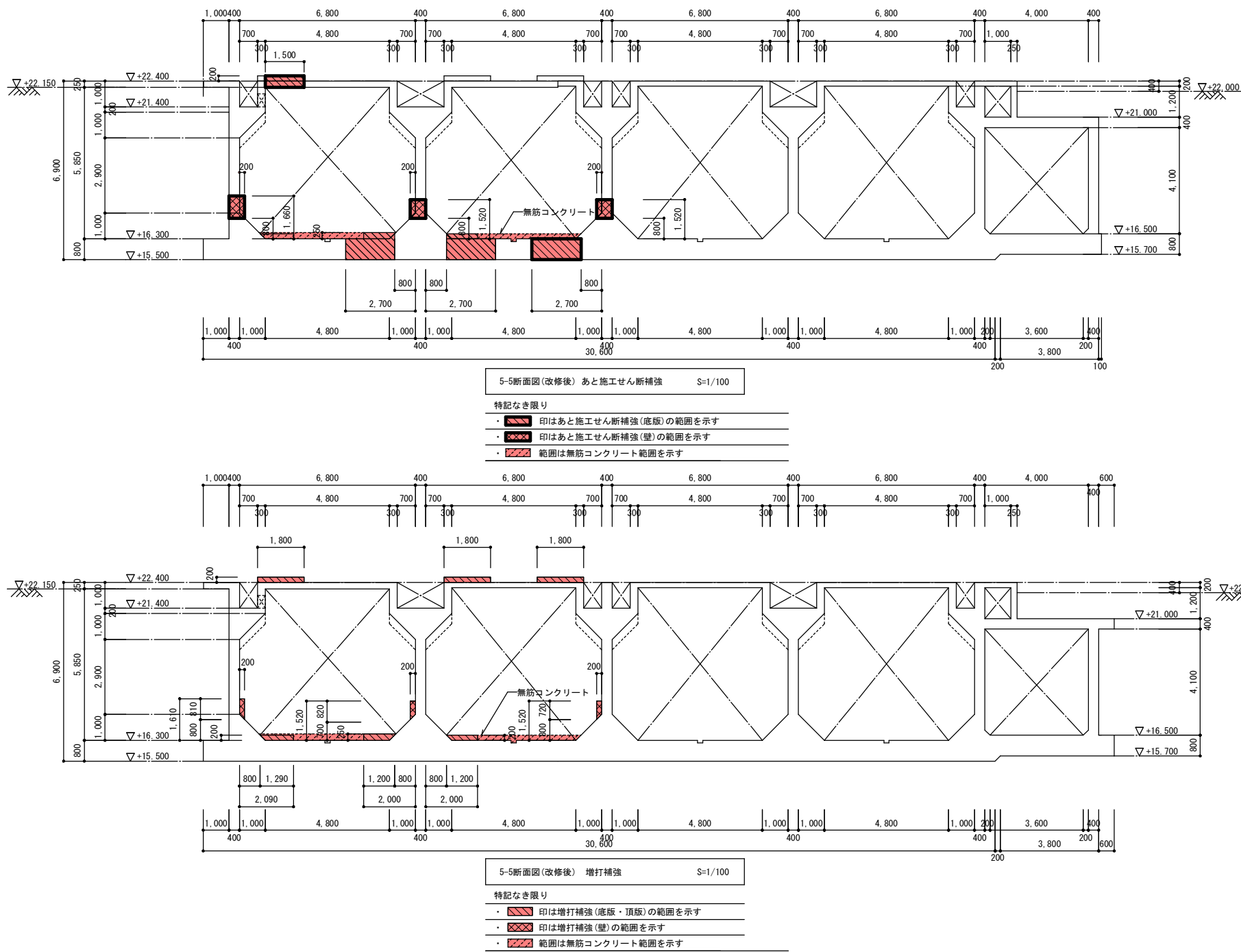
実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(4) (改修前・後)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 11 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

改修前

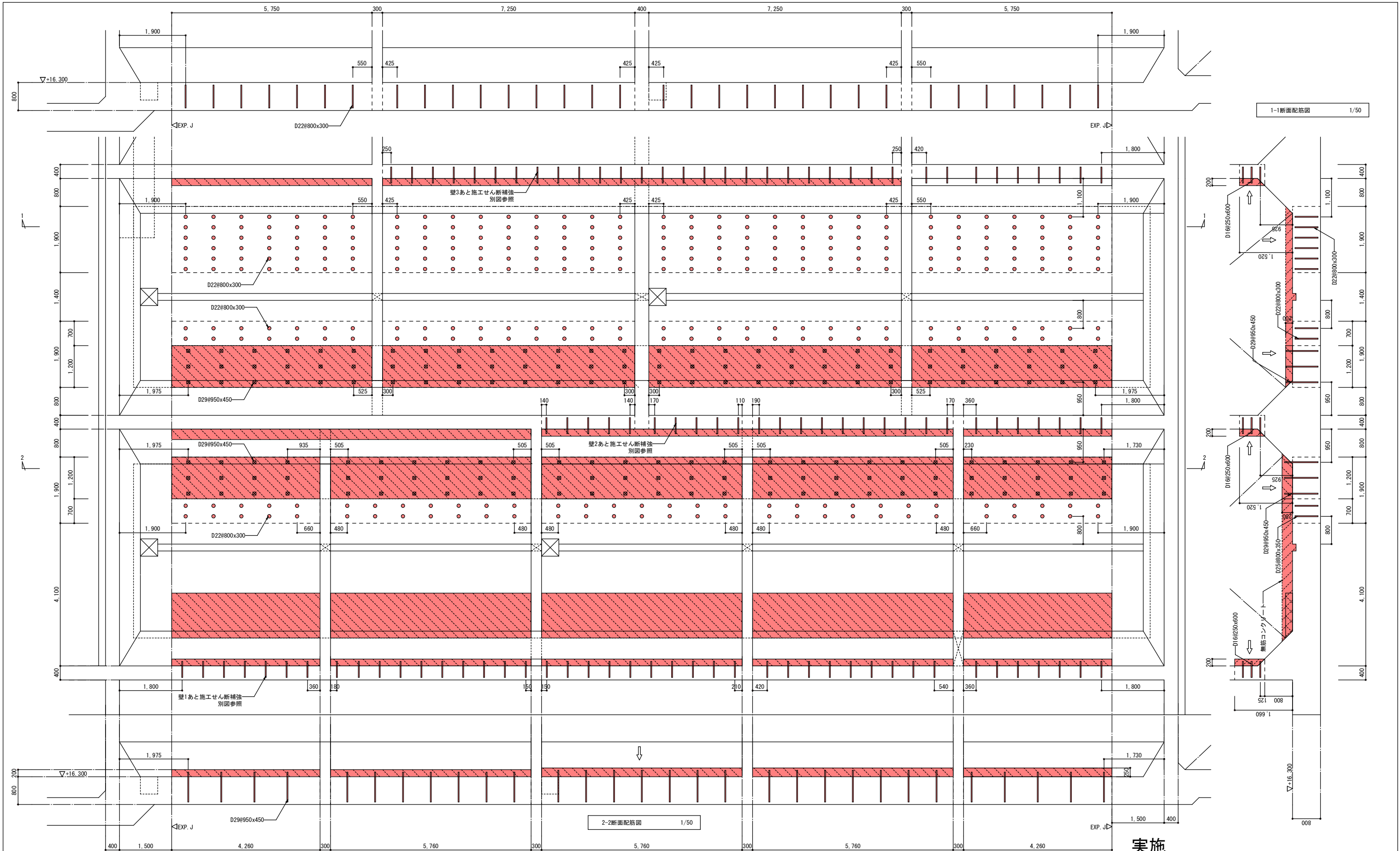


改修後



実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(5) (改修前・後)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 12 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



底版あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

特記なき限り  
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと  
・印はあと施工せん断補強鉄筋D22を示す  
・印はあと施工せん断補強鉄筋D29を示す  
・印は増打補強の範囲を示す(別図参照)  
・図中の は施工方向を示す

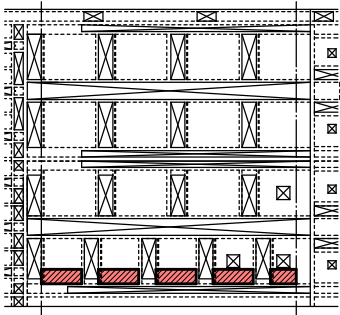
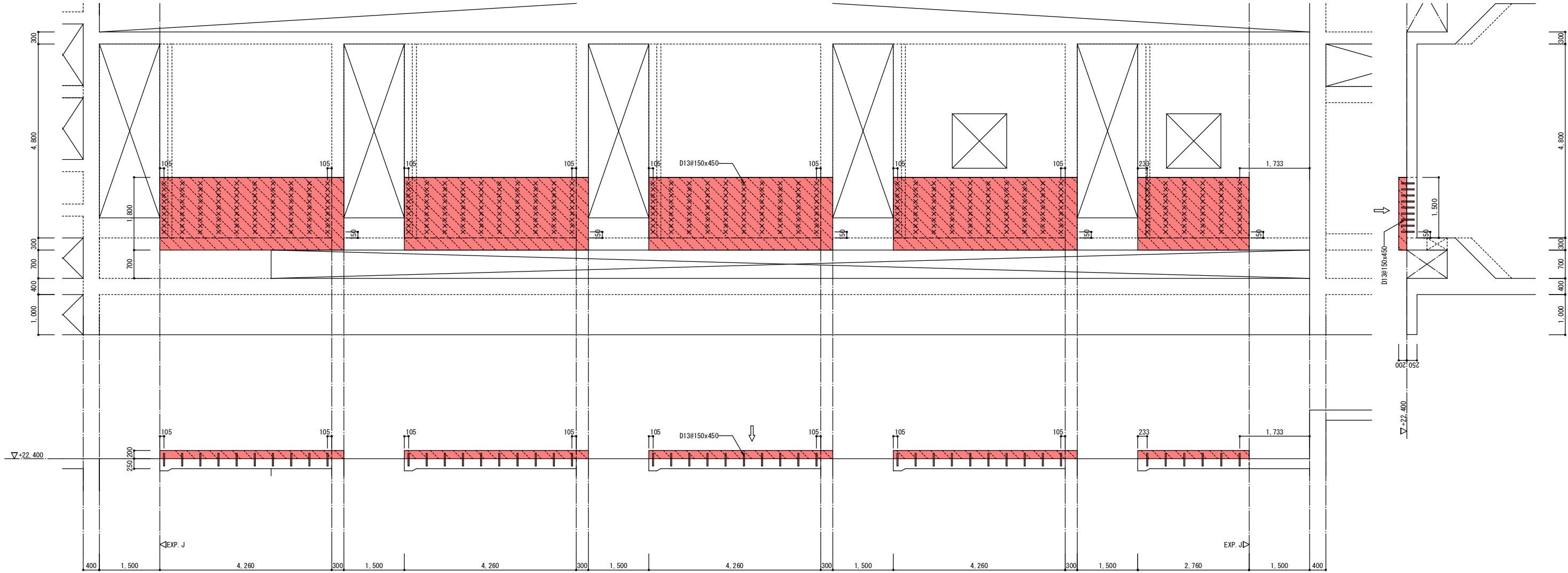
注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)  
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。  
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする  
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける  
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する  
5. アンカー削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する  
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する  
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること  
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする  
9. あと施工鉄筋工の削孔時に既存鉄筋に当たった場合は直ちに作業を停止し、工事監督員と協議のうえ以降の対応要領を定めること

## 実施

### 宝満川流域下水道事業

工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(1)		
縮尺	1/50	番号	全 51 葉之内 13 号

福岡県流域下水道事務所



KEY PLAN

上部あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

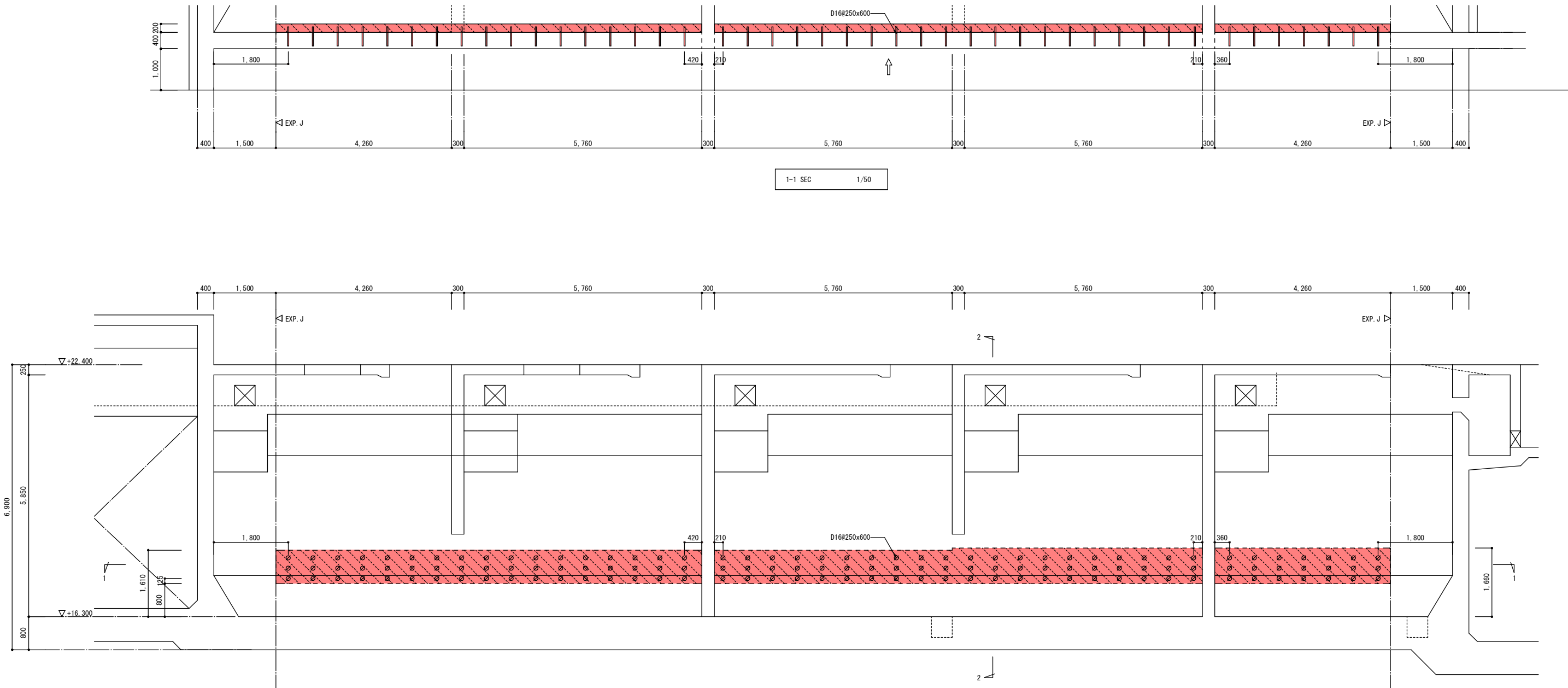
特記なき限り  
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと  
・×印はあと施工せん断補強鉄筋D13を示す  
・印は増打補強の範囲を示す(別図参照)  
・図中の⇒は施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)  
1.適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。  
2.使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする  
3.穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける  
4.施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する  
5.アンカー削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する  
6.上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する  
7.あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること  
8.背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする  
9.あと施工鉄筋工の削孔時に既存鉄筋に当たった場合は直ちに作業を停止し、工事監督員と協議のうえ以降の対応要領を定めること

実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(2)		
縮尺	1/50	番号	全51葉之内14号
福岡県流域下水道事務所			

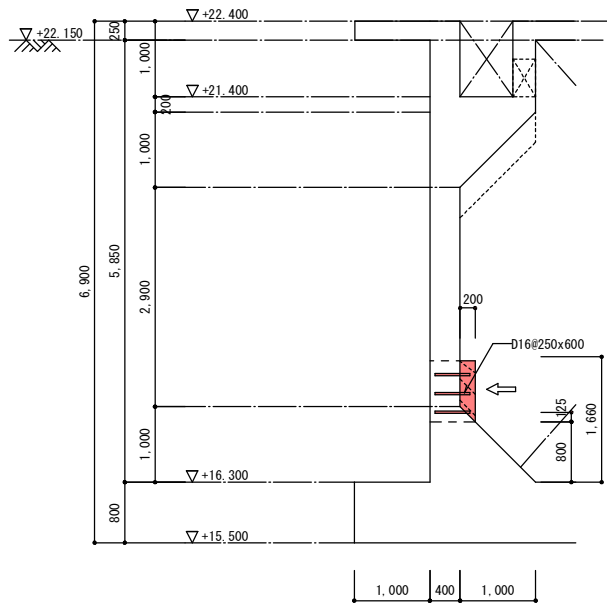




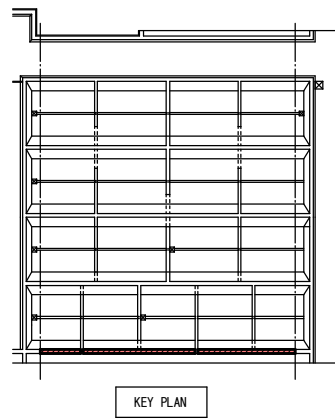
壁1あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

特記なき限り  
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと  
・印はあと施工せん断補強鉄筋D16を示す  
・印は増打補強の範囲を示す(別図参照)  
・図中の は施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)  
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。  
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする  
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける  
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する  
5. アンカー削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する  
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する  
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探査後決定すること  
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする  
9. あと施工鉄筋工の削孔時に既存鉄筋に当たった場合は直ちに作業を停止し、工事監督員と協議のうえ以降の対応要領を定めること

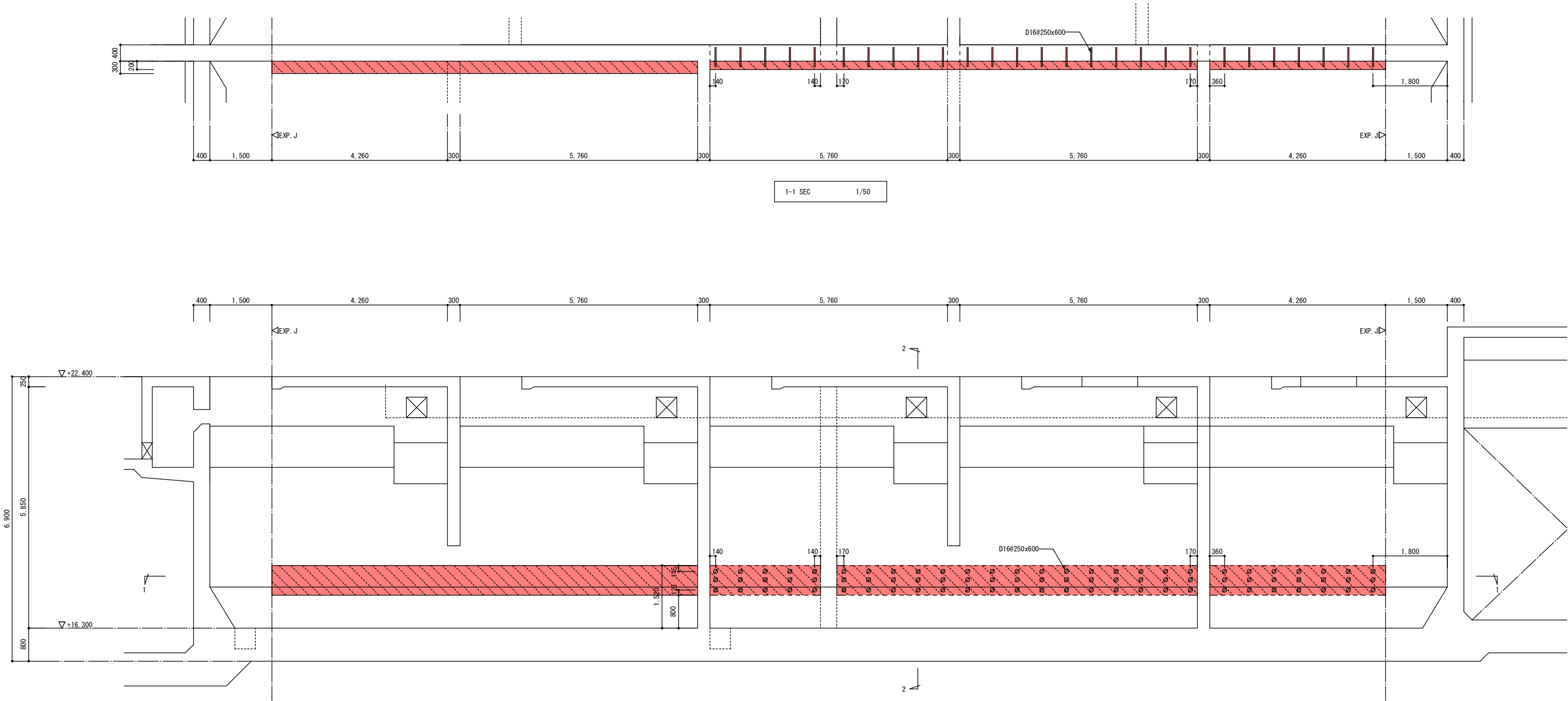


2-2 SEC S=1/50



## 実施

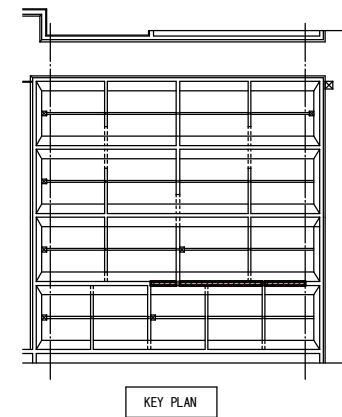
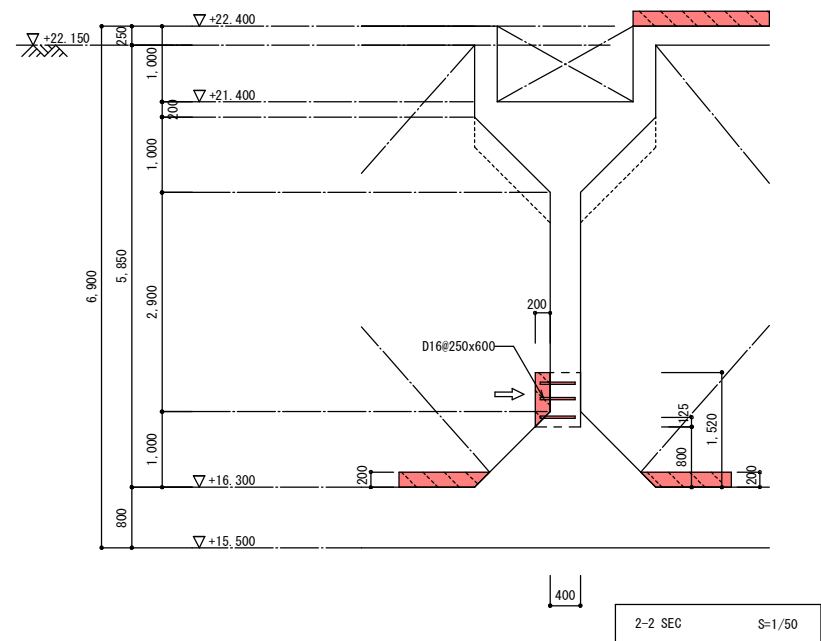
宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(3)		
縮 尺	1/50	番 号	全 51 葉之内 15 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



壁2あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

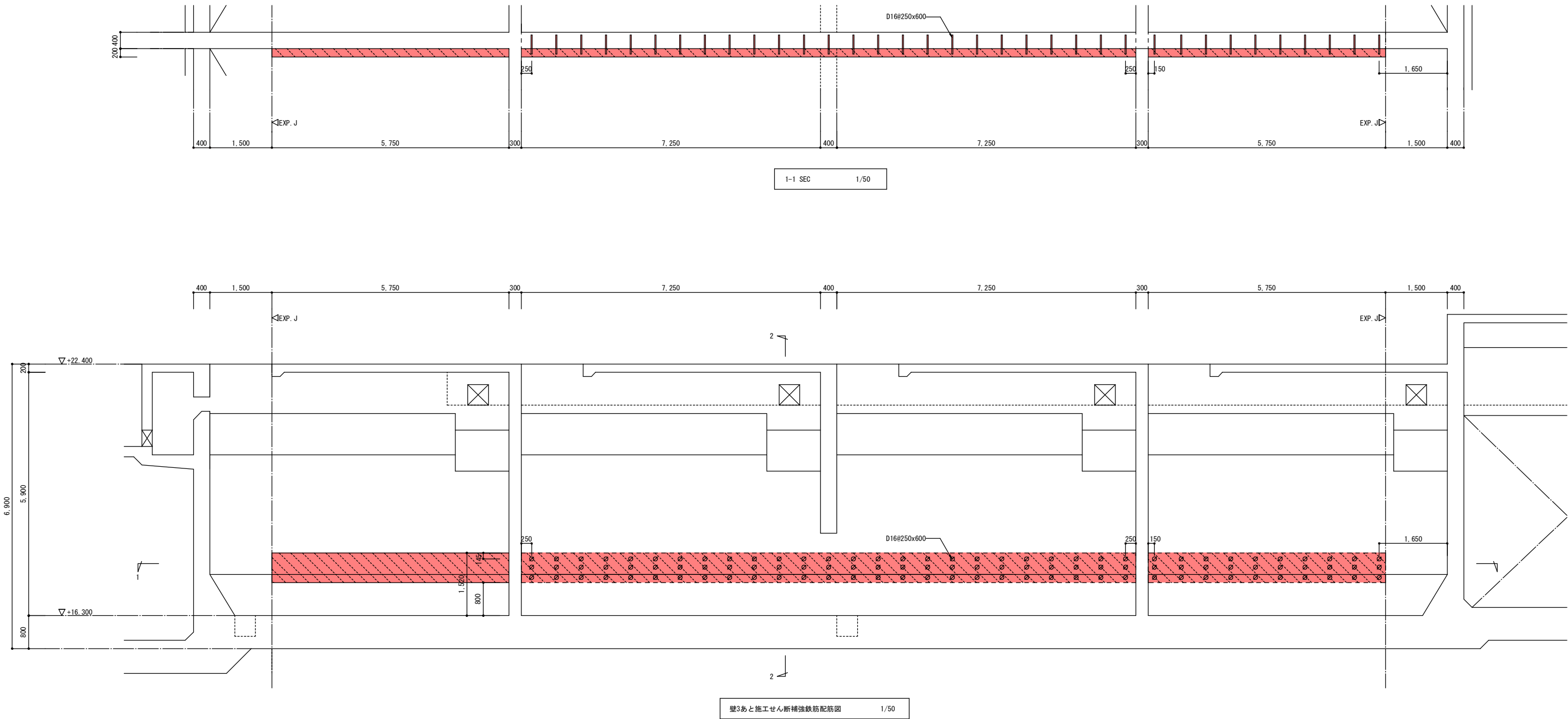
特記なき限り  
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと  
・印はあと施工せん断補強鉄筋D16を示す  
・印は増打補強の範囲を示す(別図参照)  
・図中の は施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)  
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。  
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする  
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける  
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する  
5. アンカー穿孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に穿孔位置を変更する  
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する  
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること  
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする  
9. あと施工鉄筋工の穿孔時に既存鉄筋に当たった場合は直ちに作業を停止し、工事監督員と協議のうえ以降の対応要領を定めること



## 実施

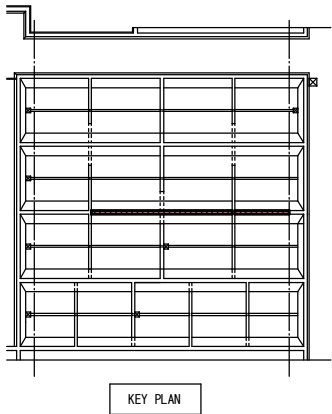
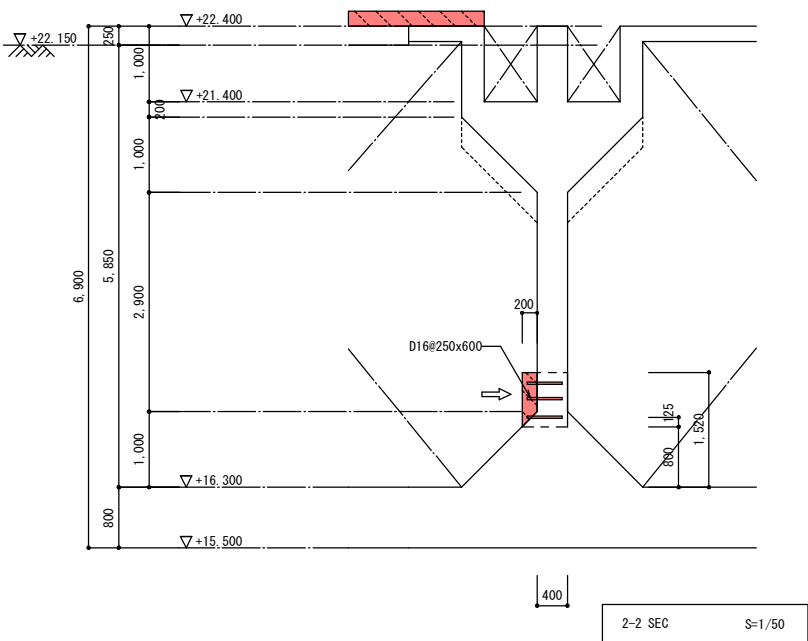
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(4)		
縮尺	1/50	番号	全 51 葉之内 16 号
福岡県流域下水道事務所			



壁3あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

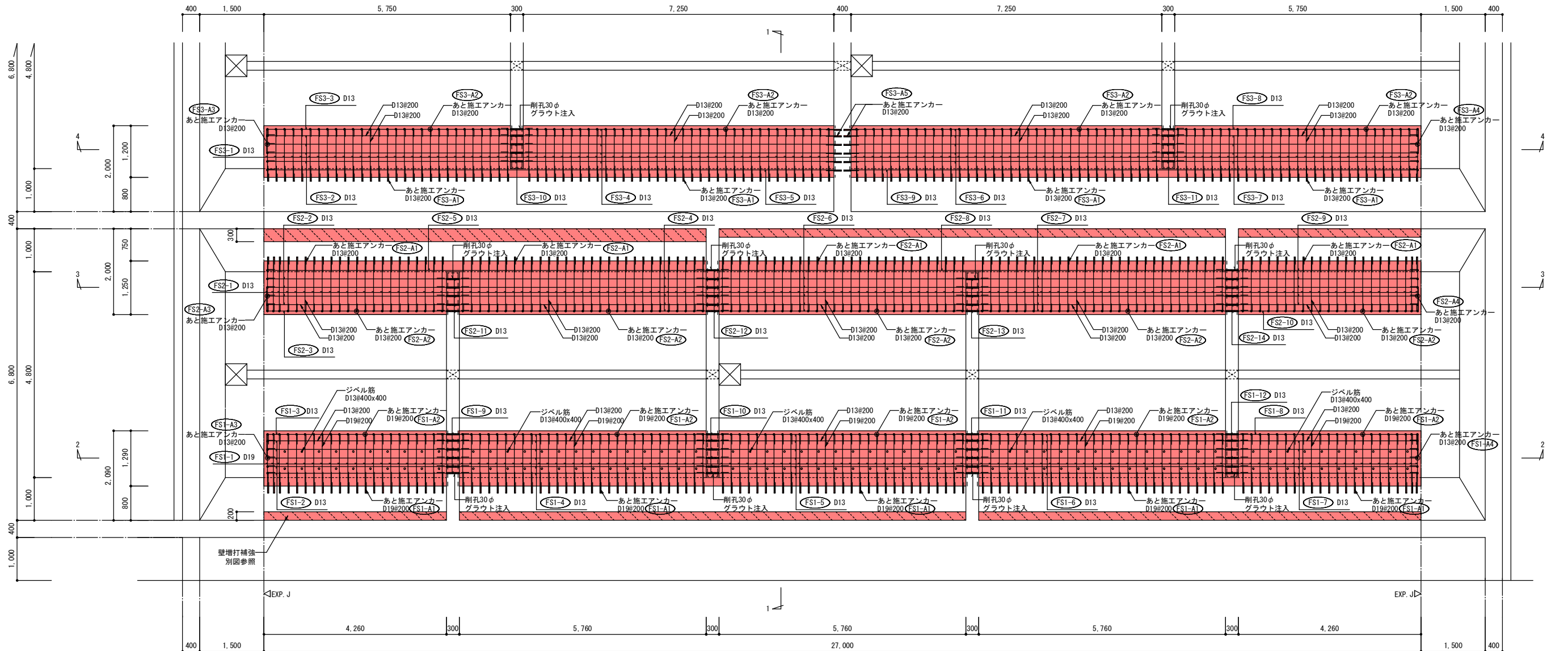
特記なき限り  
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと  
・ $\emptyset$ 印はあと施工せん断補強鉄筋D16を示す  
・ $\square$ 印は増打補強の範囲を示す(別図参照)  
・図中の  $\Rightarrow$  は施工方向を示す

注記 (あと施工せん断補強鉄筋工法)  
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。  
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする  
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける  
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する  
5. アンカー削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する  
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する  
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること  
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする  
9. あと施工鉄筋工の削孔時に既存鉄筋に当たった場合は直ちに作業を停止し、工事監督員と協議のうえ以降の対応要領を定めること



## 実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(5)		
縮 尺	1/50	番 号	全 51 葉之内 17 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

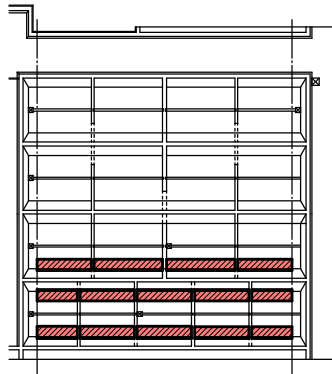


壁増打補強  
別図参照

エアレーションタンク 底版増打補強配筋図 1/50

- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
  - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋はナット付きとする
  - ・---印は目荒しの範囲を示す

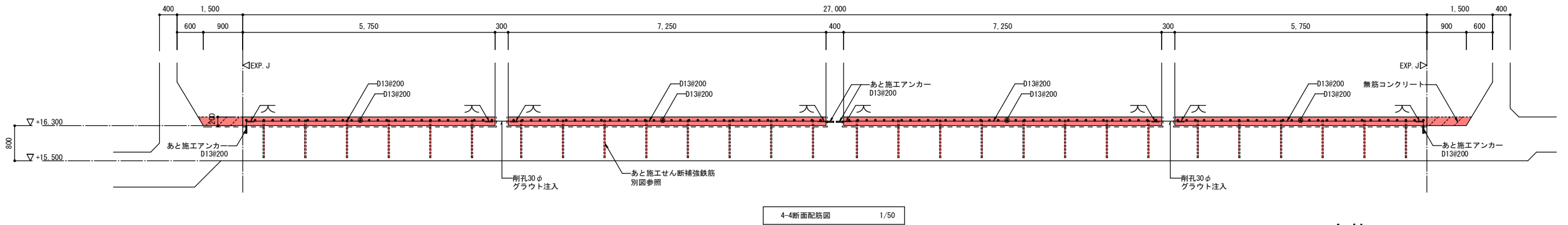
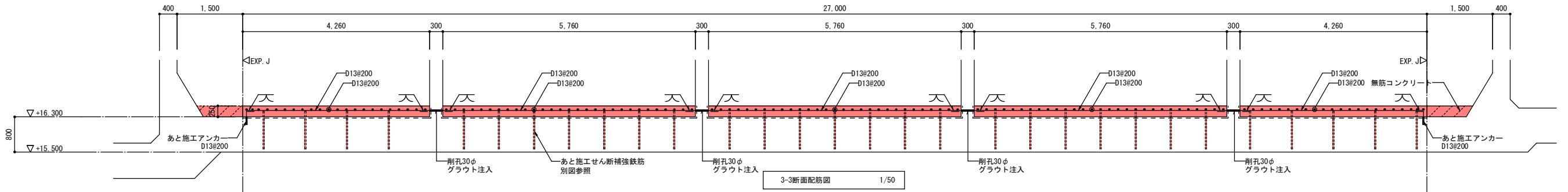
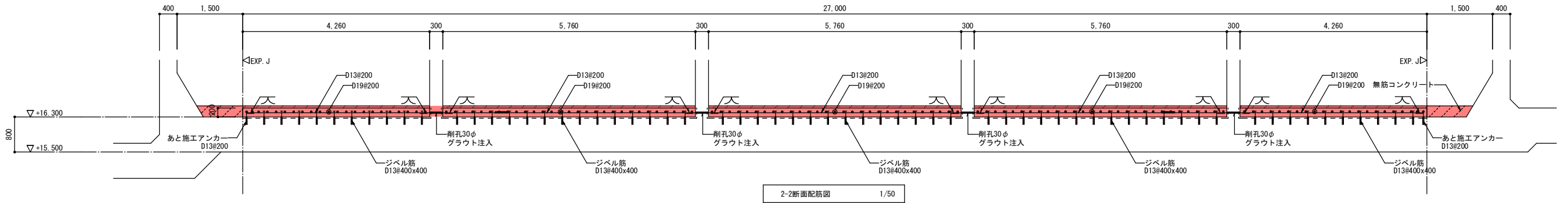
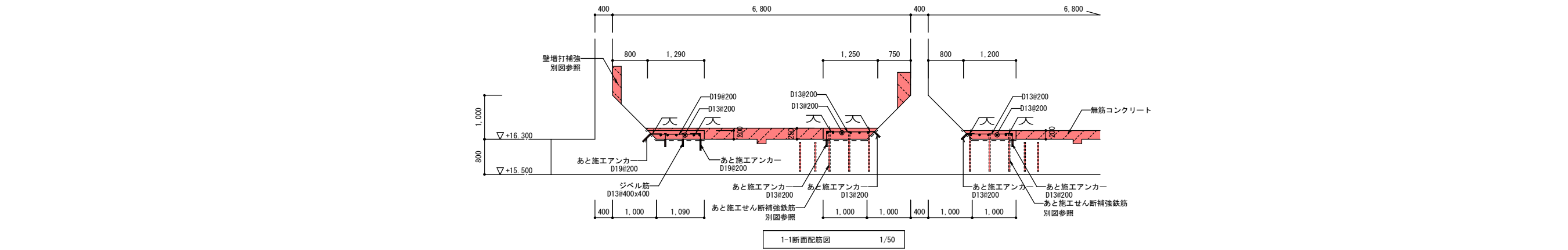
既存底版リスト		
版厚	800	
位置	短辺方向	長辺方向
上端筋	D16#200	D16#200
下端筋	D16#200	D16#200



KEY PLAN

実施

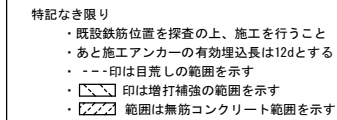
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(1)		
縮尺	1/50	番号	全 51 葉之内 18 号
福岡県流域下水道事務所			



- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
  - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋はナット付きとする
  - ・---印は目荒しの範囲を示す
  - ・印は増打補強の範囲を示す
  - ・範囲は無筋コンクリート範囲を示す

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(2)		
縮 尺	1/50	番 号	全 51 葉之内 19 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

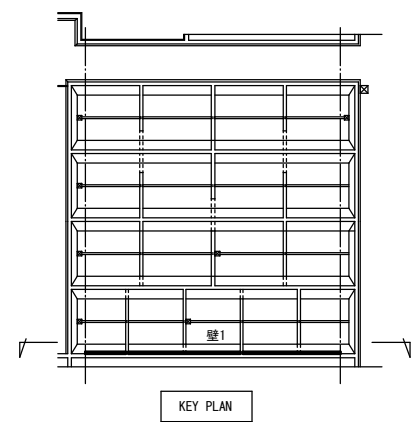


1-1断面配筋图 1/50

2-2断面配筋图 1/50

3-3断面配筋图 1/50

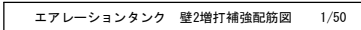
既存壁リスト		
版厚	400	
位置	外側	内側
上端筋	D16@200	D16@200
下端筋	D16@200	D16@200





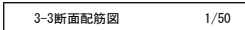
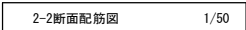
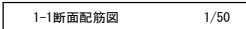
## 实施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽配震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(3)		
縮 尺	1/50	番 号	全 51 業之内 20 号
福岡県流域下水道事務所			



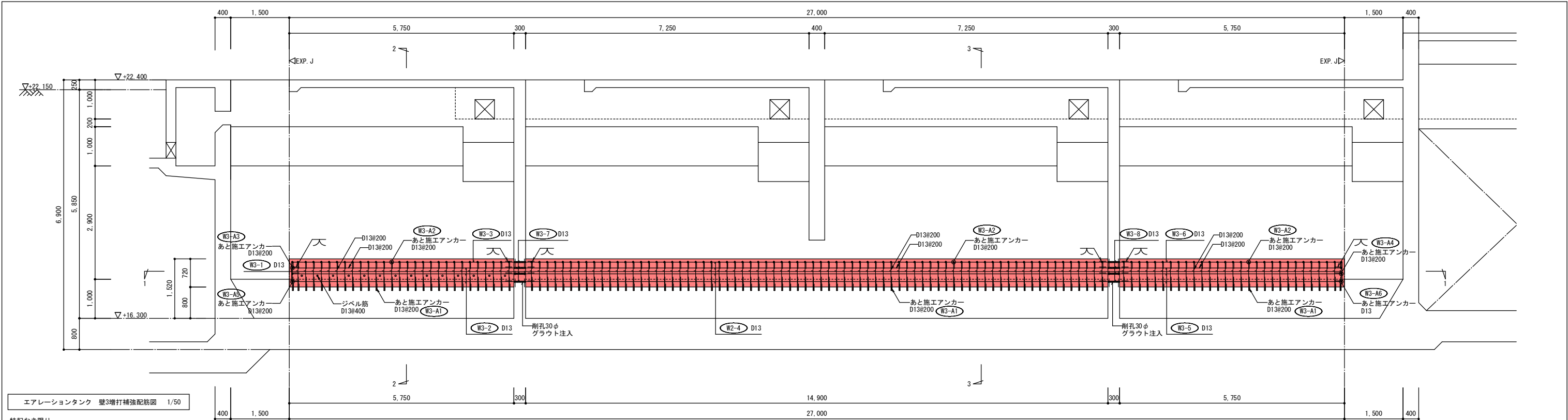


- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
- ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
- ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
- ・ジベル筋はナット付きとする
- ・--印は目荒しの範囲を示す
- ・印は増打補強の範囲を示す
- ・範囲は無筋コンクリート範囲を示す



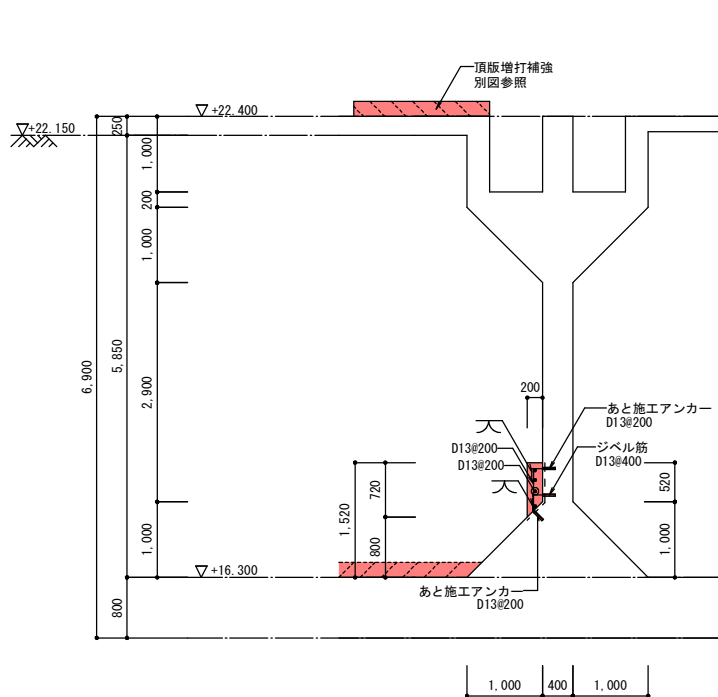
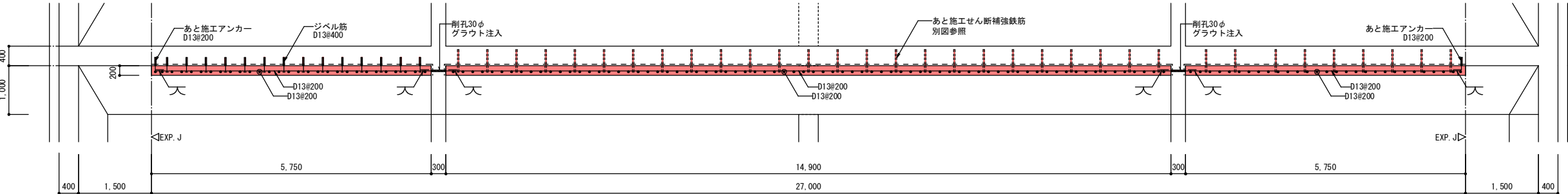
KEY PLAN

工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(4)		
縮 尺	1/50	番 号	全 51 葉之内 21 号
福岡県流域下水道事務所			

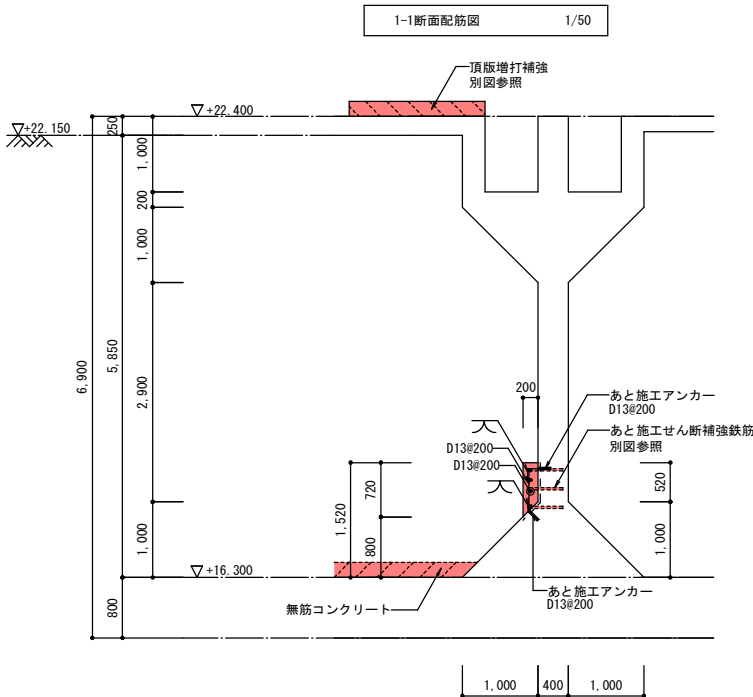


エアレーションタンク 壁3増打補強配筋図 1/50

- 特記なき限り
- ・既設鉄防位置を探索の上、施工を行うこと
  - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋はナット付きとする
  - ・---印は目荒しの範囲を示す
  - ・印は増打補強の範囲を示す
  - ・範囲は無筋コンクリート範囲を示す

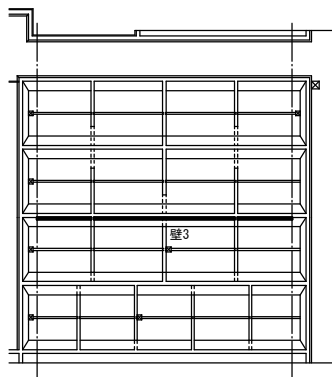


2-2断面配筋図 1/50



3-3断面配筋図 1/50

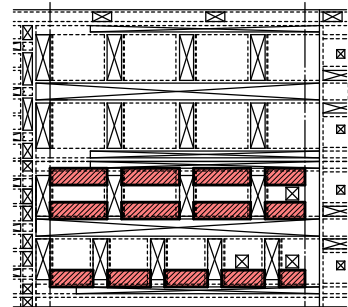
既存壁リスト		
版厚	400	
位置	外側	内側
上端筋	D16#200	D16#200
下端筋	D16#200	D16#200



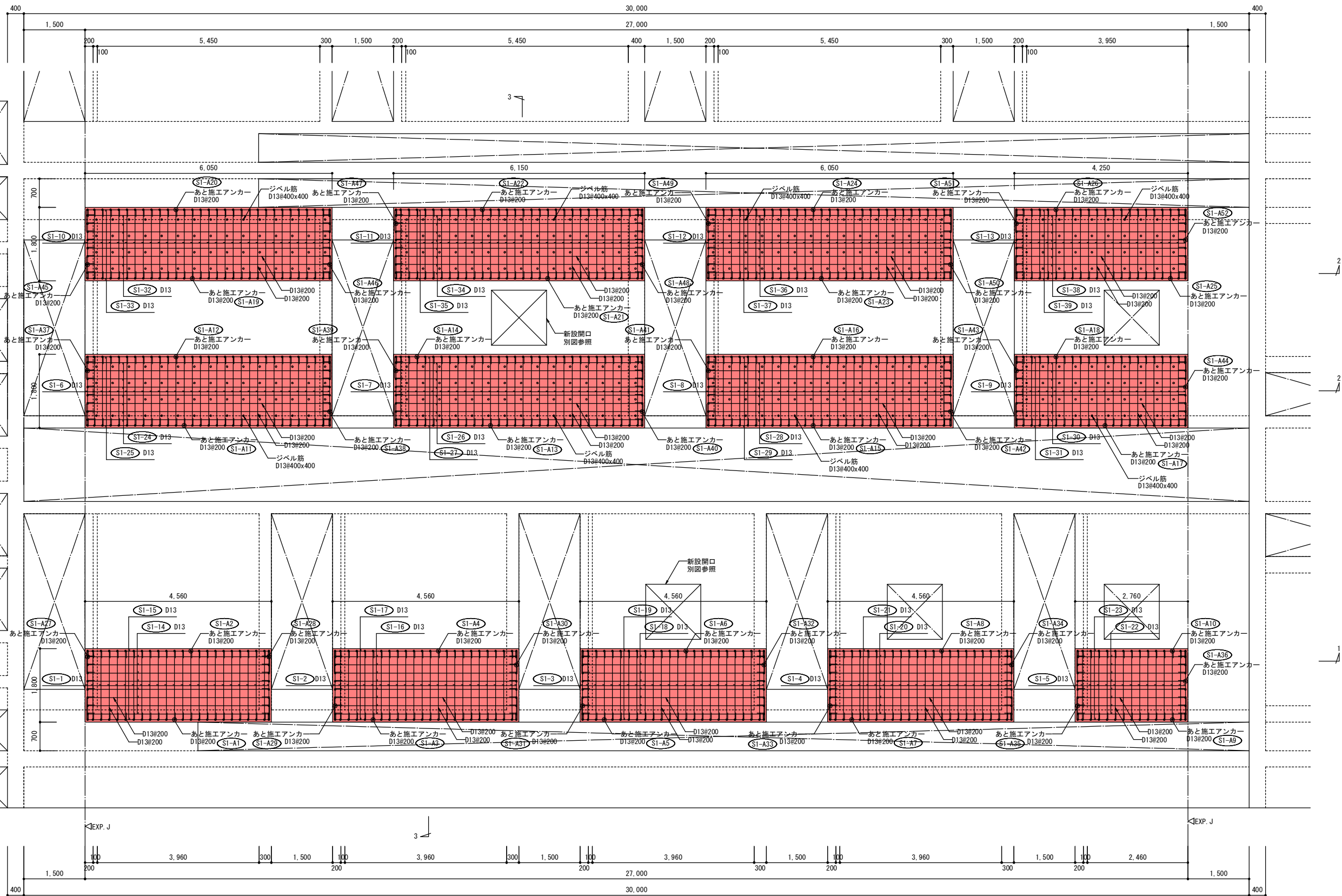
KEY PLAN

## 実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(5)		
縮尺	1/50	番号	全 51 葉之内 22 号
福岡県流域下水道事務所			



KEY PLAN



エアレーションタンク 頂版増打補強配筋図 1/50

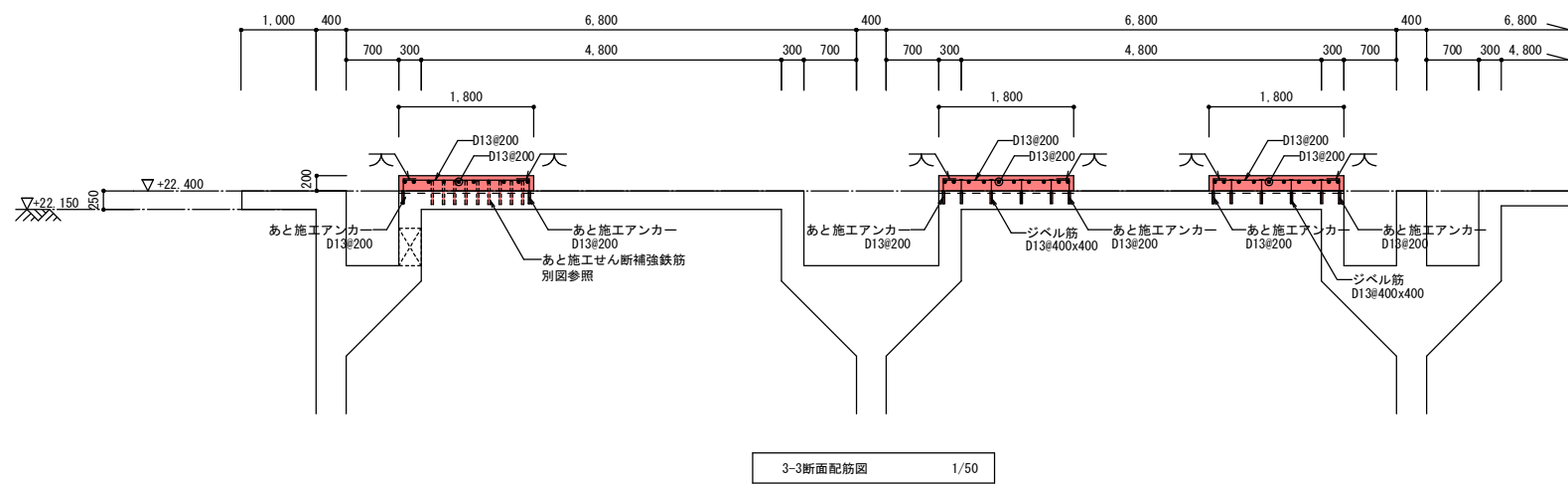
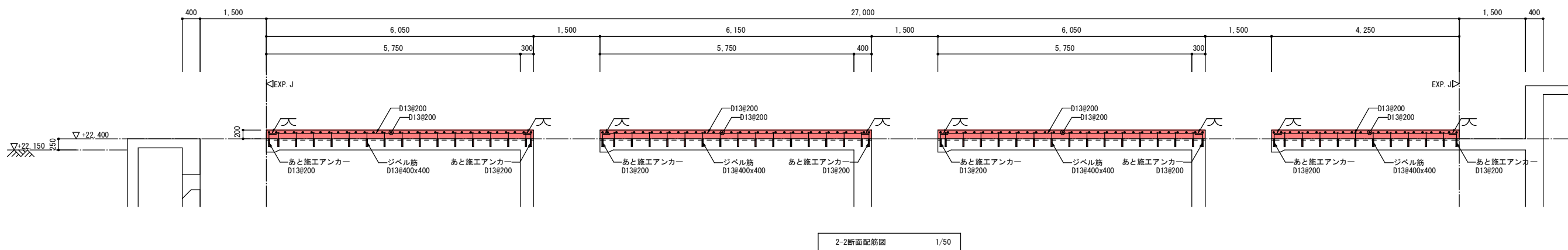
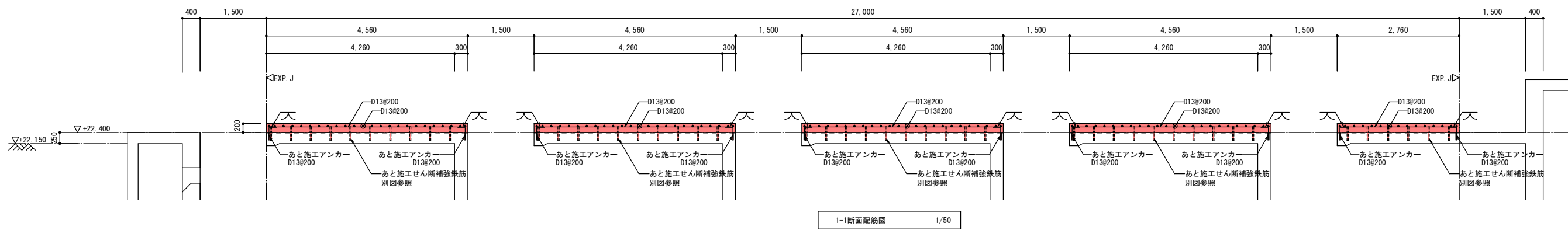
- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
  - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
  - ・ジベル筋はナット付きとする
  - ・---印は目荒しの範囲を示す

既存頂版リスト		
版厚	250	
位置	短辺方向	長辺方向
上端筋	D13#200	D13#200
下端筋	D13#200	D13#200

## 実施

### 宝満川流域下水道事業

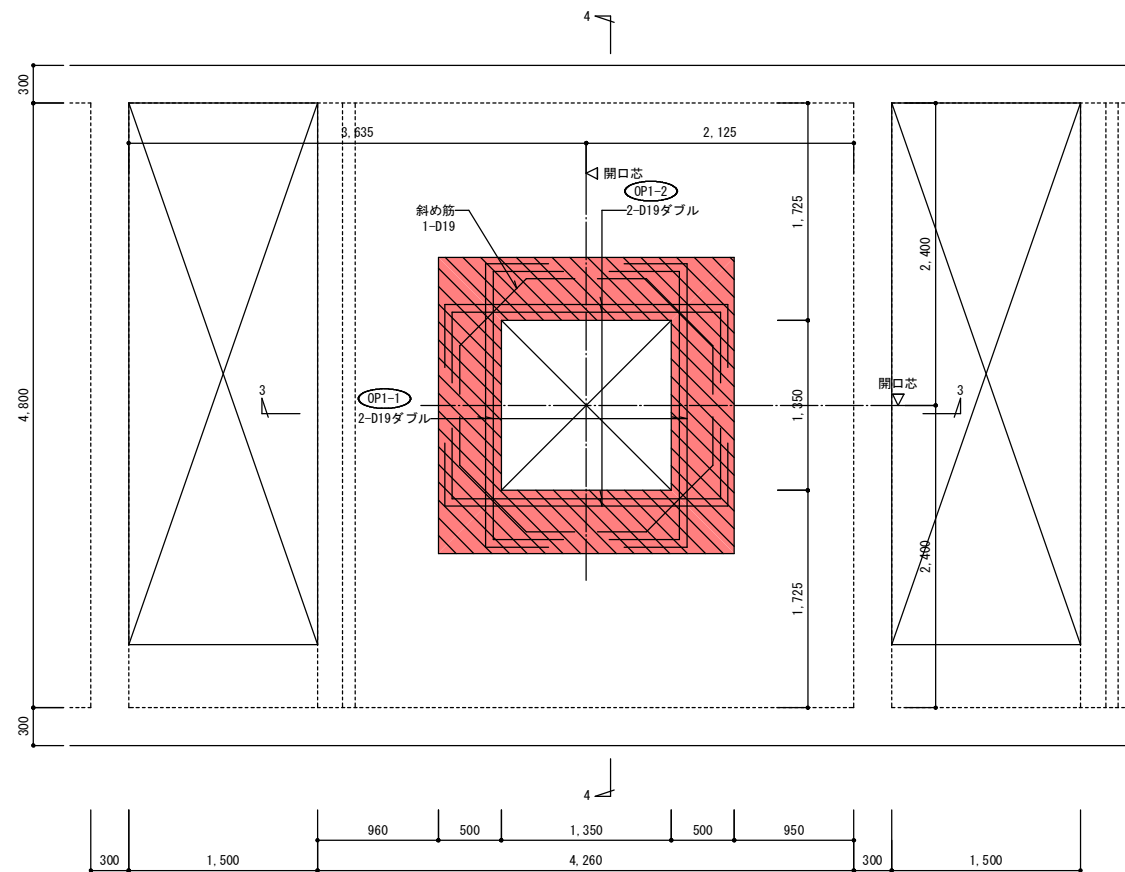
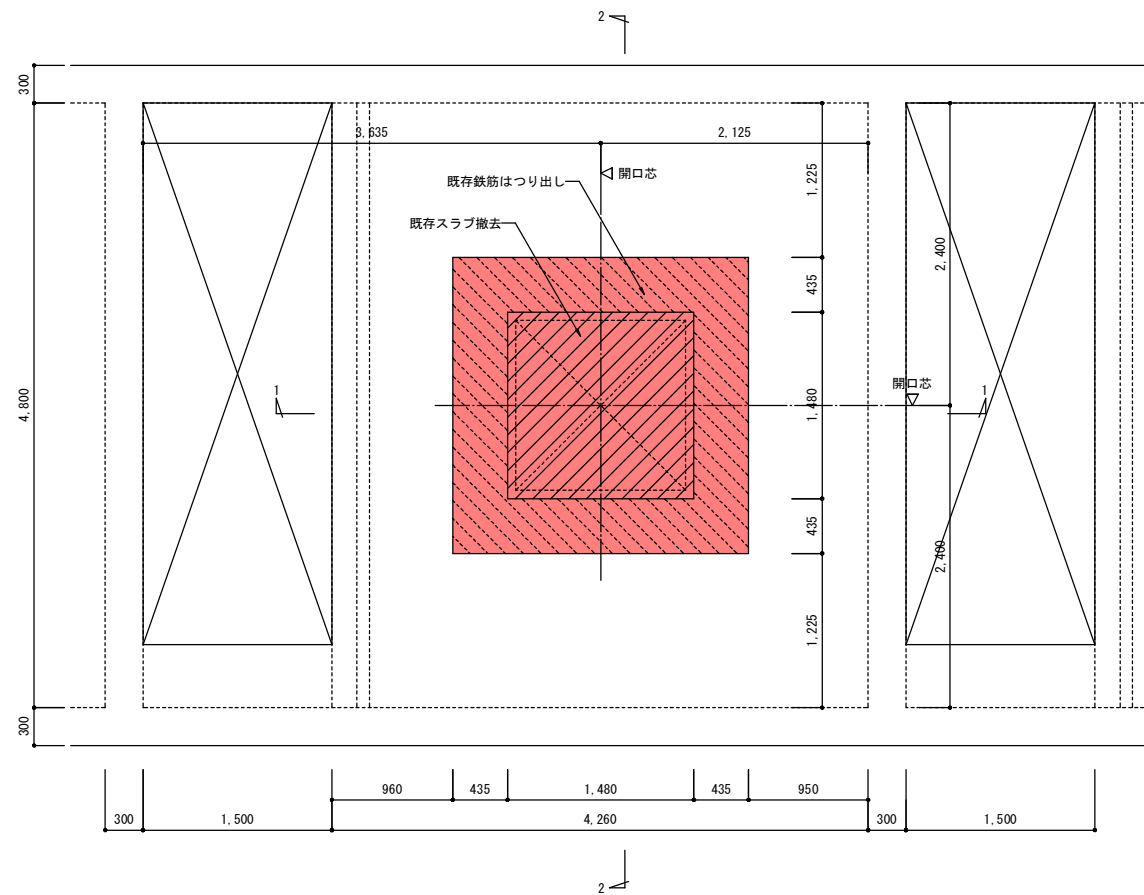
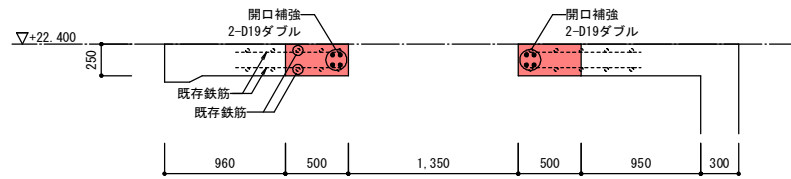
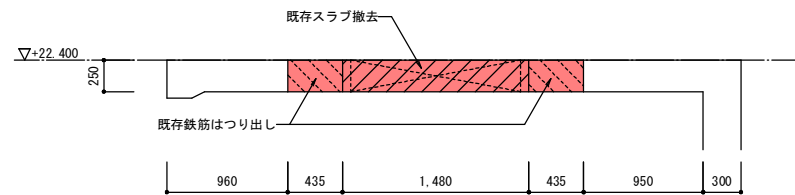
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(6)		
縮尺	1/50	番号	全 51 葉之内 23 号
福岡県流域下水道事務所			



特記なき限り  
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと  
・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする  
・ジベル筋の有効埋込長は12dとする  
・ジベル筋はナット付きとする  
・---印は目荒しの範囲を示す

## 実施

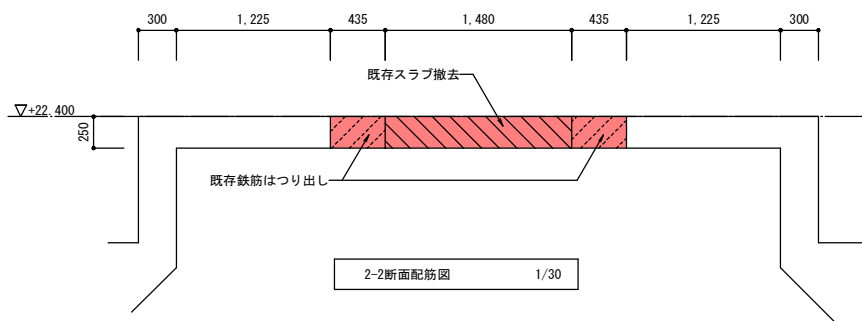
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(7)		
縮尺	1/50	番号	全 51 葉之内 24 号
福岡県流域下水道事務所			



スラブ開口新設-1 既存躯体撤去・はつり出し範囲図 1/30

特記なき限り

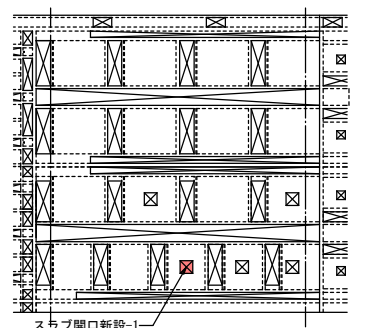
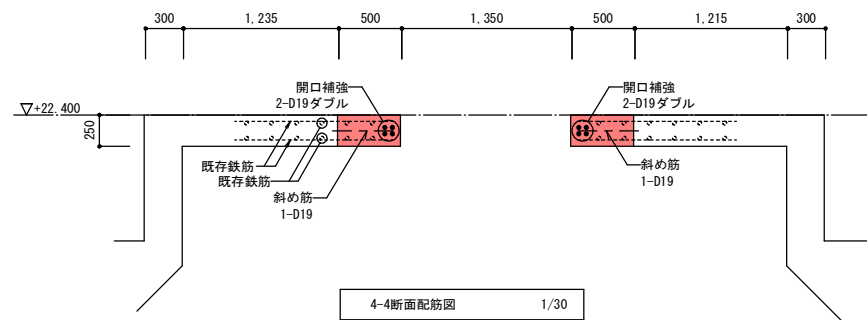
- 印は既存鉄筋はつり出し範囲を示す
- 印は既存撤去範囲を示す



スラブ開口新設-1 開口補強配筋図 1/30

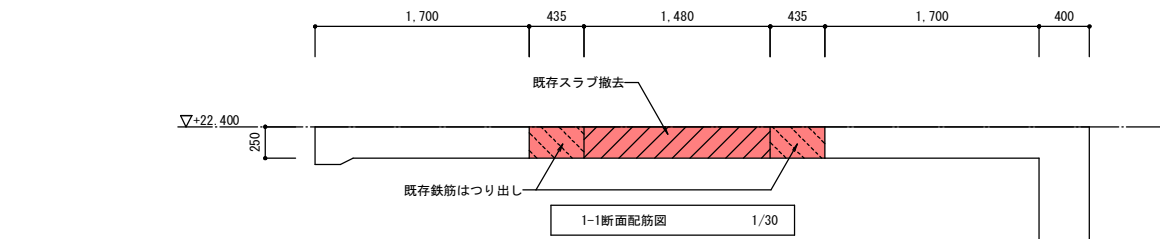
特記なき限り

- 既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
- 印はグラウト注入範囲を示す

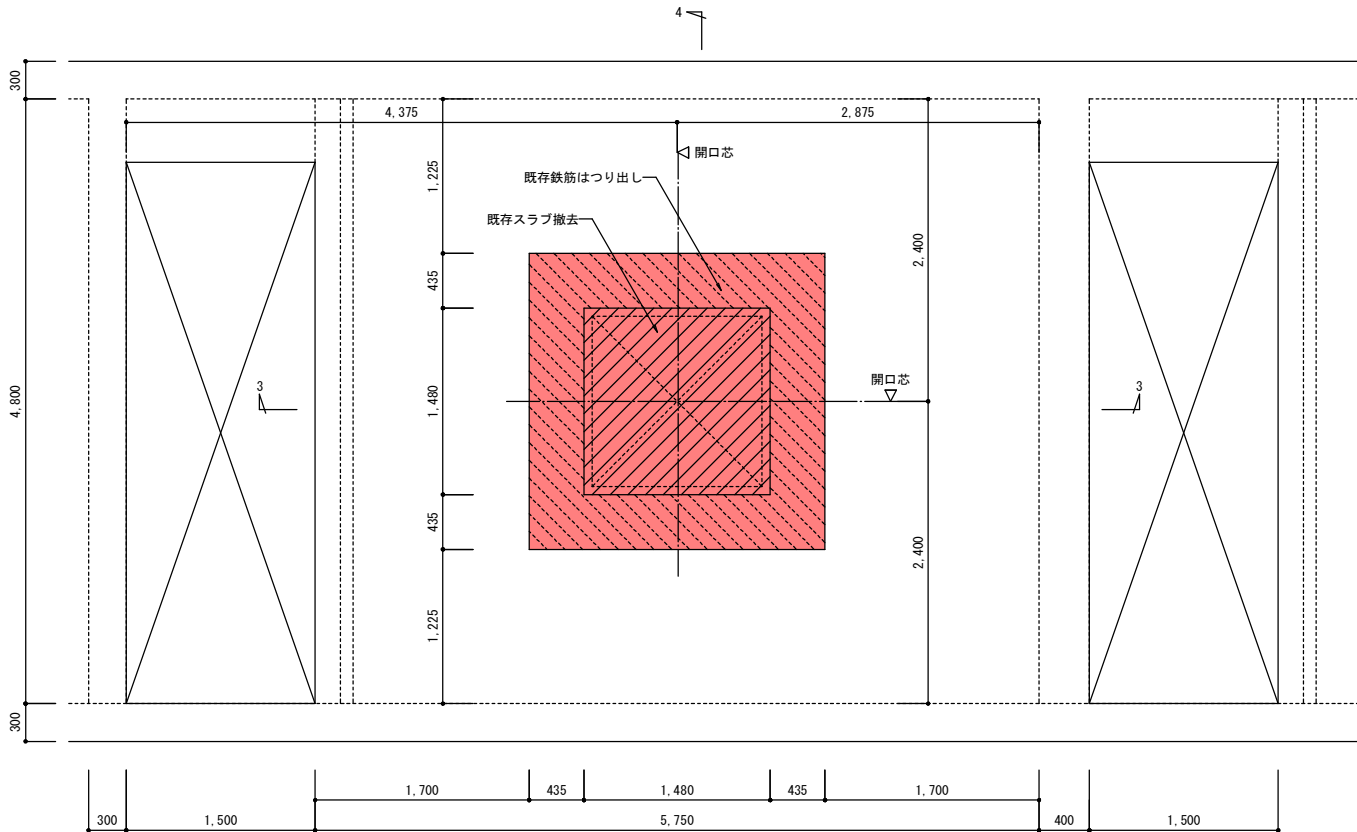


## 実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 新設開口配筋図(1)		
縮尺	1/30	番号	全 51 葉之内 25 号
福岡県流域下水道事務所			

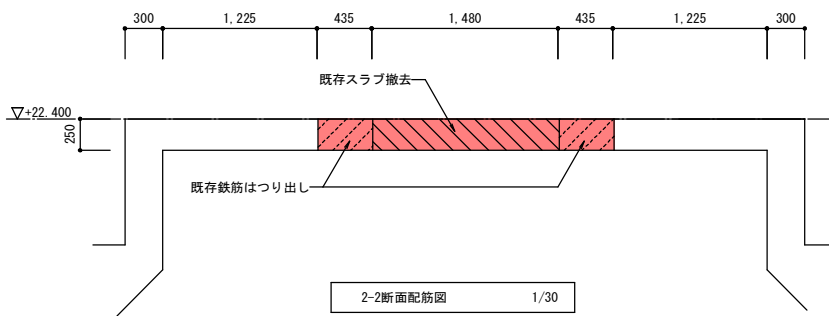


1-1断面配筋図 1/30

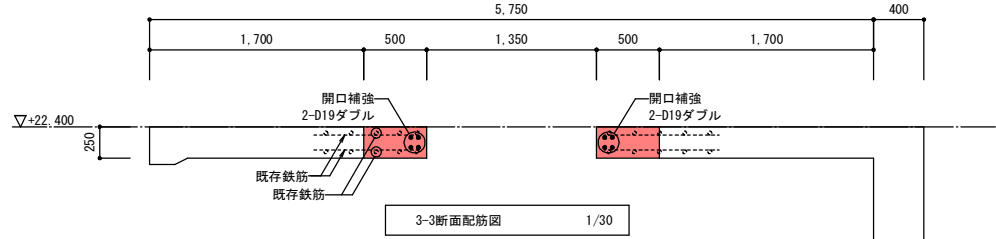


スラブ開口新設-2 既存躯体撤去・はつり出し範囲図 1/30

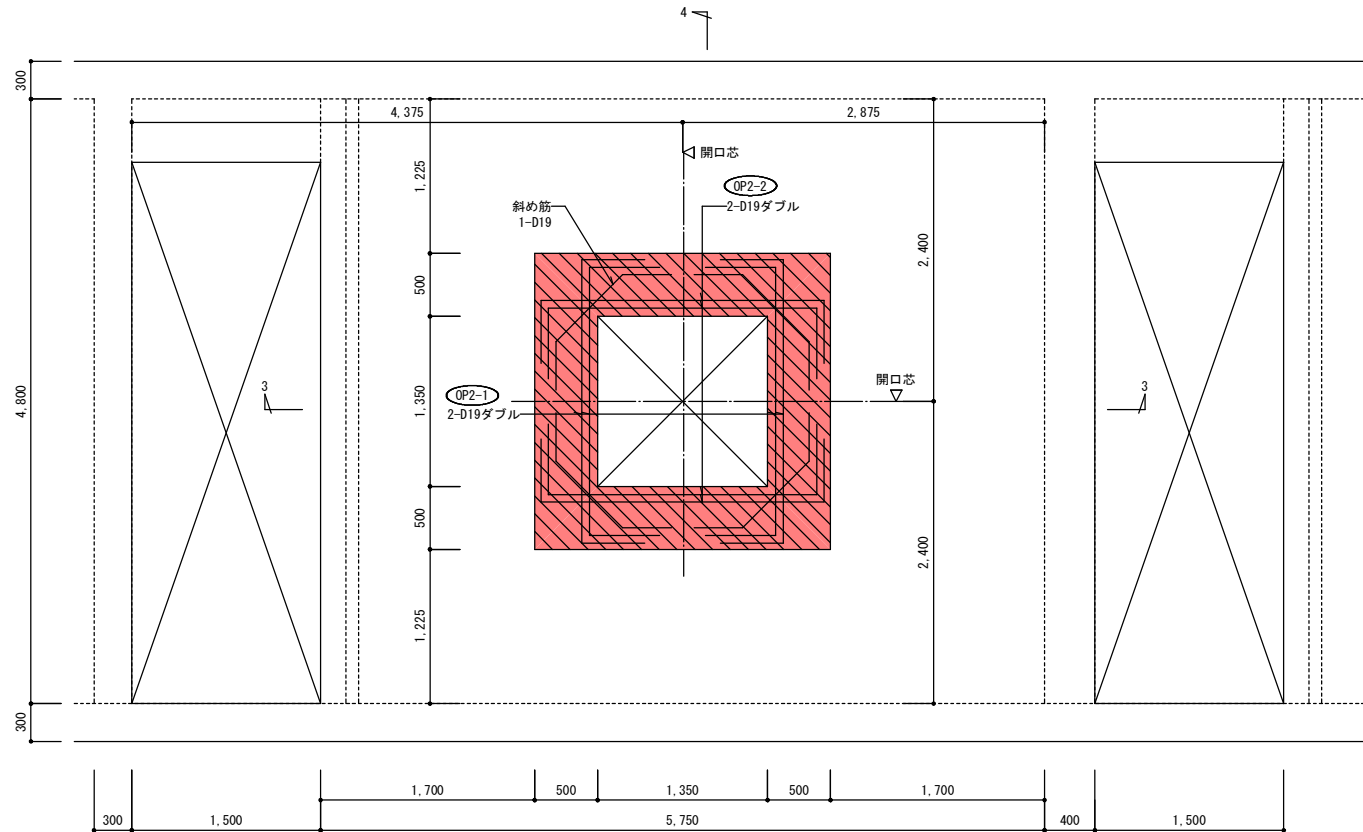
- 特記なき限り
- ・ 印は既存鉄筋はつり出し範囲を示す
  - ・ 印は既存撤去範囲を示す



2-2断面配筋図 1/30

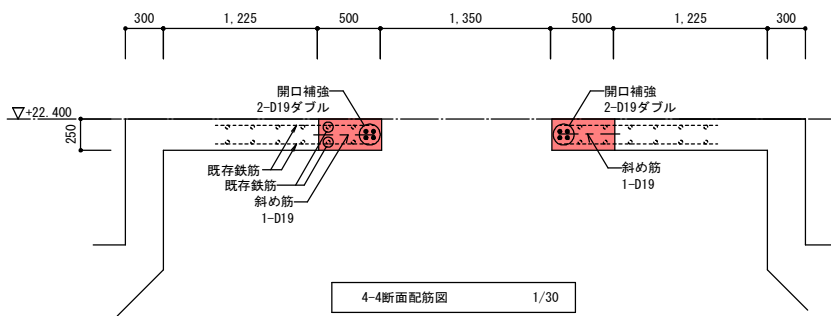


3-3断面配筋図 1/30

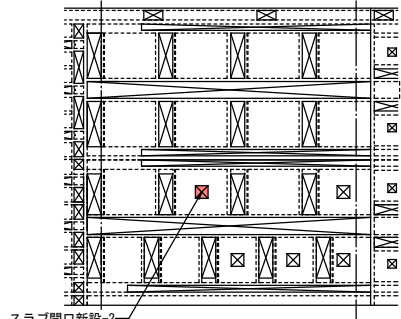


スラブ開口新設-2 開口補強配筋図 1/30

- 特記なき限り
- ・ 既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
  - ・ 印はグラウト注入範囲を示す



4-4断面配筋図 1/30

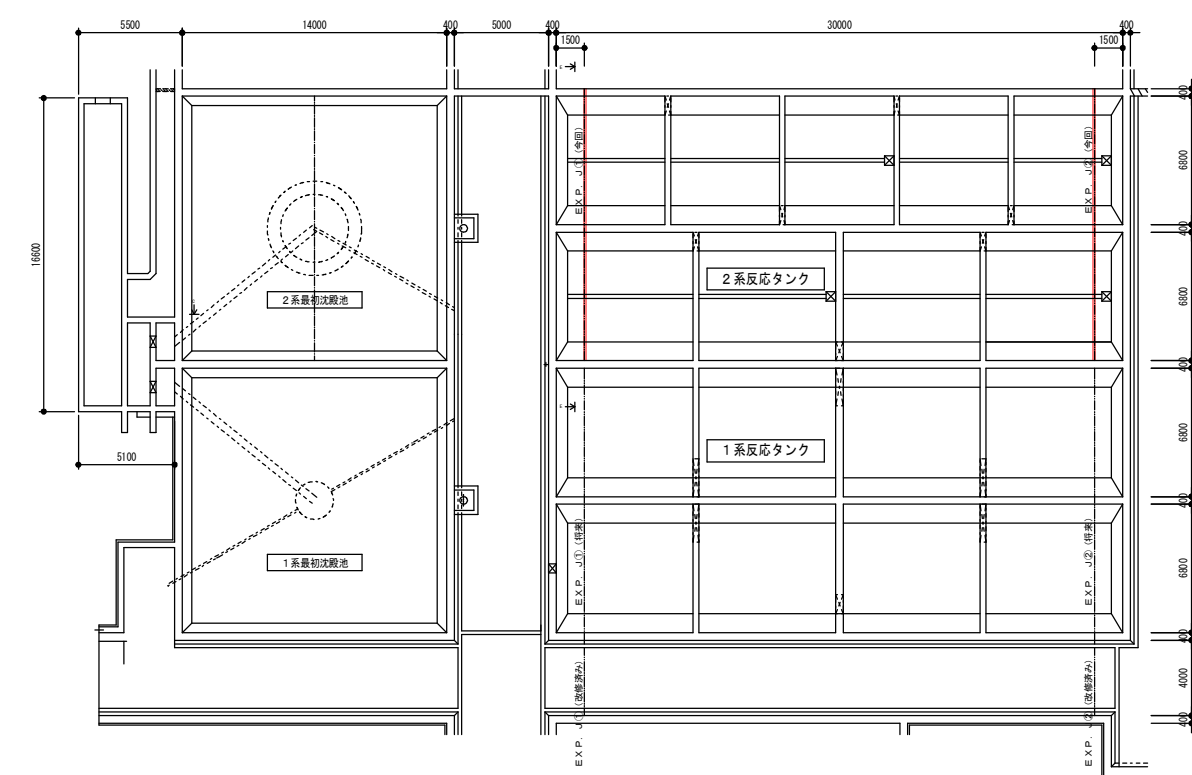


スラブ開口新設-2  
KEY PLAN

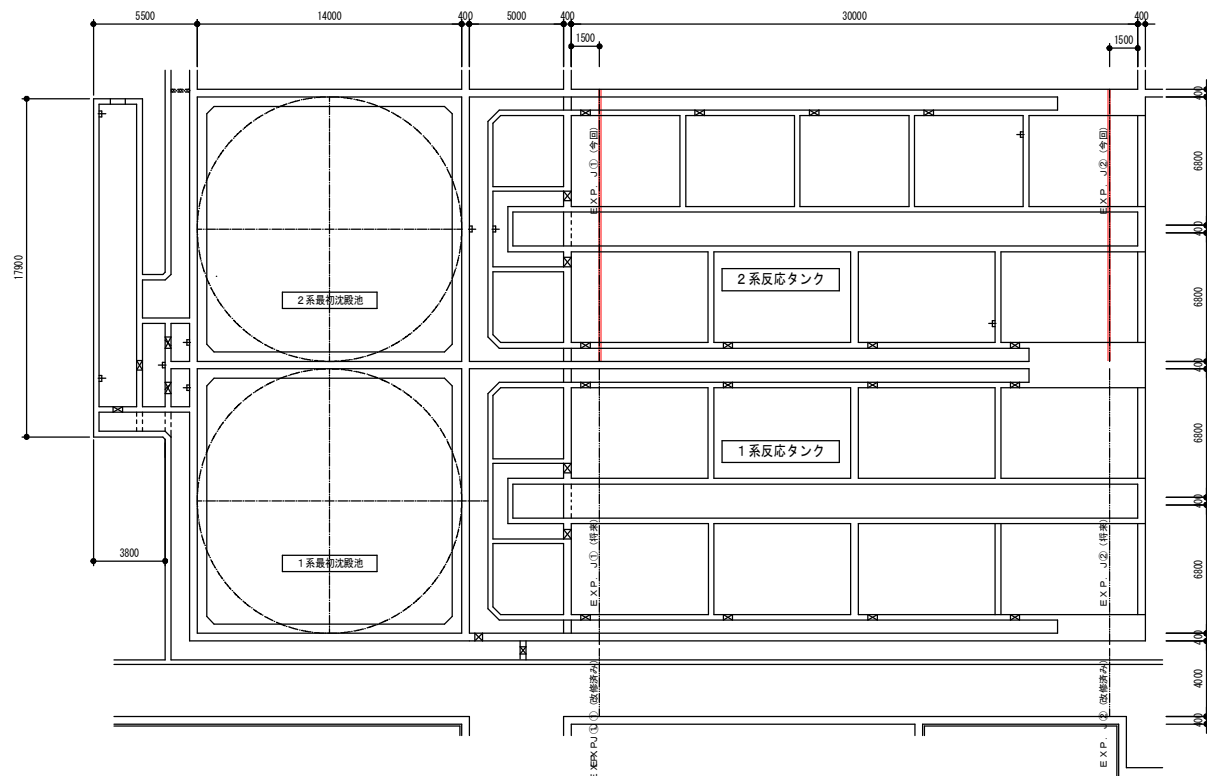
## 実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 新設開口配筋図(2)		
縮 尺	1/30	番 号	全 51 葉之内 26 号
福岡県流域下水道事務所			





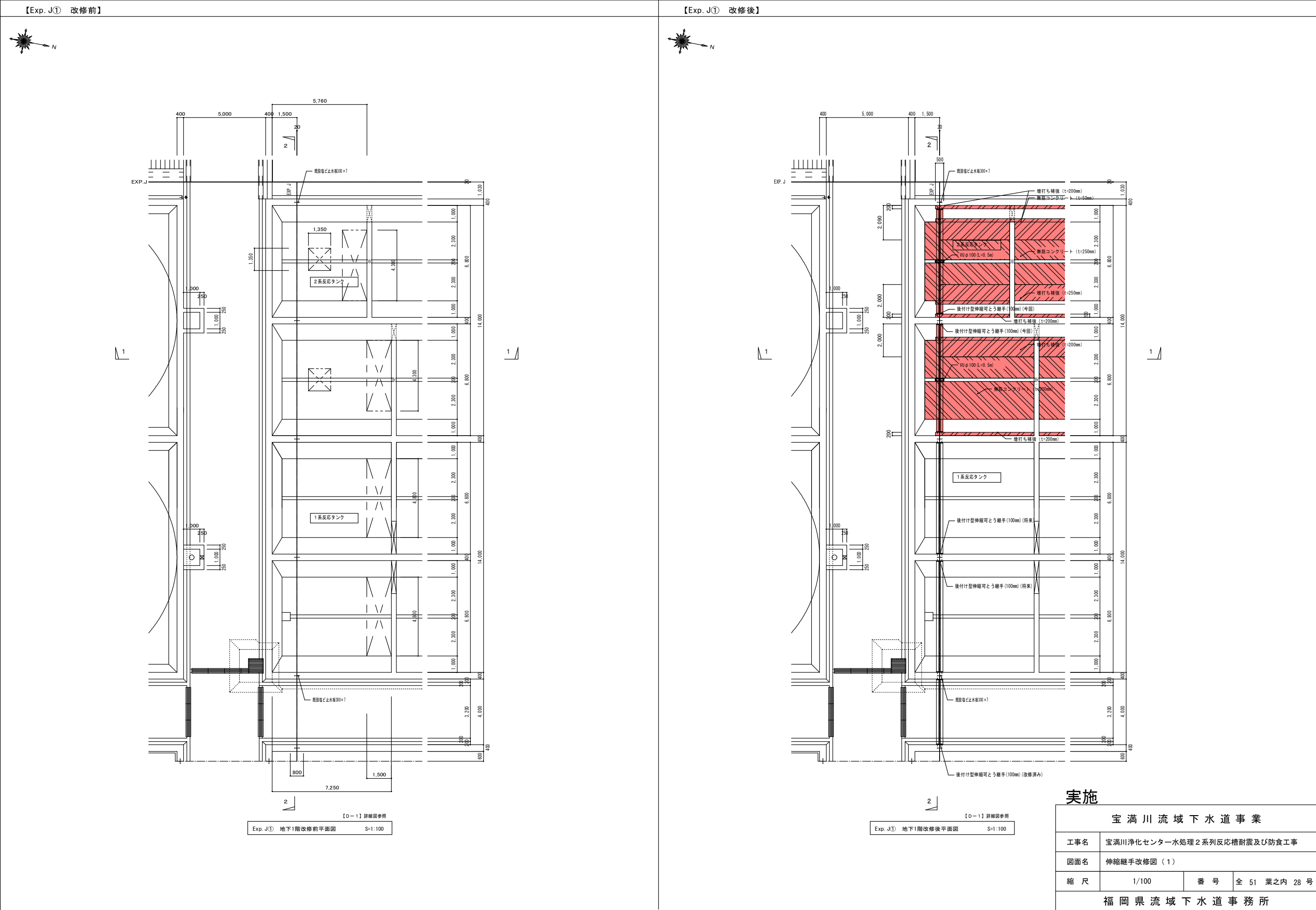
1, 2系最初沈殿池・反応タンク 地下1階 平面図 S=1/200

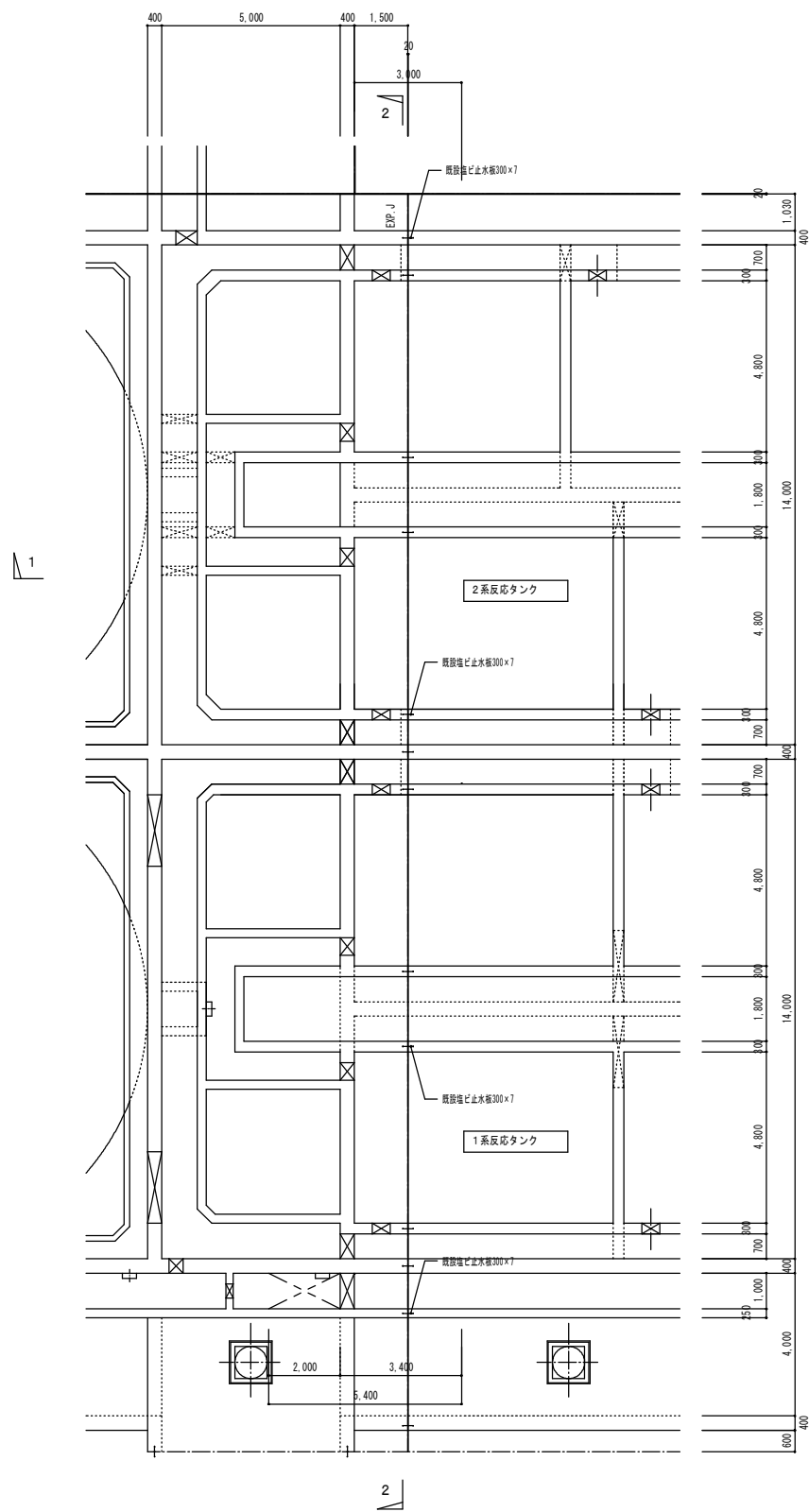


1, 2系最初沈殿池・反応タンク 水路階 平面図 S=1/200

## 実施

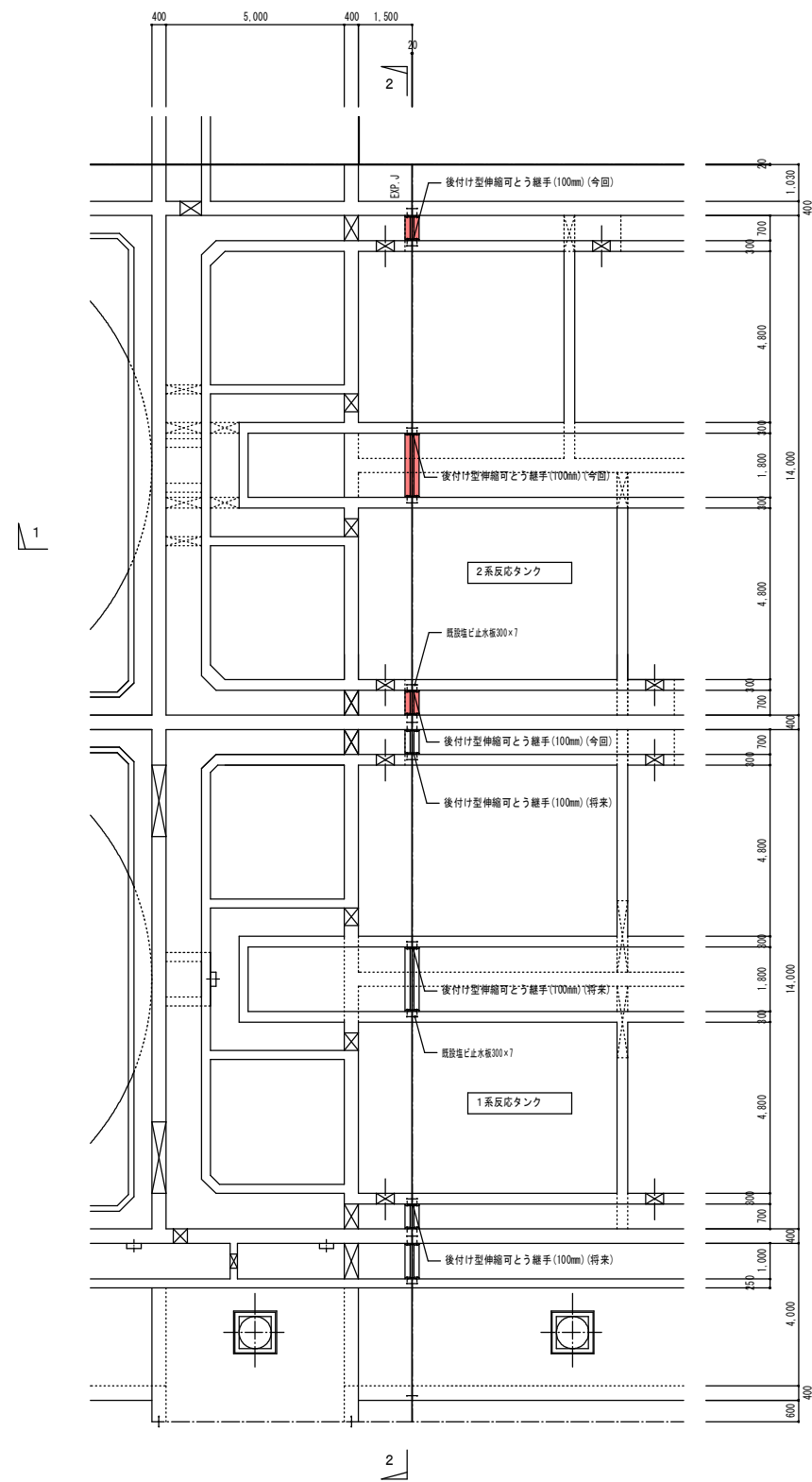
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修位置図		
縮尺	1/200	番号	全 51 葉之内 27 号
福岡県流域下水道事務所			





Exp. J① 水路階改修前平面図

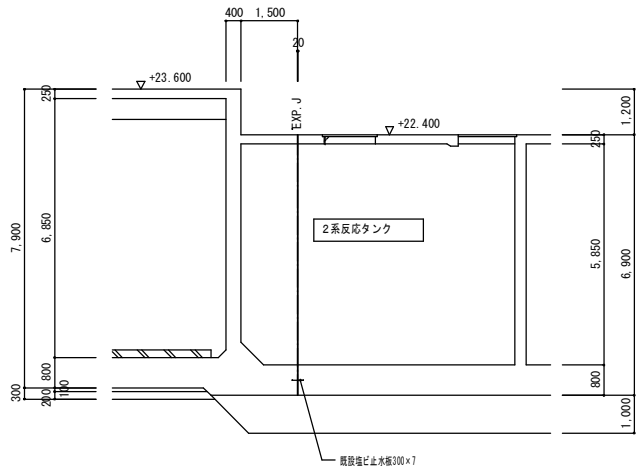
S=1 : 100



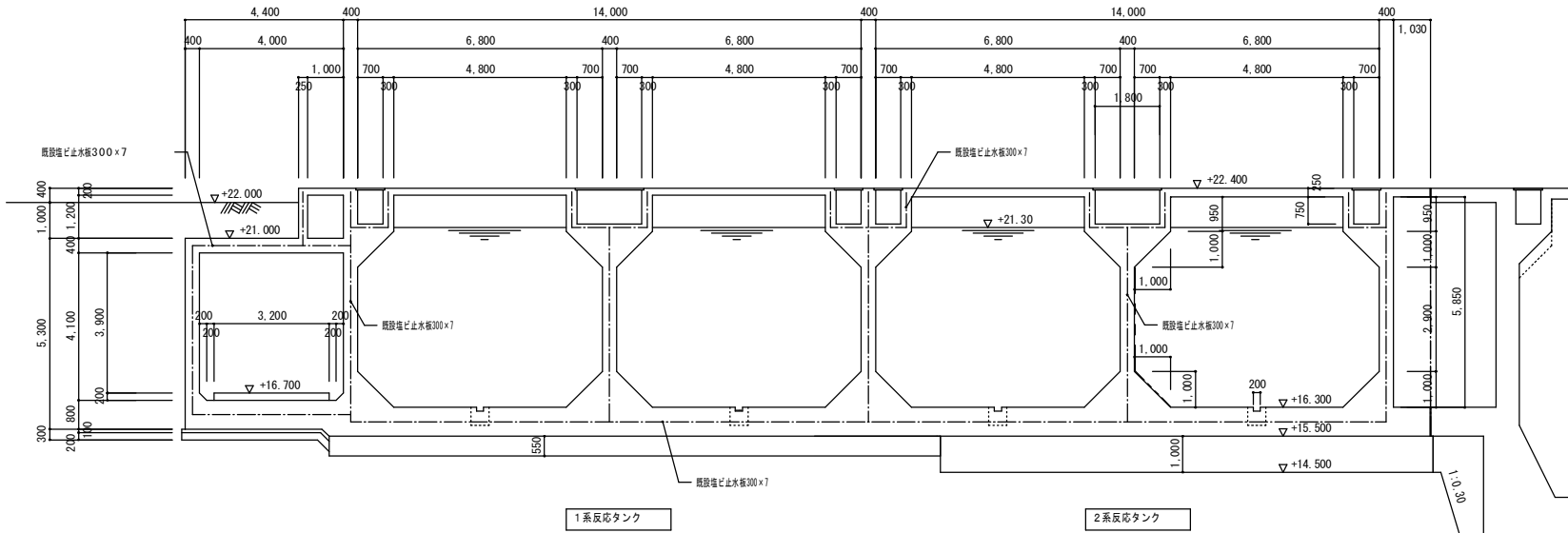
Exp. J① 水路階改修後平面図

S=1 : 100

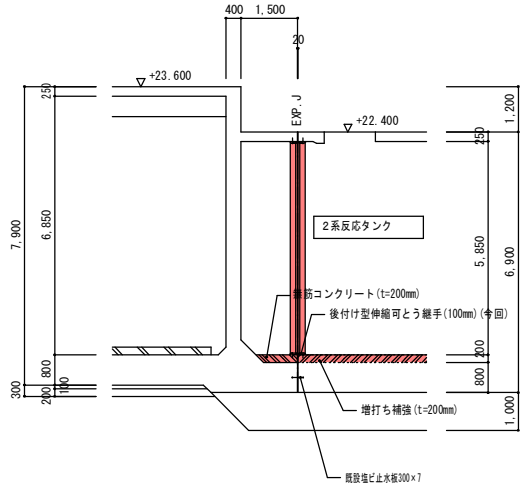
福岡県流域下水道事務所



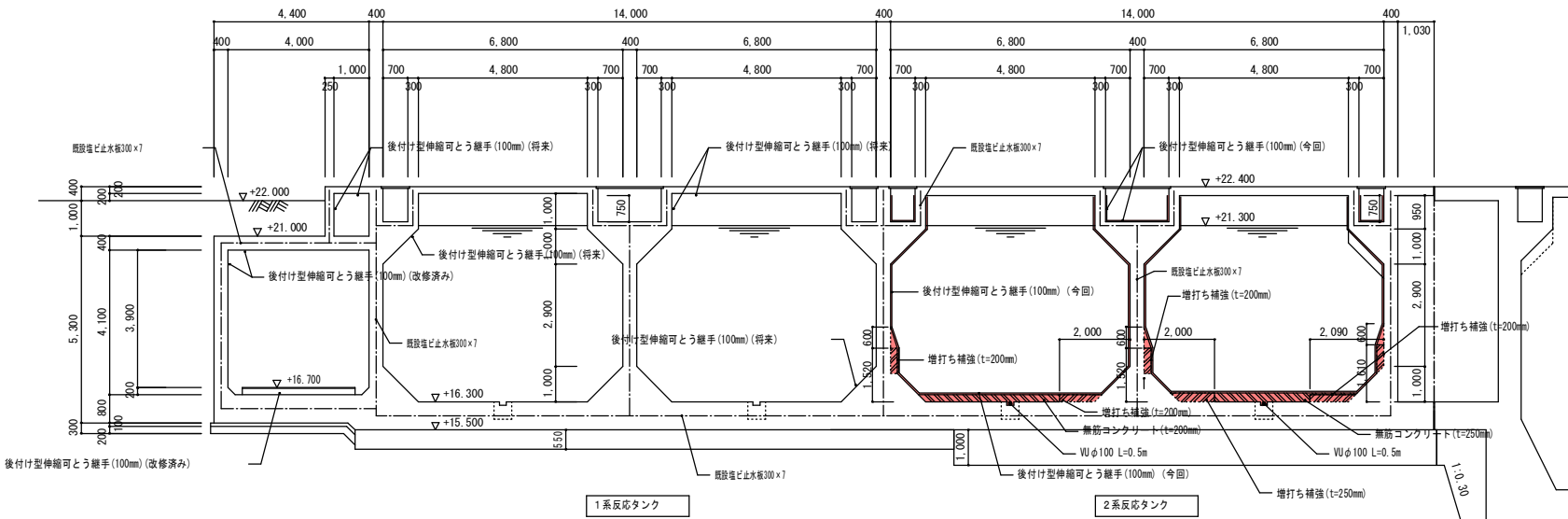
【D-1】詳細図参照  
1-1 断面図 S=1:100



【D-1】詳細図参照  
2-2 断面図 S=1:100



【D-1】詳細図参照  
1-1 断面図 S=1:100

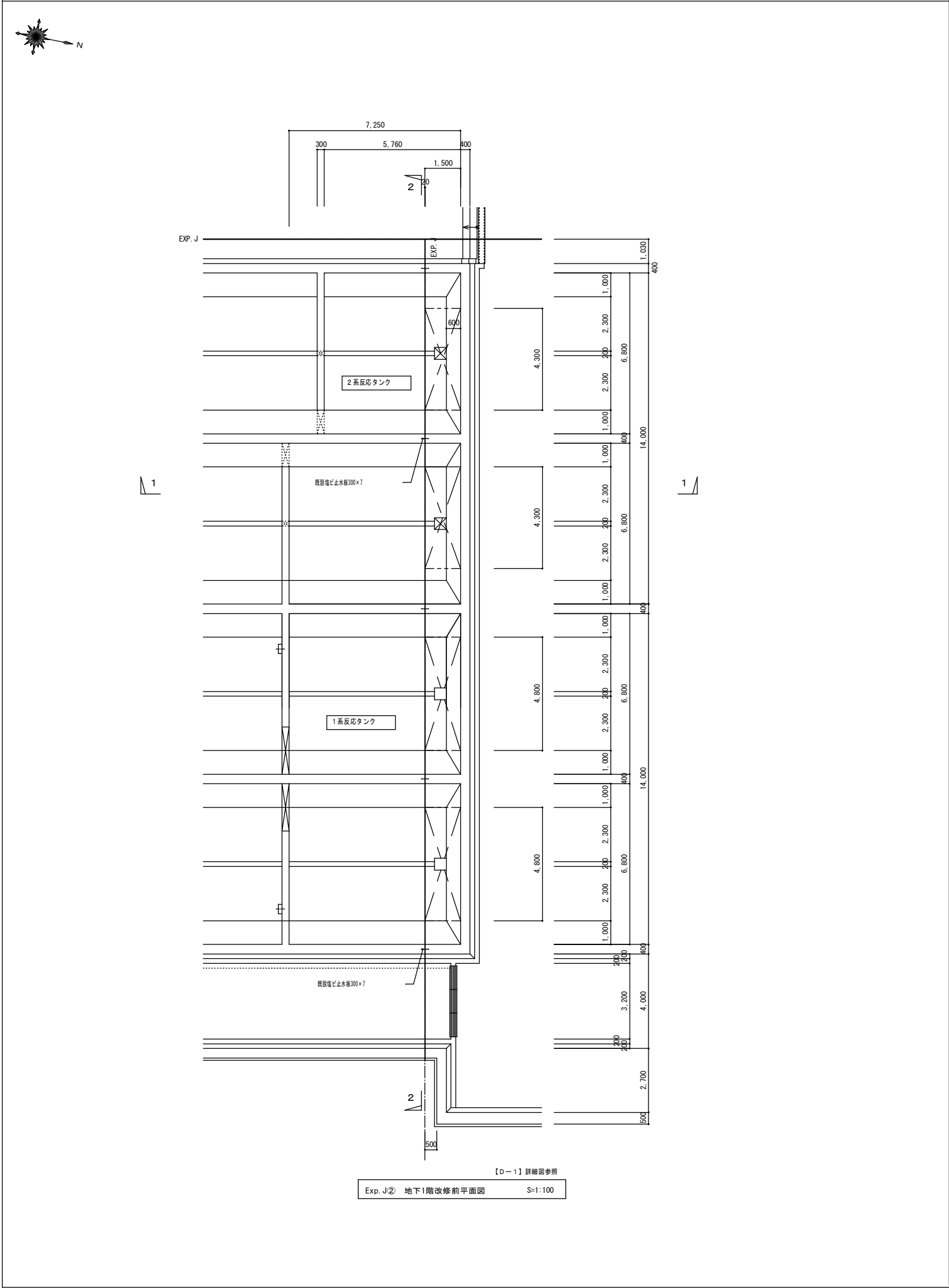


【D-1】詳細図参照  
2-2 断面図 S=1:100

## 実施

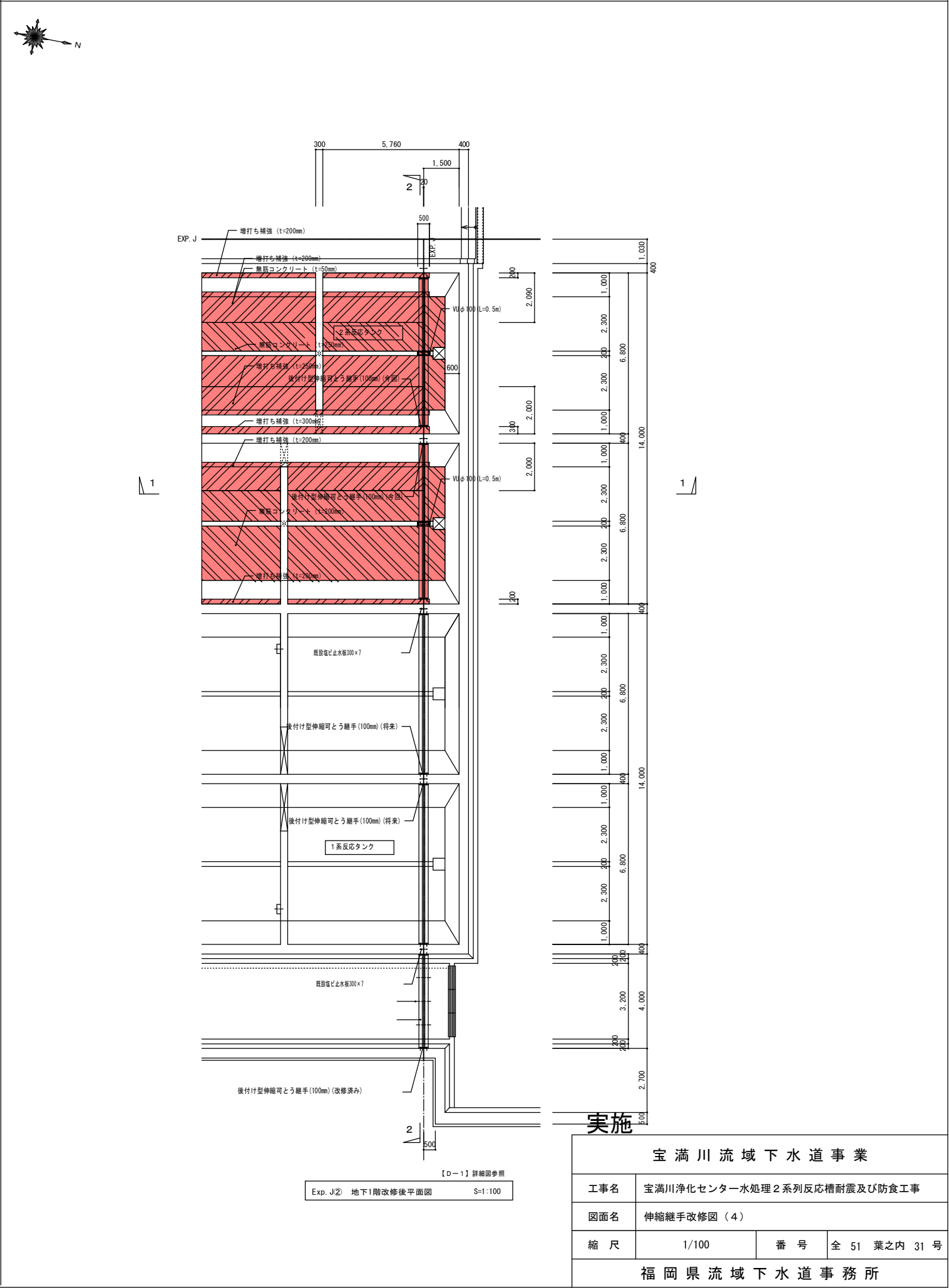
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（3）		
縮尺	1/100	番号	全 51 葉之内 30 号
福岡県流域下水道事務所			

【Exp. J② 改修前】



Exp. J② 地下1階改修前平面図 S=1:100

【Exp. J② 改修後】



Exp. J② 地下1階改修後平面圖 S=1:100

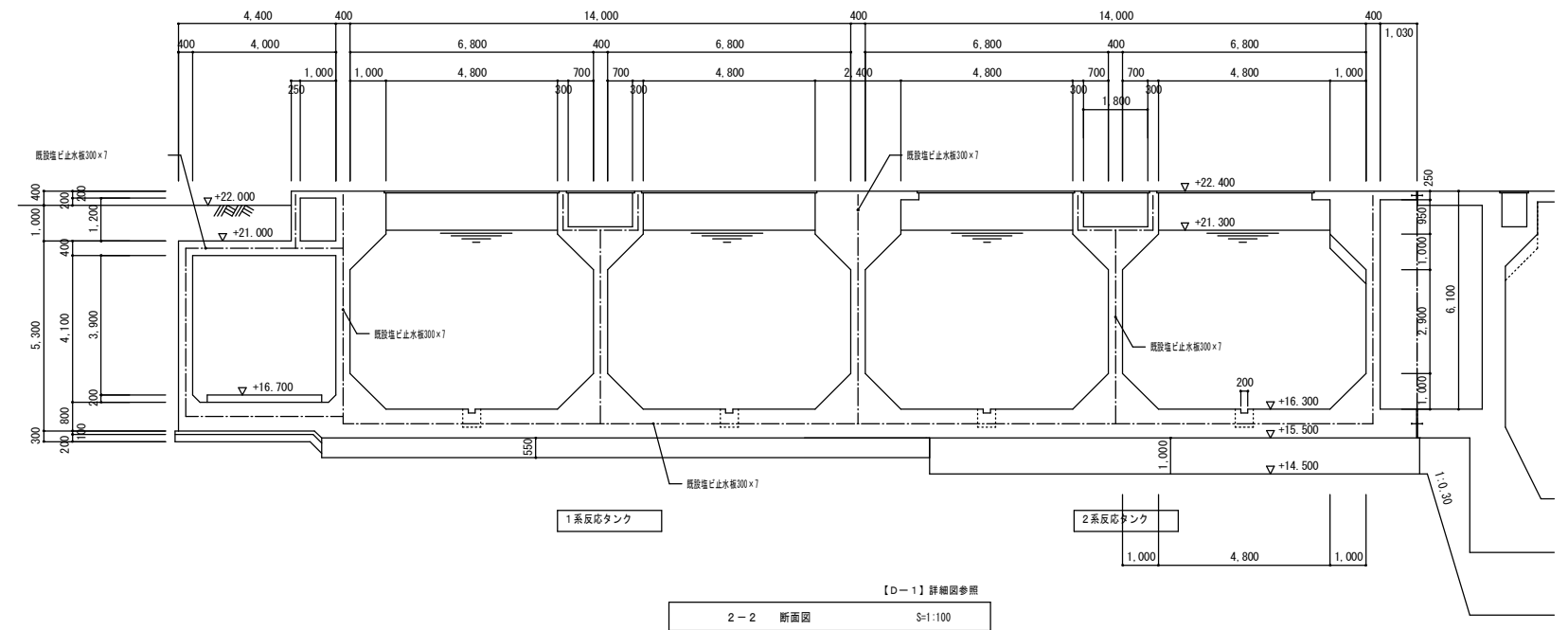
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（4）		
縮尺	1/100	番号	全 51 葉之内 31 号
福岡県流域下水道事務所			

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（4）		
縮尺	1/100	番号	全 51 葉之内 31 号
福岡県流域下水道事務所			



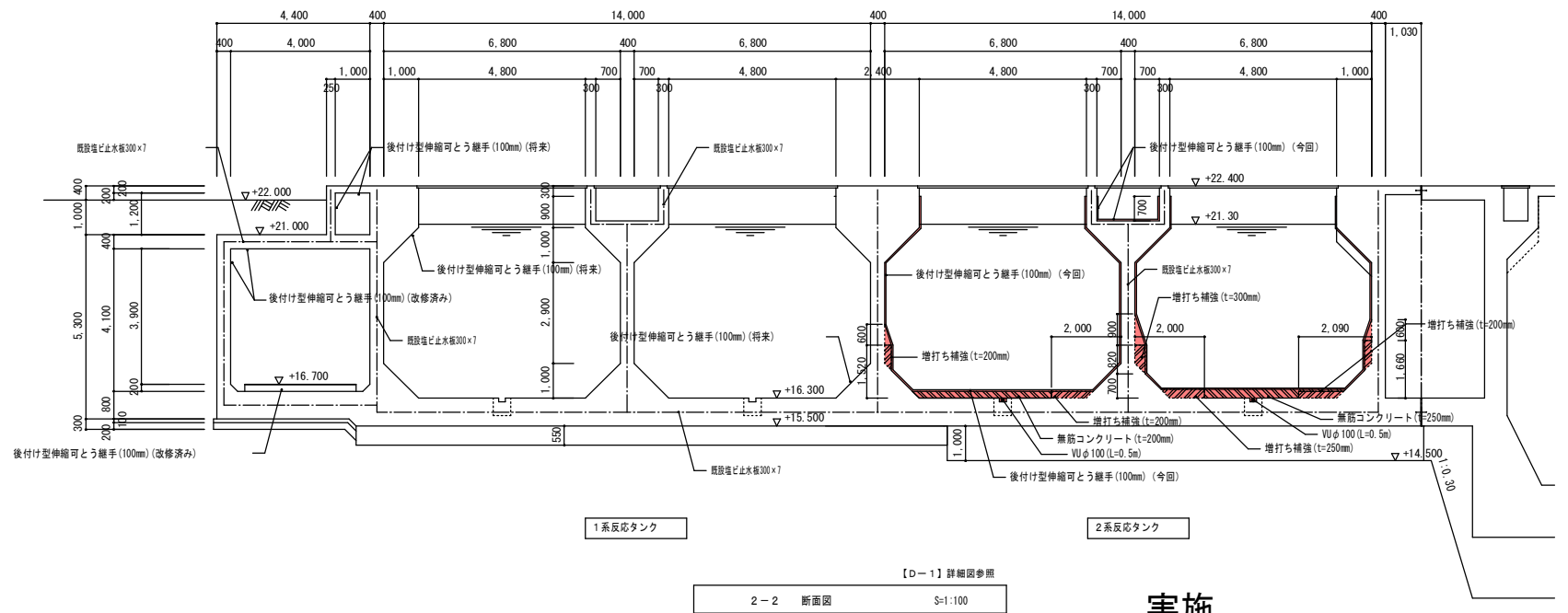


【Exp. J② 改修前】

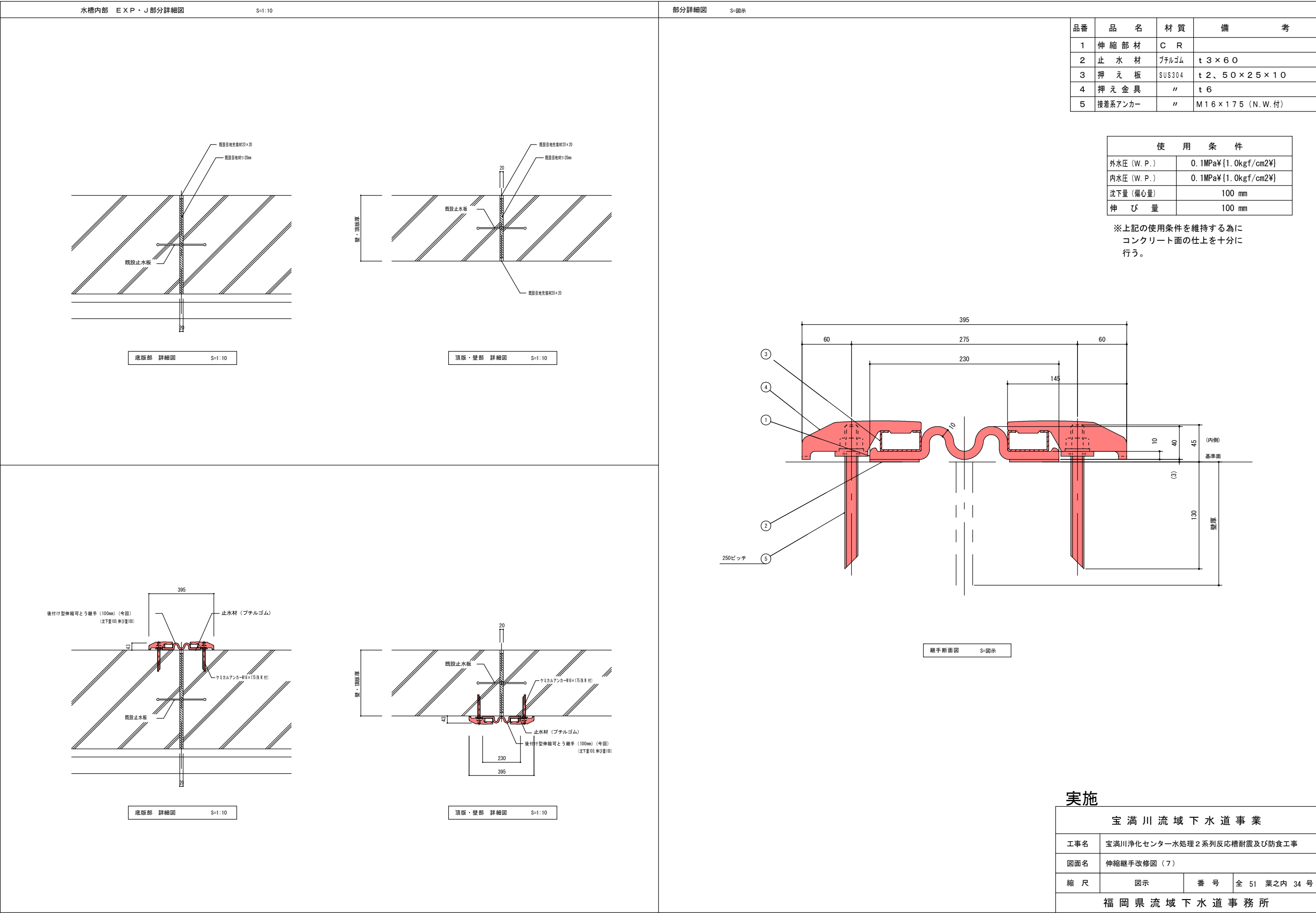


実施

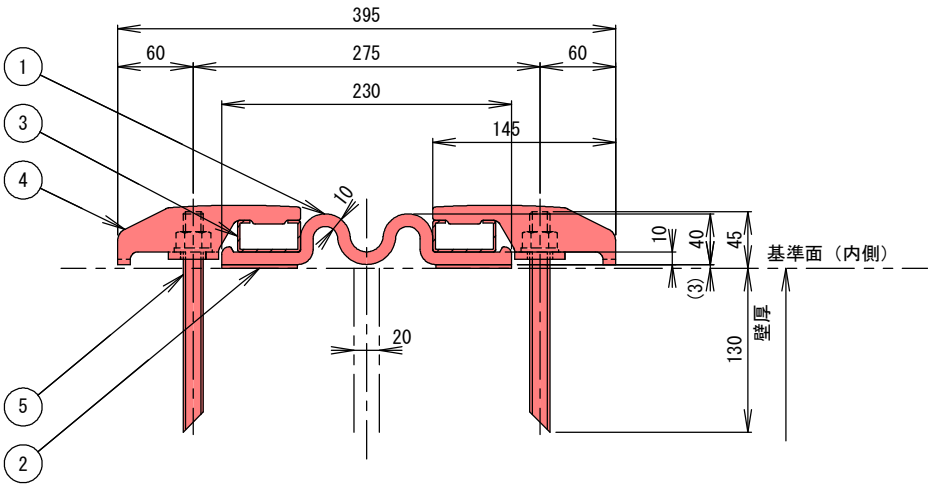
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（6）		
縮尺	1/100	番号	全 51 業之内 33 号
福岡県流域下水道事務所			



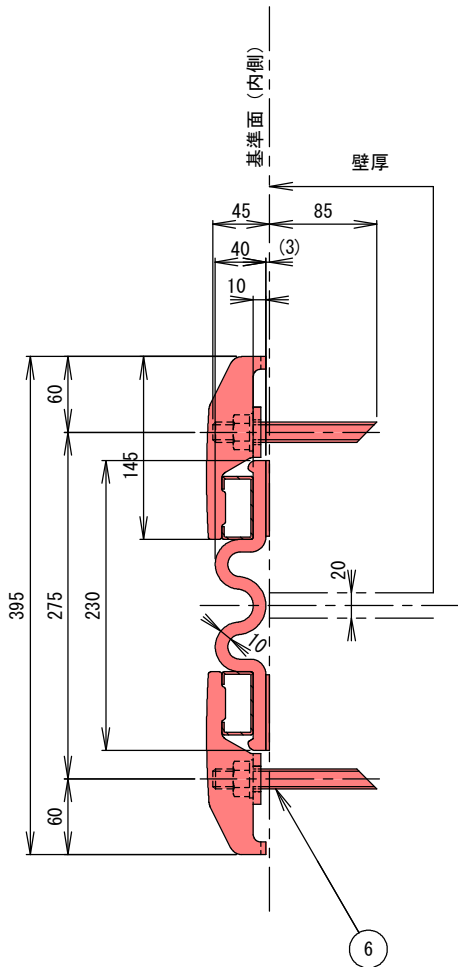
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（6）		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 33 号
福岡県流域下水道事務所			



継手断面図 1 S=1:3



継手断面図 2 S=1:3



品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		
2	止 水 材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押 え 板	SUS304	2 組		t 2、5 0 × 2 5 × 1 0
4	押 え 金 具	〃	1 6 8		t 6
5	接着系アンカー (1)	〃	1 4 0		M 1 6 × 1 7 5 (N. W. 付)
6	接着系アンカー (2)	〃	2 8		M 1 6 × 1 3 0 (N. W. 付)

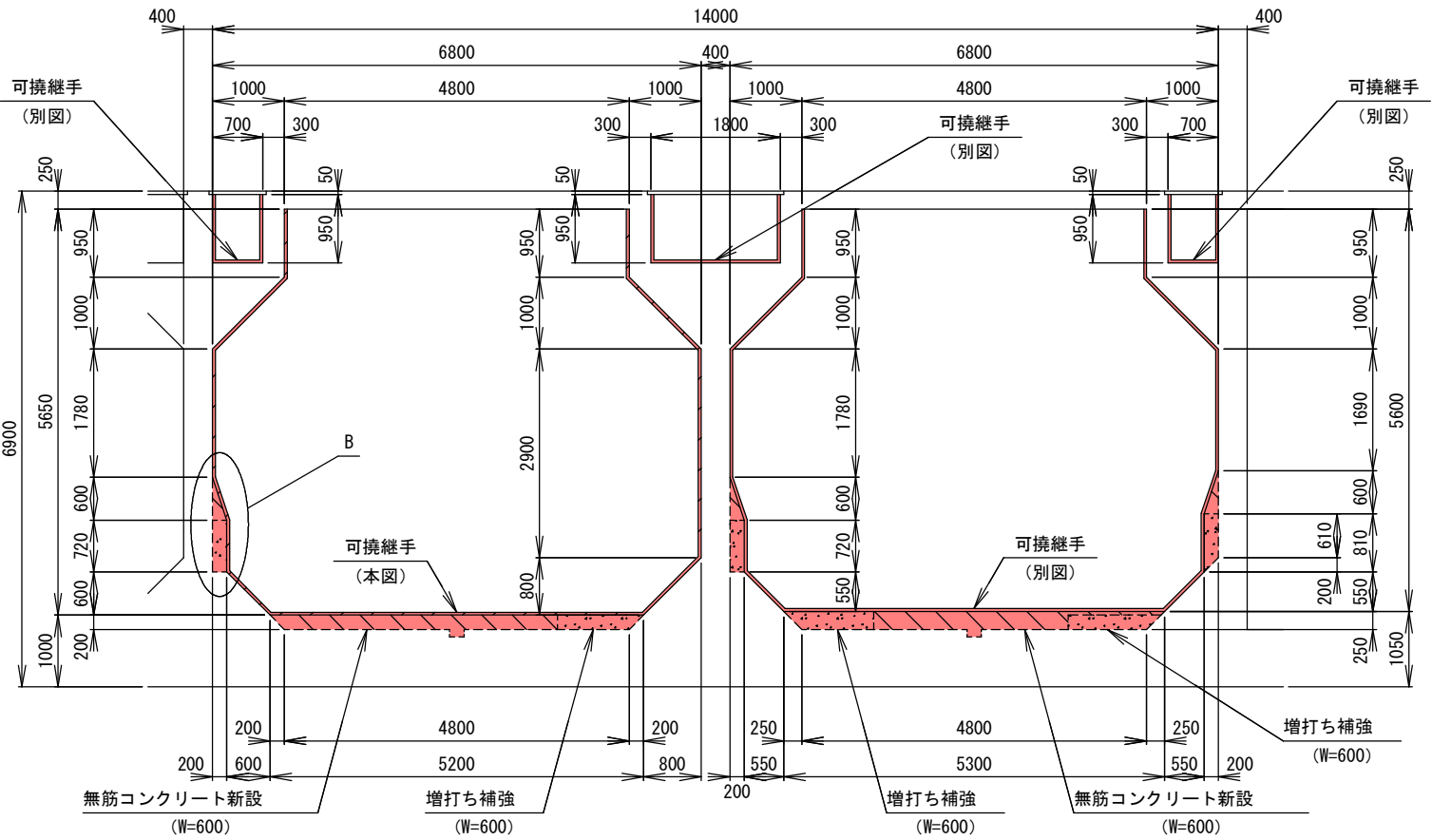
使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0. 1MPa
内水圧 (W. P.)	0. 1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に  
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

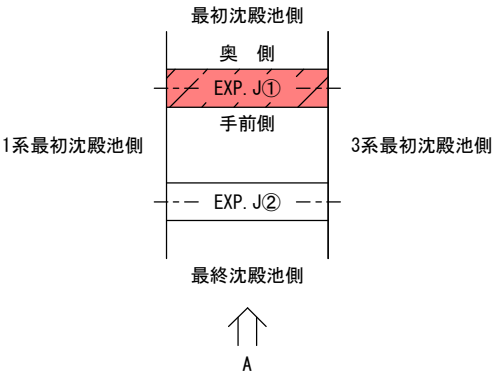
仕 様

- 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
- 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
- 品番1のC部はストレート品を納入し品番3により押え込む為、シワ等が生じる場合がある。
- 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。

取付断面図 (A 視図) S=1:50



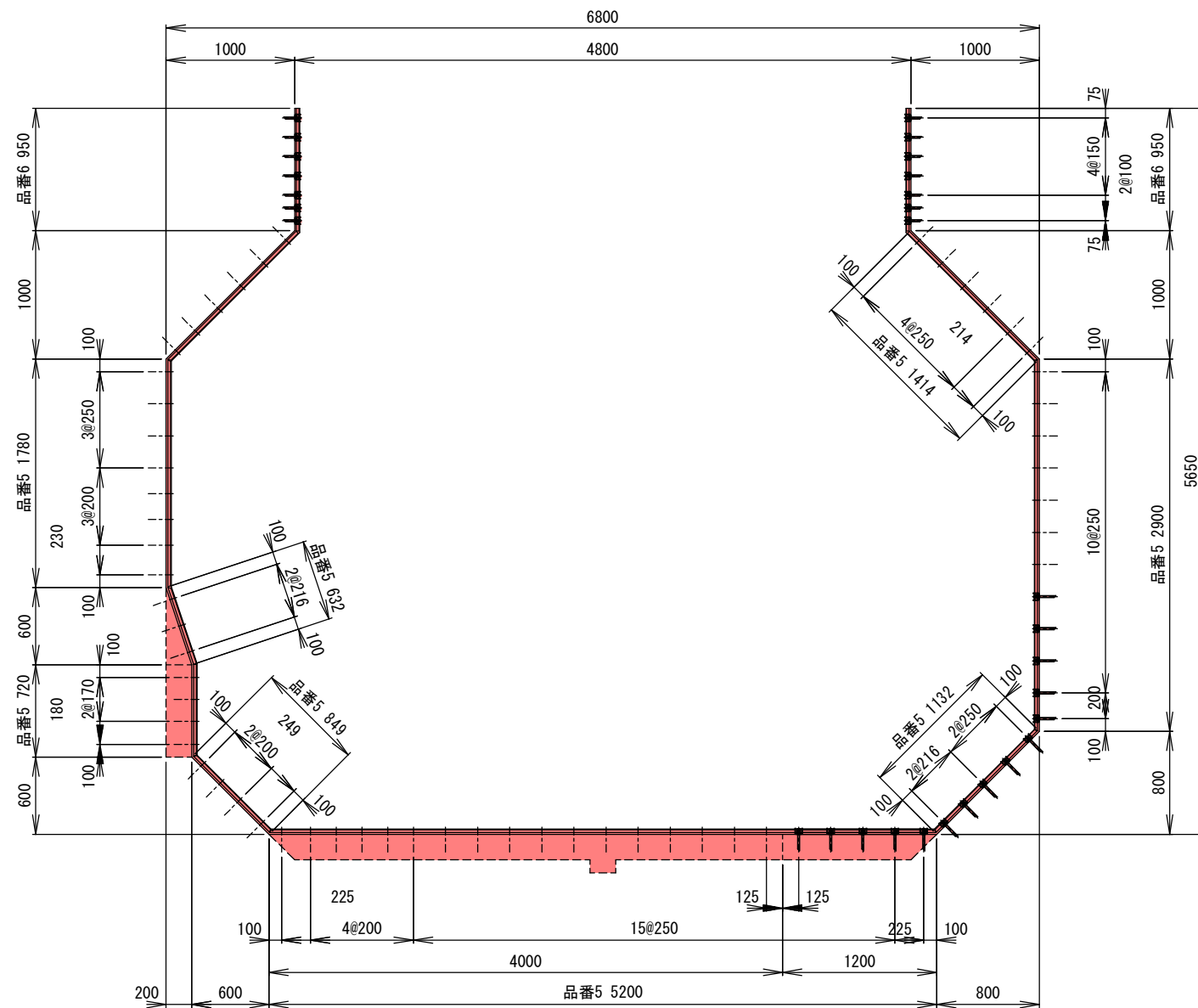
取付平面図



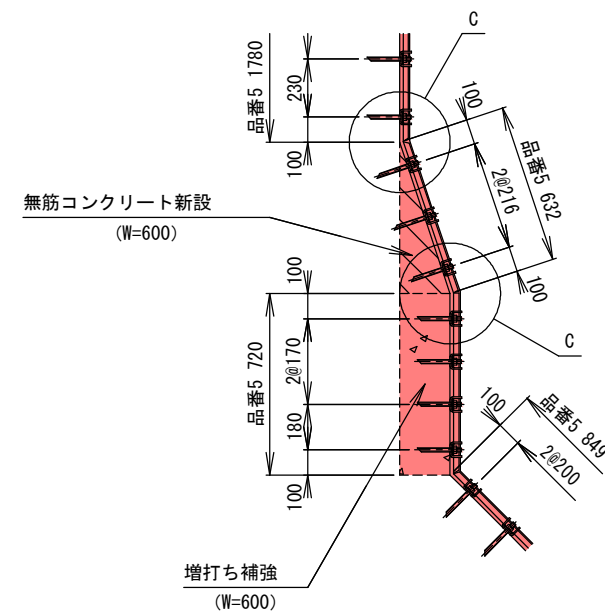
実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修図(1)		
縮 尺	図 示	番 号	全 51 葉之内 35 号
福岡県流域下水道事務所			

継手全体図 S=1:25  
(A 視図)



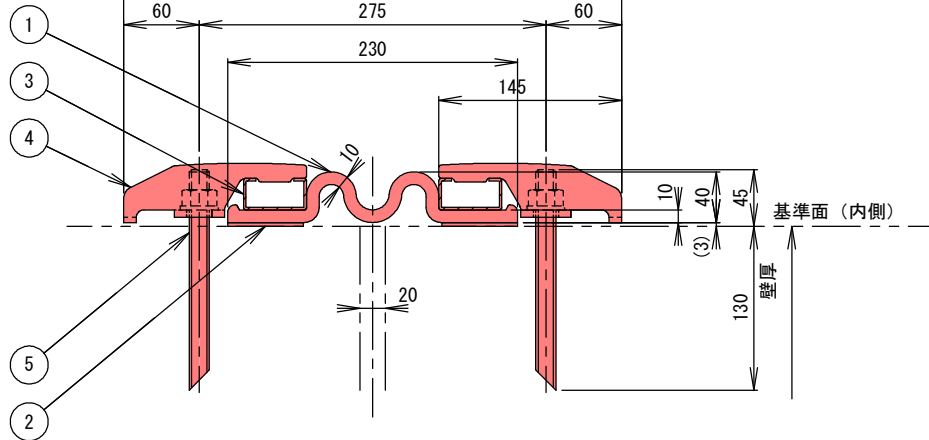
B部詳細図 S=1:15



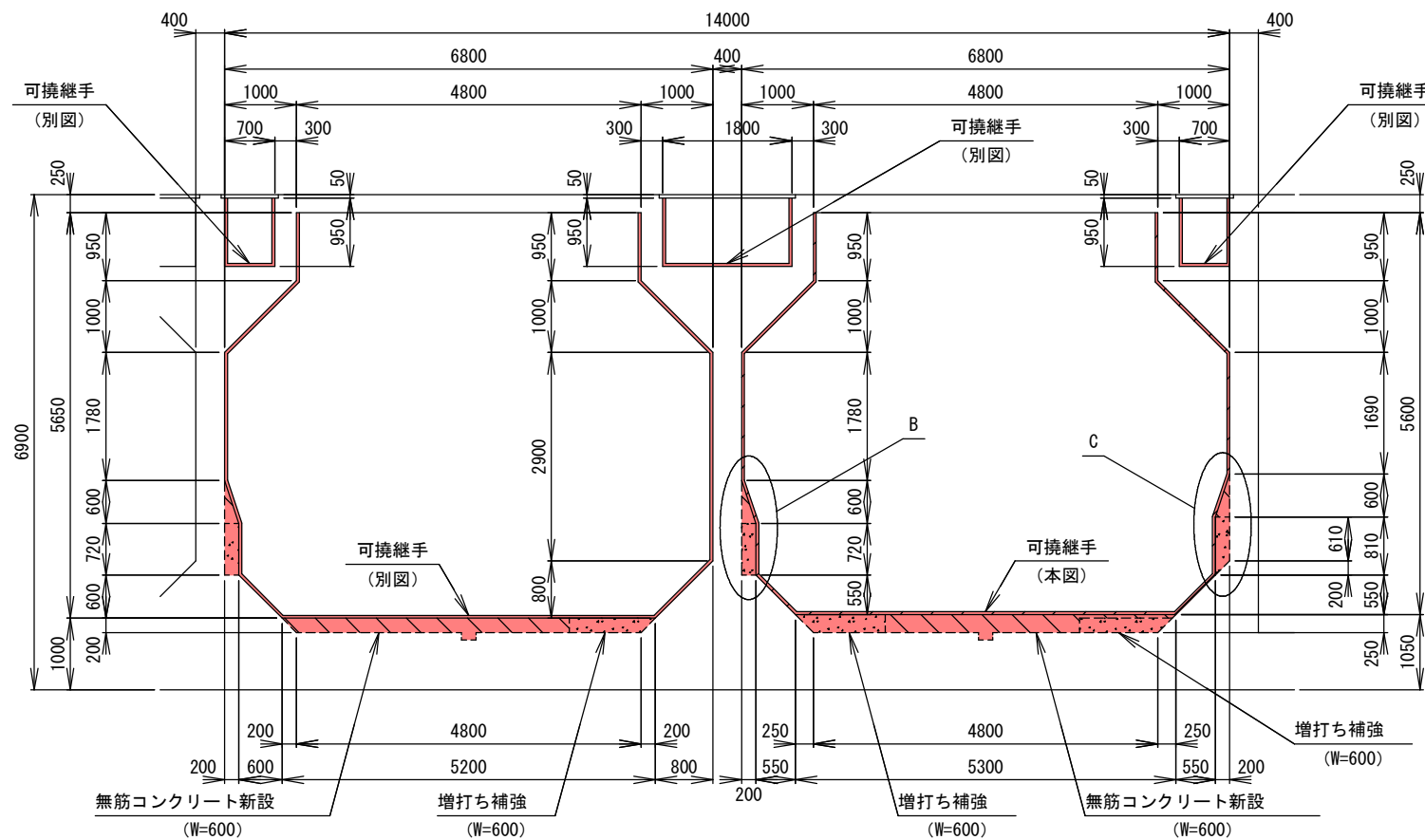
实施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修図(2)		
縮尺	図示	番 号	全 51 葉之内 36 号
福岡県流域下水道事務所			

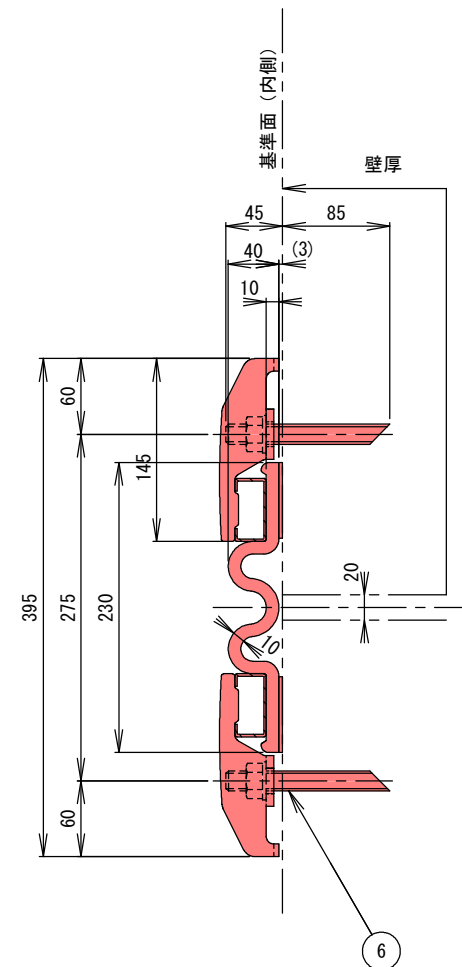
S=1:3



S=1 : 50



S=1:3



品番	品名	材質	数量		備考
			1基		
1	伸縮部材	C R	1		
2	止水材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押え板	SUS304	2組		t 2、50 × 25 × 10
4	押え金具	〃	172		t 6
5	接着系アンカー (1)	〃	144		M16 × 175 (N.W. 付)
6	接着系アンカー (2)	〃	28		M16 × 130 (N.W. 付)

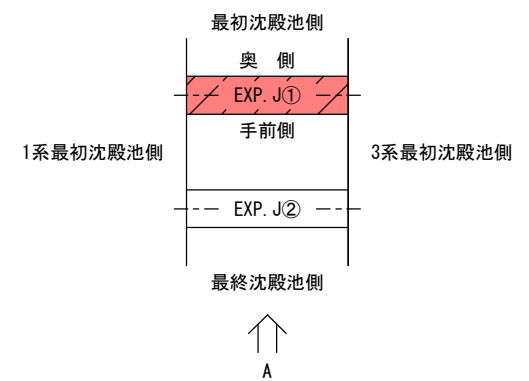
使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0. 1MPa
内水圧 (W. P.)	0. 1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に  
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

仕 様

1. 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
2. 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
3. 品番1のD部はストレート品を納入し品番3により押え込む為、シワ等が生じる場合がある。
4. 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。

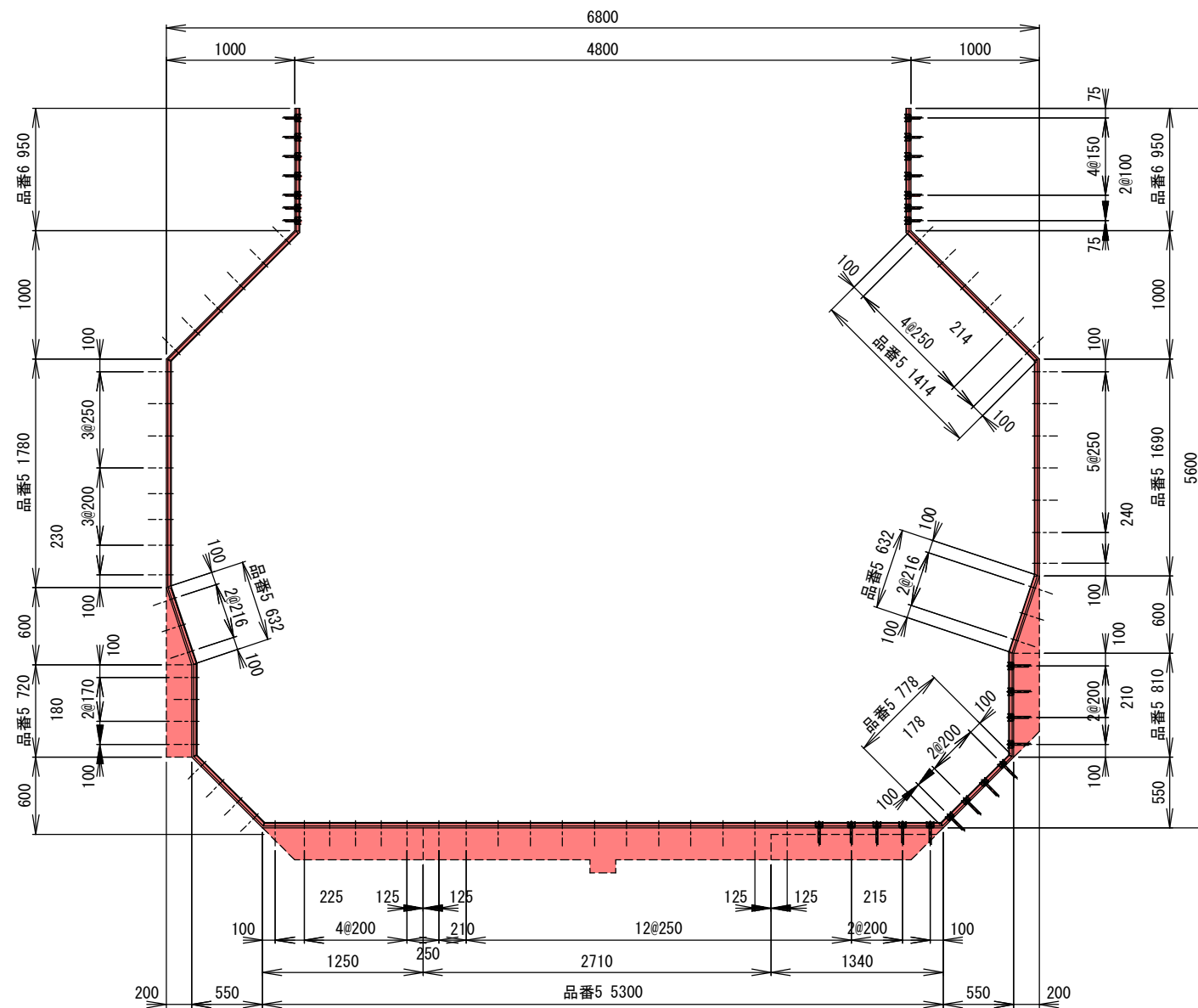
取付平面図



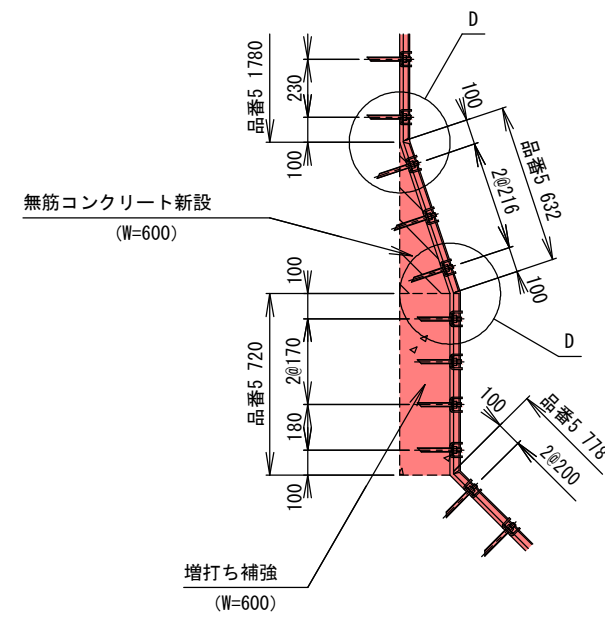
## 实施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修図(3)		
縮尺	図示	番号	全 51 葉之内 37 号
福岡県流域下水道事務所			

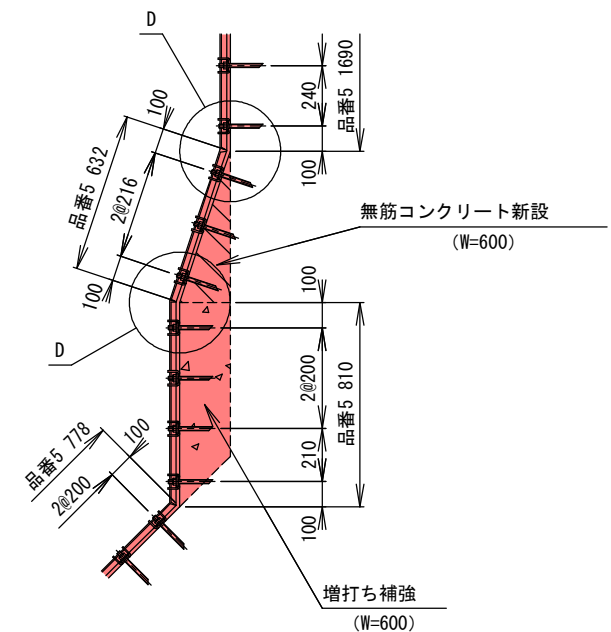
継手全体図 S=1:25  
(A 視図)



B部詳細図 S=1:15



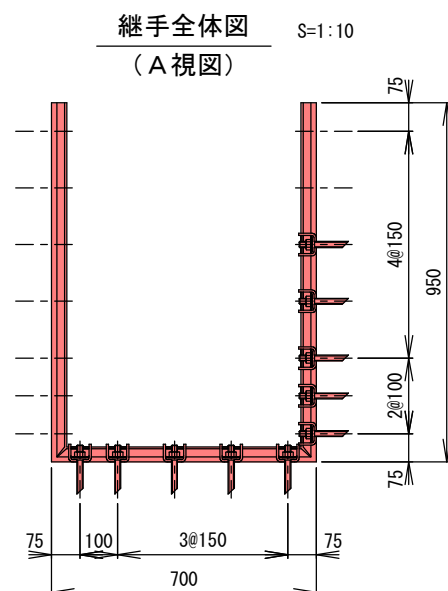
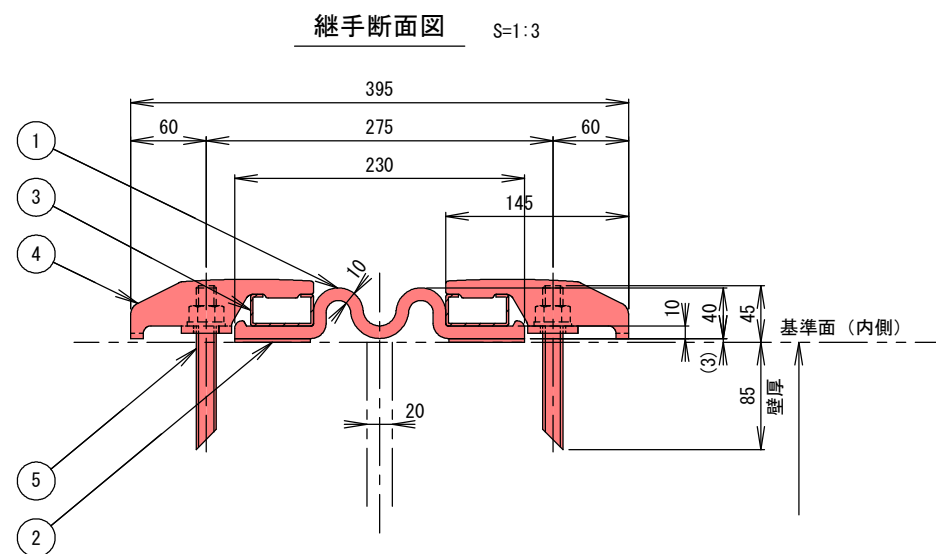
C部詳細図 S=1:15



实施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修図(4)		
縮尺	図示	番号	全 51 葉之内 38 号
福岡県流域下水道事務所			





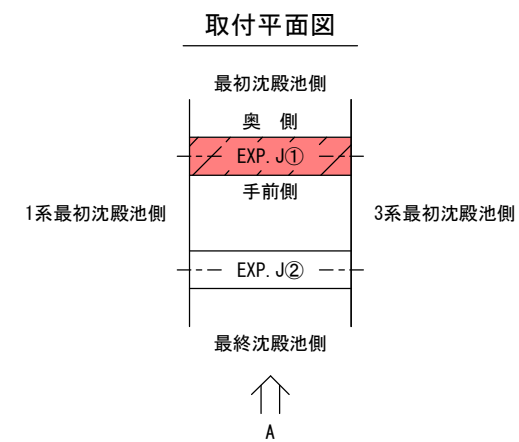
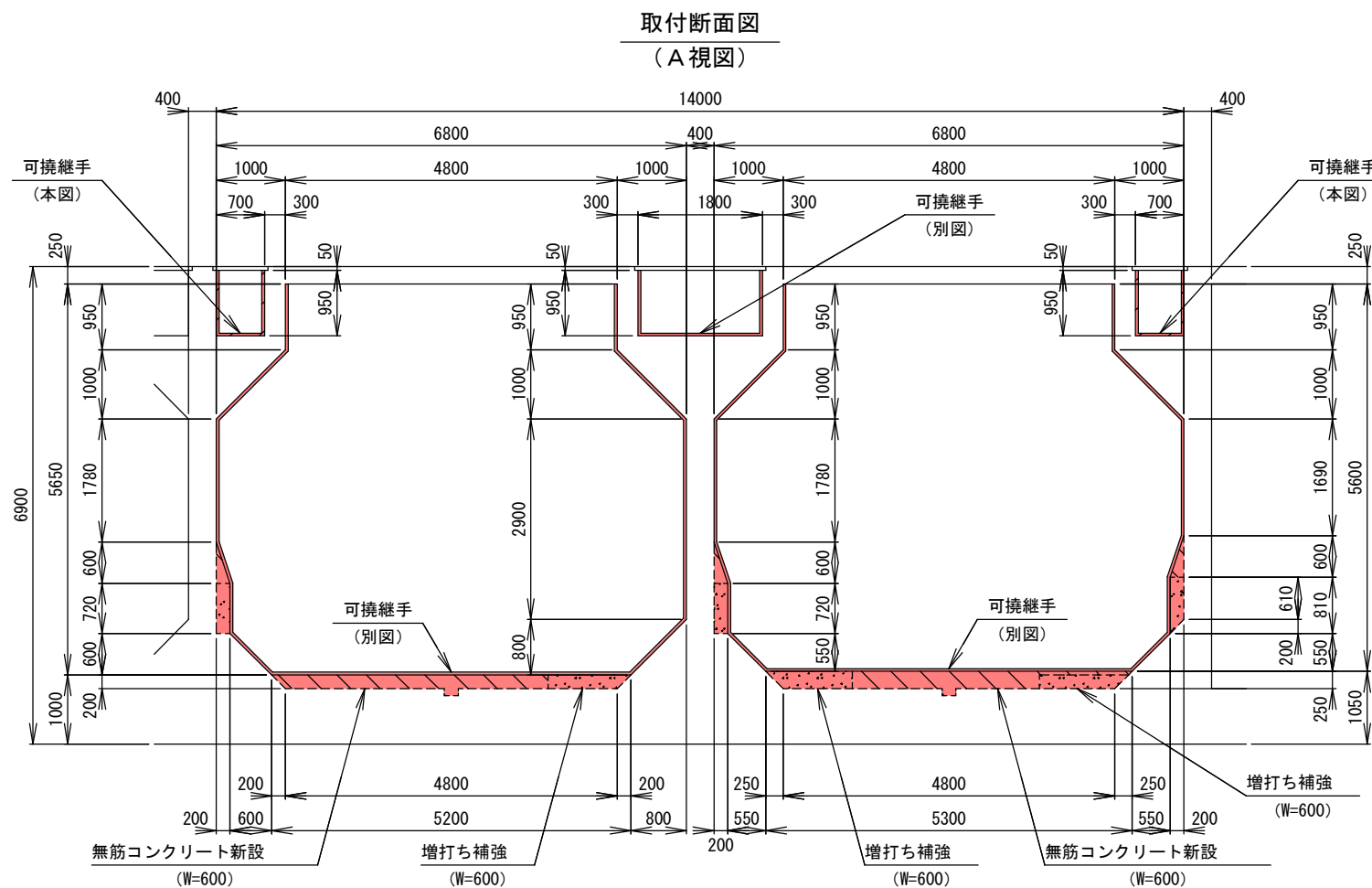
品番	品名	材質	数量		備考
			1基		
1	伸縮部材	C R	1		
2	止水材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押え板	SUS304	2組		t 2、5 0 × 2 5 × 1 0
4	押え金具	〃	3 8		t 6
5	接着系アンカー	〃	〃		M 1 6 × 1 3 0 (N.W. 付)

使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0.1MPa
内水圧 (W. P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に  
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

仕 様

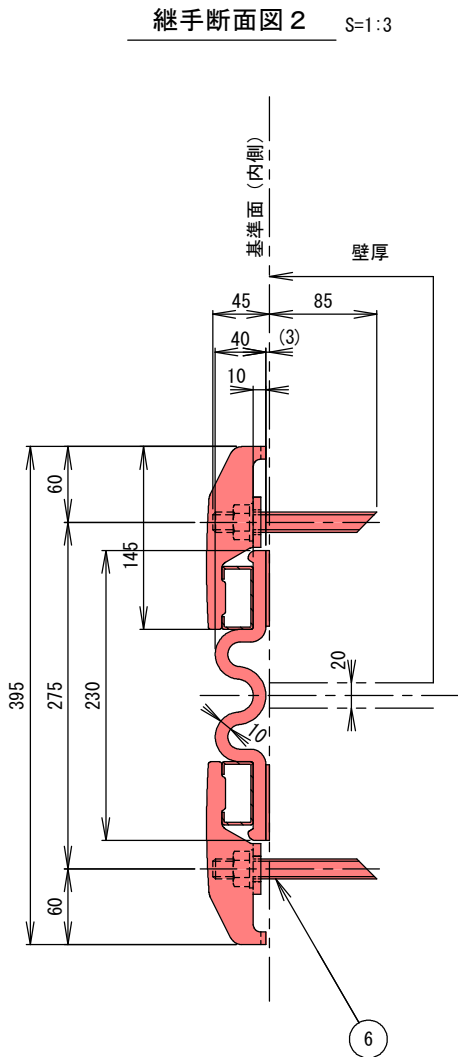
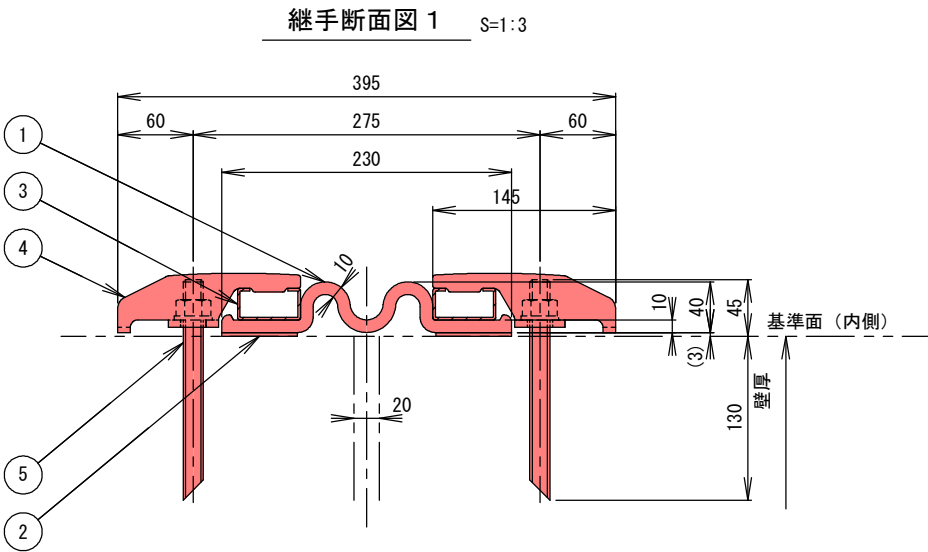
1. 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
2. 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
3. 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。



## 实施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修図(5)		
縮尺	図示	番号	全 51 葉之内 39 号
福岡県流域下水道事務所			





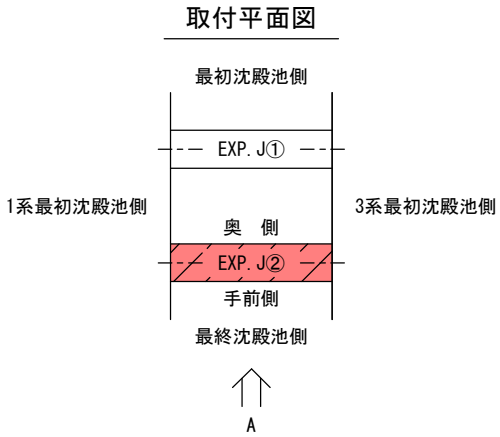
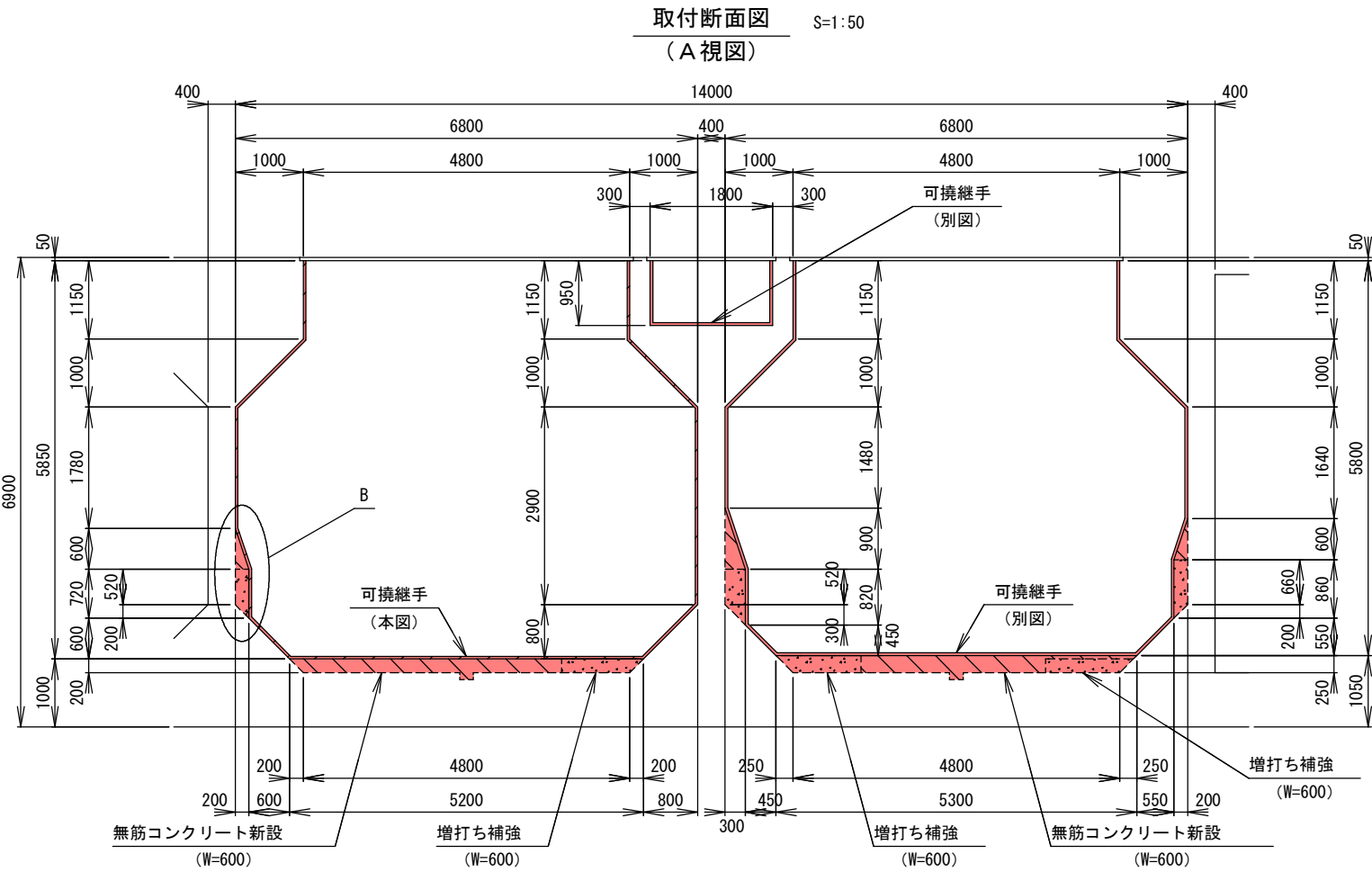
品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		
2	止 水 材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押 え 板	SUS304	2組		t 2、5 0 × 2 5 × 1 0
4	押 え 金 具	〃	1 6 6		t 6
5	接着系アンカー (1)	〃	1 5 0		M 1 6 × 1 7 5 (N.W. 付)
6	接着系アンカー (2)	〃	1 6		M 1 6 × 1 3 0 (N.W. 付)

使 用 条 件	
外水圧 (W.P.)	0.1MPa
内水圧 (W.P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に  
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

仕 様

- 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
- 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
- 品番1のC部はストレート品を納入し品番3により押え込む為、シワ等が生じる場合がある。
- 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。



実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理 2 系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J②改修図 ( 1 )		
縮 尺	図示	番 号	全 51 葉之内 41 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

S=1:25



S=1:15



## 宝満川流域下水道事業

宝満川流域下水道事業宝満川流域下水道事業宝満川流域下水道事業

S=1:3



S=1:3



S=1:3

S=1:3

S=1:3

S=1:3

- S=1:3

S=1:50



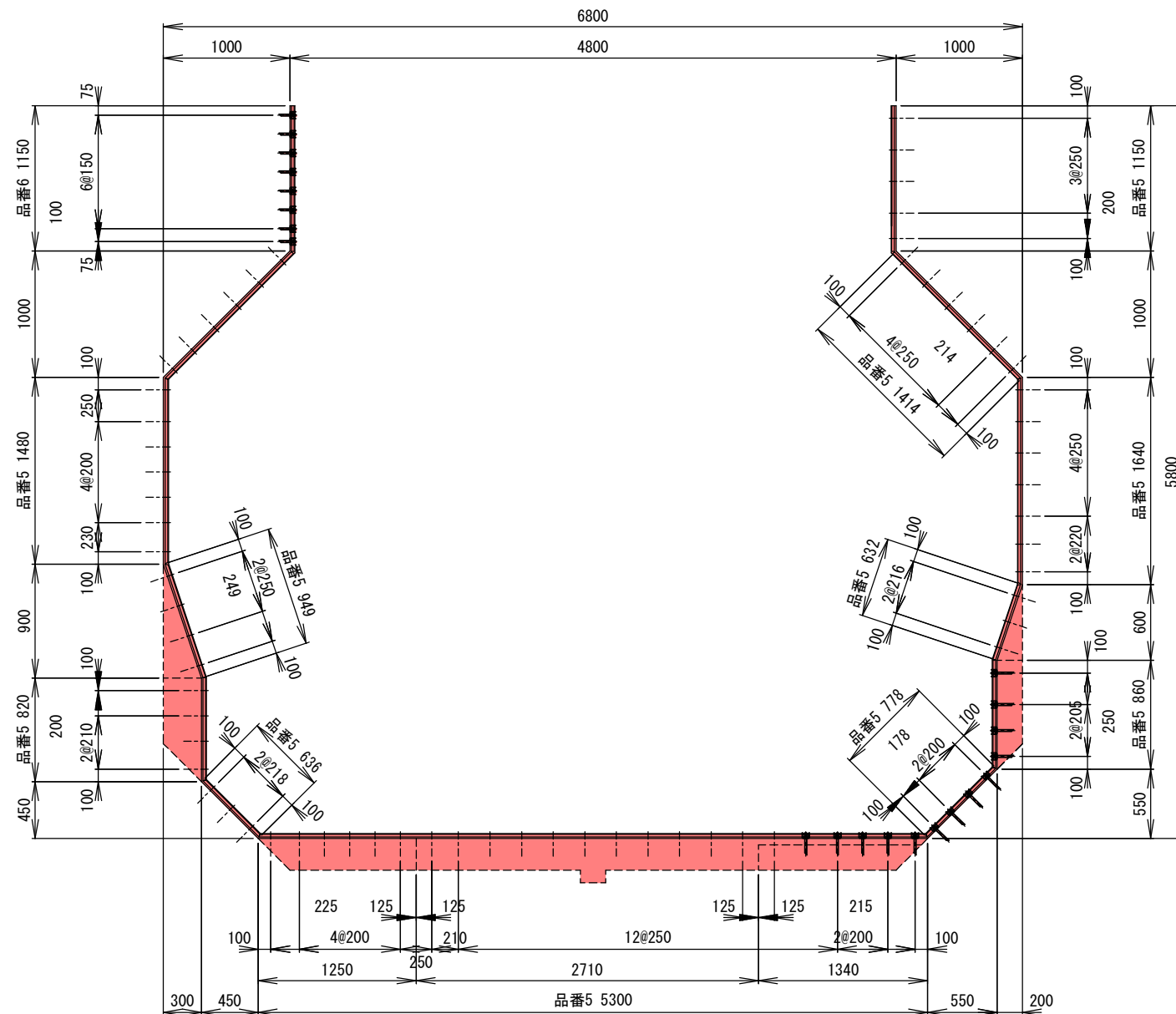
---



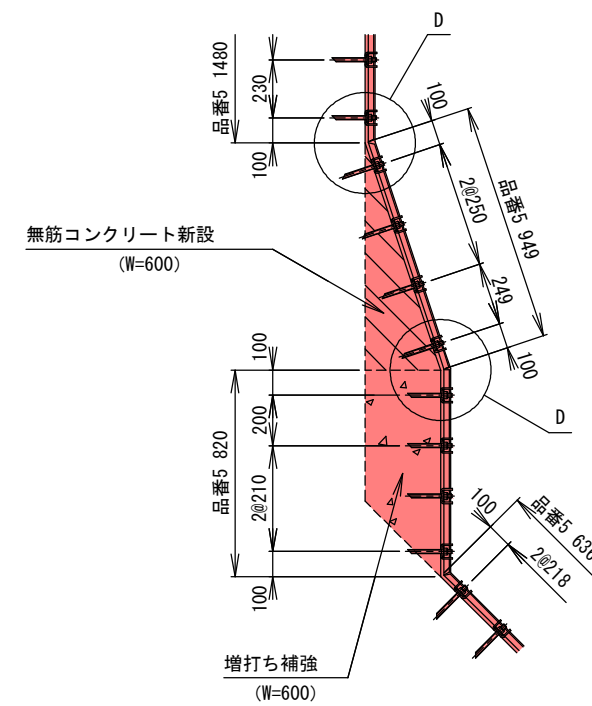
---

---

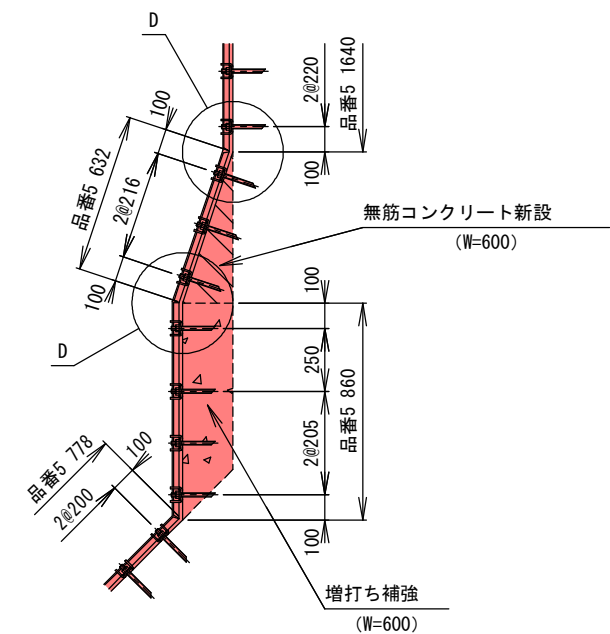
継手全体図 S=1:25  
(A 視図)



B部詳細図 S=1:15

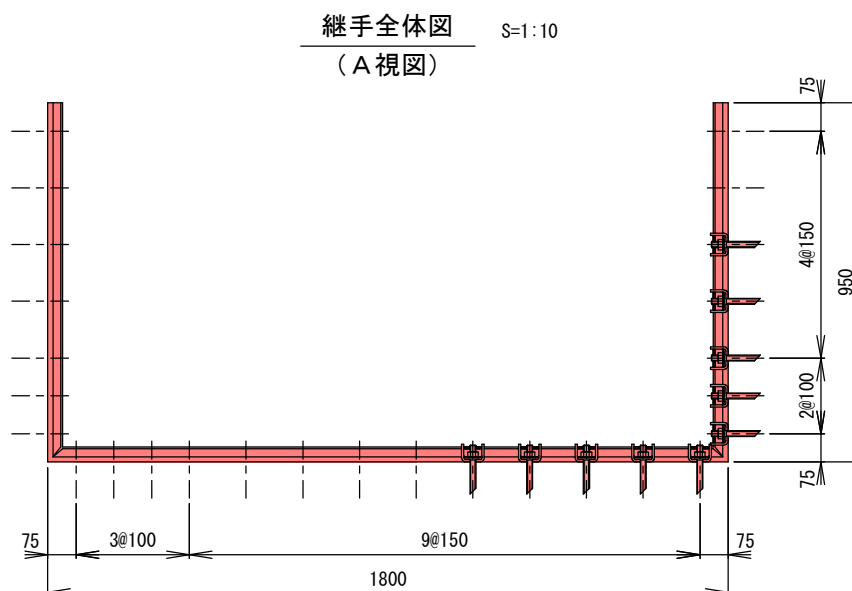
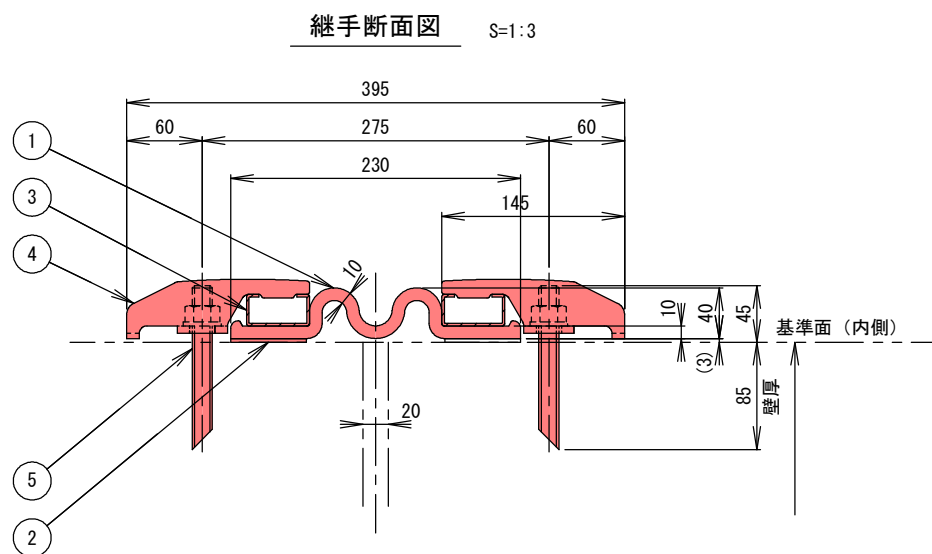


C部詳細図 S=1:15



## 实施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J②改修図(4)		
縮 尺	図示	番 号	全 51 葉之内 44 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



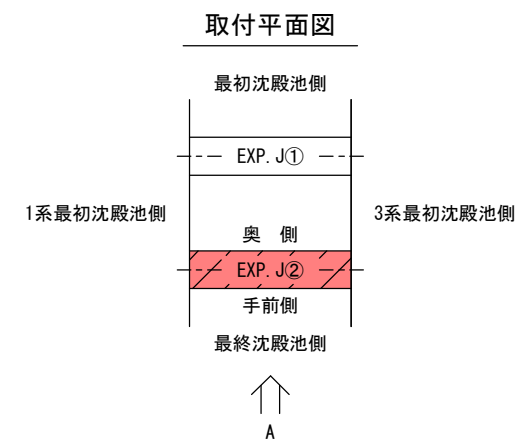
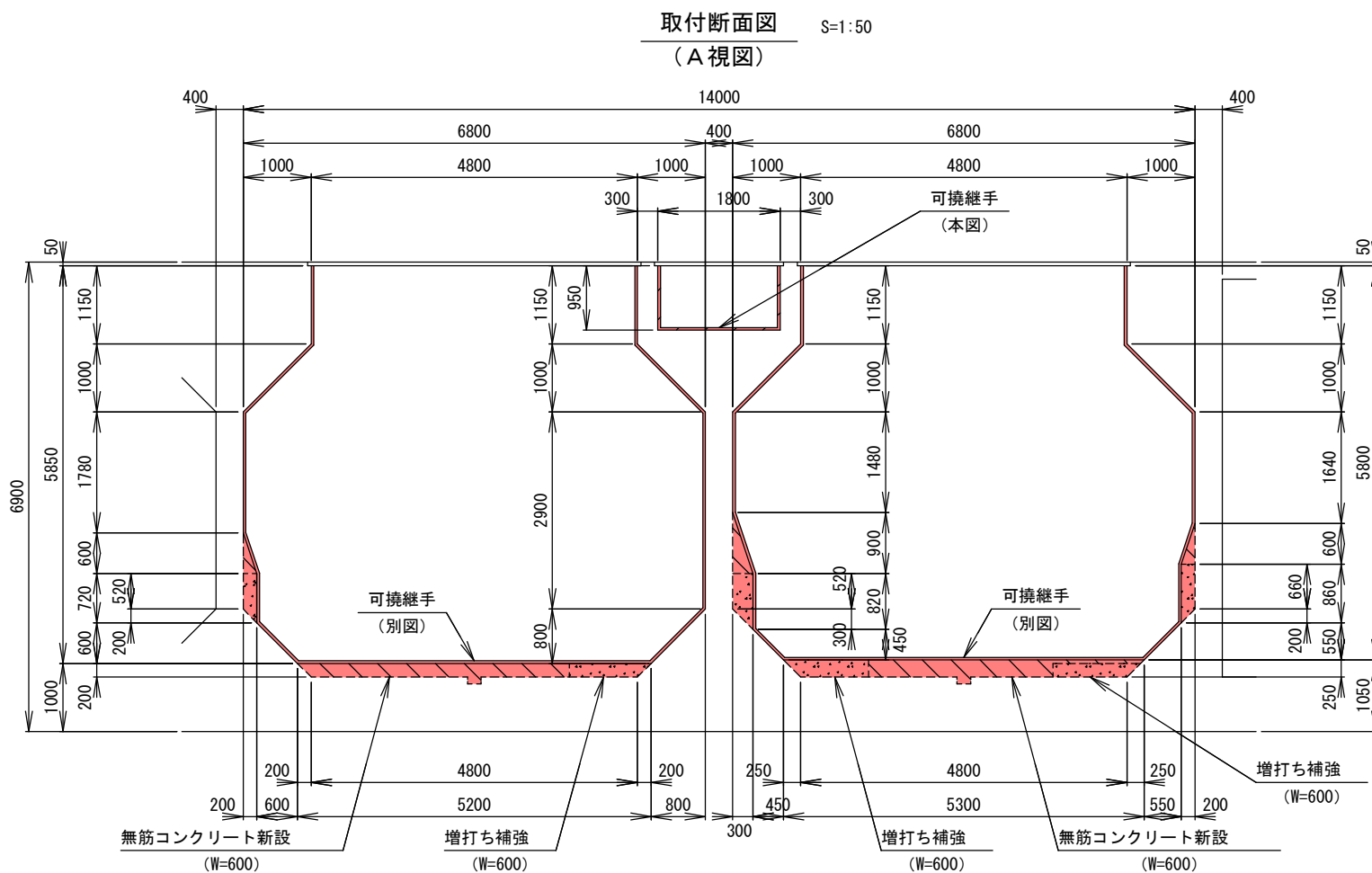
品番	品名	材質	数量		備考
			1基		
1	伸縮部材	C R	1		
2	止水材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押え板	SUS304	2組		t 2、5 0 × 2 5 × 1 0
4	押え金具	〃	5 4		t 6
5	接着系アンカー	〃	〃		M 1 6 × 1 3 0 (N.W. 付)

使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0.1MPa
内水圧 (W. P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に  
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

仕 様

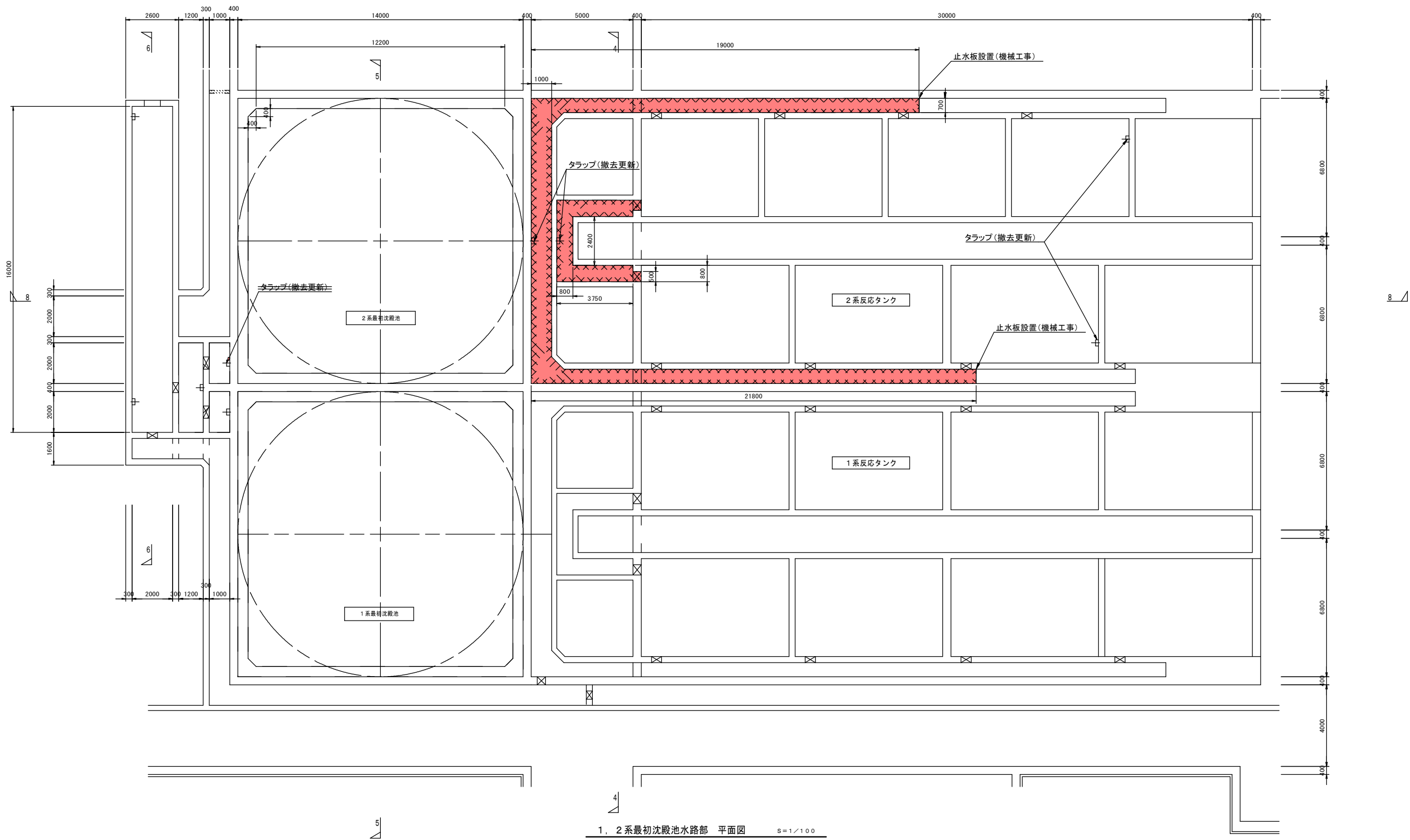
1. 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
2. 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
3. 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。



## 实施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J②改修図(5)		
縮尺	図示	番号	全 51 葉之内 45 号
福岡県流域下水道事務所			





1. 2系最初沈殿池水路部 平面図 S=1/100

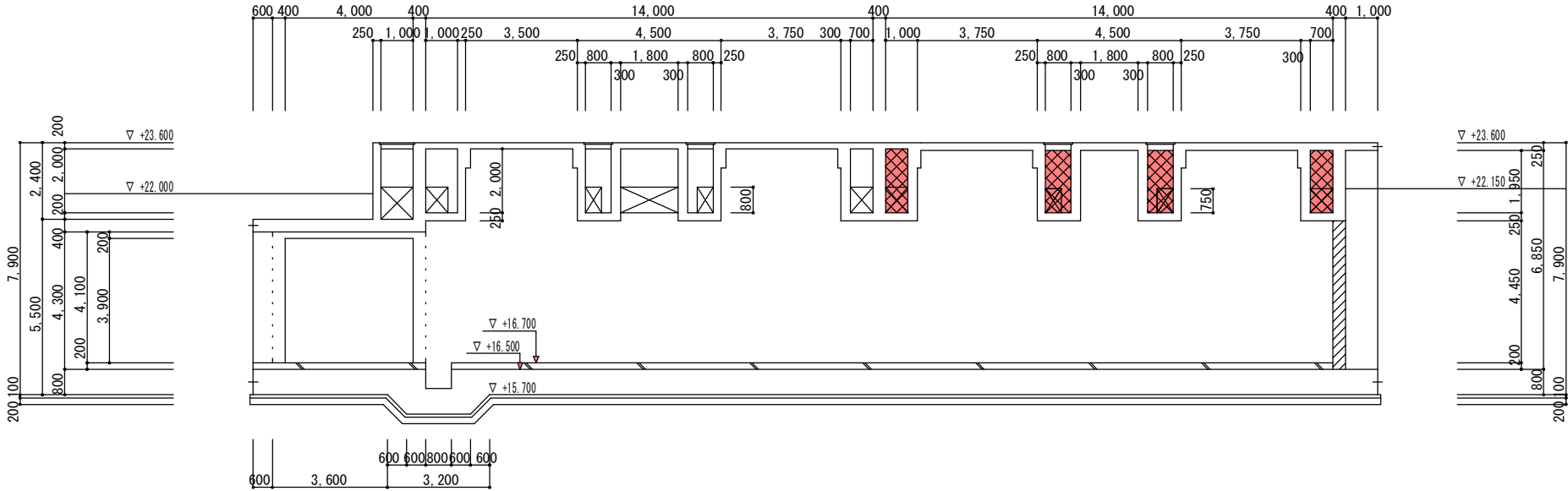
防食仕様:塗布型C種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
2系最初沈殿池		2.0 m <sup>2</sup>	221.9 m <sup>2</sup>	262.3 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	486.2 m <sup>2</sup>	Ⅱ 類	容易
2系反応タンク		49.1 m <sup>2</sup>	283.4 m <sup>2</sup>	7.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	339.5 m <sup>2</sup>	Ⅱ 類	容易

防食仕様:塗布型D種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
スカムビット		1.0 m <sup>2</sup>	9.8 m <sup>2</sup>	1.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	11.8 m <sup>2</sup>	I 類	容易

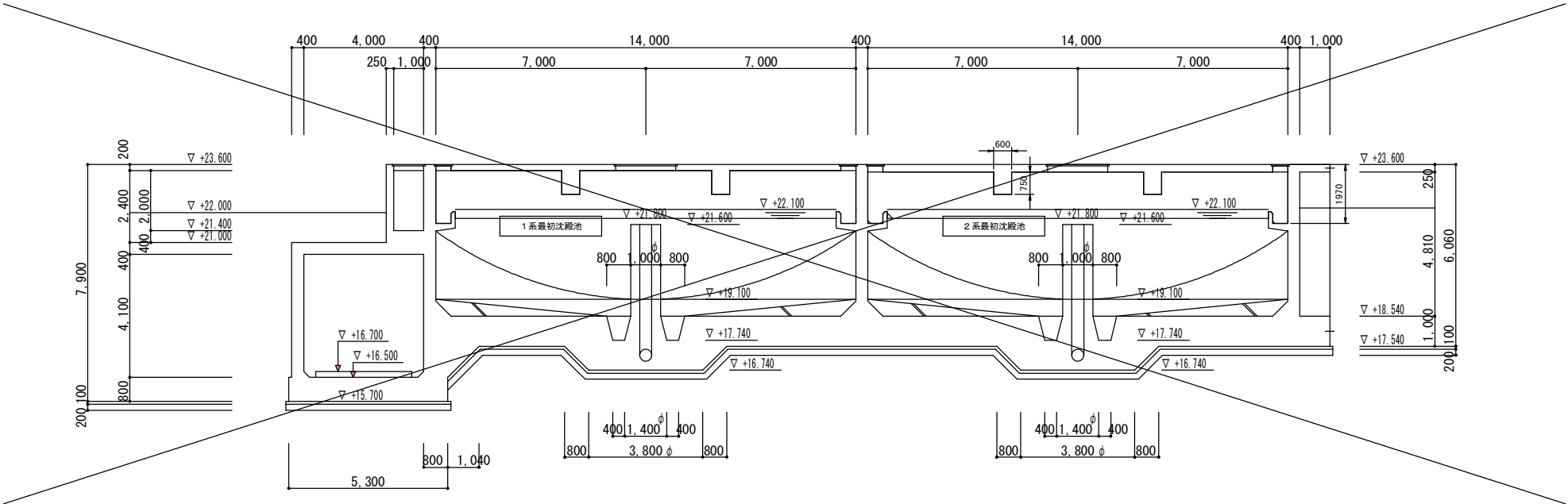
※劣化部除去および断面修復の施工範囲についても同範囲とする。  
※劣化部除去深さ、断面修復厚さについては、コンクリートの調査を行い、監督員と協議すること。

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池 防食塗装 平面図		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 46 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



1・2系最初沈殿池 4－4断面図 1:100



1・2系最初沈殿池 5－5断面図 1:100

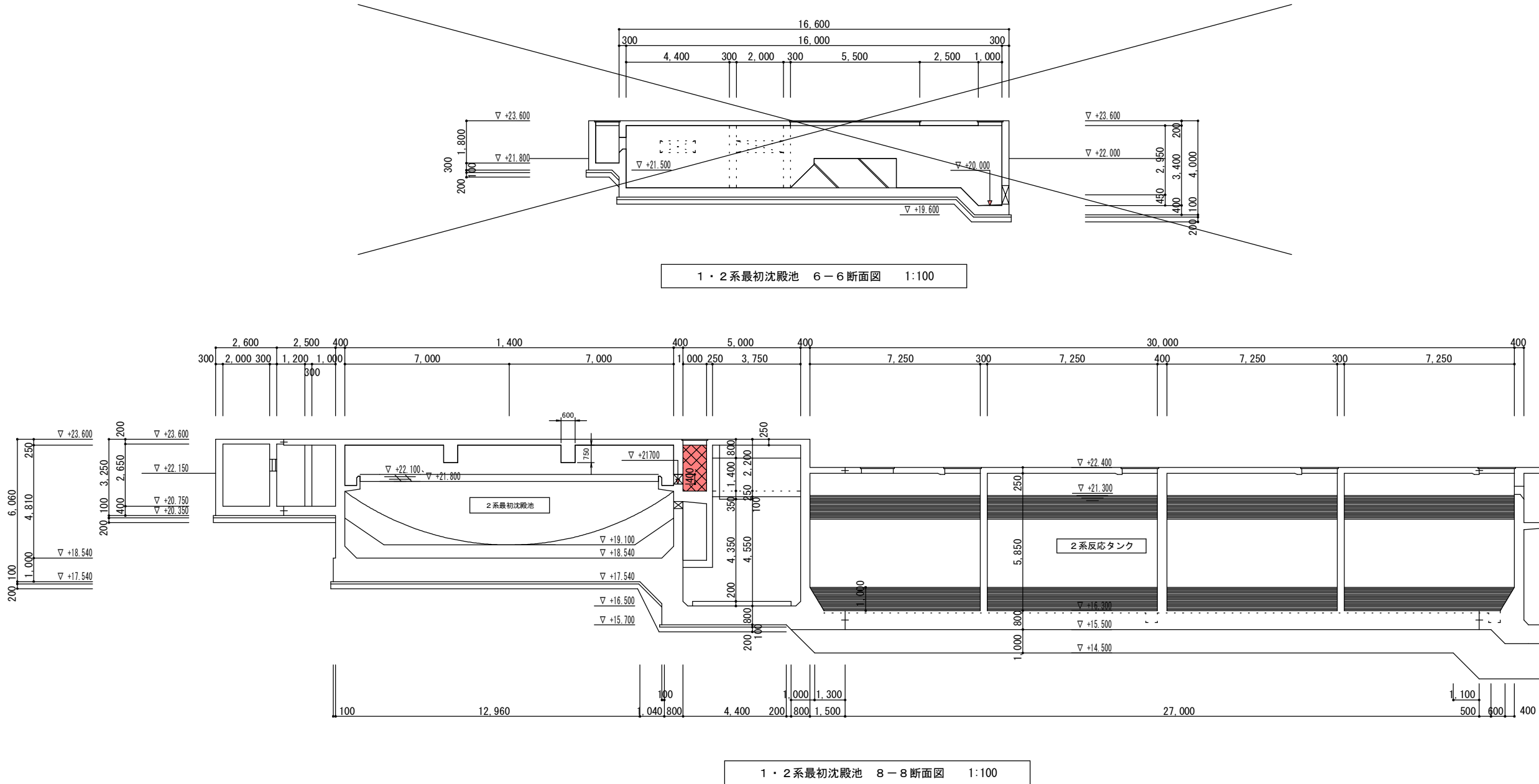
防食仕様:塗布型C種								
対象施設	凡 例	部 位				設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性	
		床	壁	天 井	役物	合 計		
2系最初沈殿池		2.0 m <sup>2</sup>	221.9 m <sup>2</sup>	262.3 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	486.2 m <sup>2</sup>	Ⅱ類	容易
2系反応タンク		49.1 m <sup>2</sup>	283.4 m <sup>2</sup>	7.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	339.5 m <sup>2</sup>	Ⅱ類	容易

防食仕様:塗布型D種								
対象施設	凡 例	部 位				設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性	
		床	壁	天 井	役物	合 計		
スカムビット		1.0 m <sup>2</sup>	9.8 m <sup>2</sup>	1.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	11.8 m <sup>2</sup>	I 類	容易

※劣化部除去および断面修復の施工範囲についても同範囲とする。  
※劣化部除去深さ、断面修復厚さについては、コンクリートの調査を行い、監督員と協議すること。

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池 防食塗装 断面図 (1)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 47 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

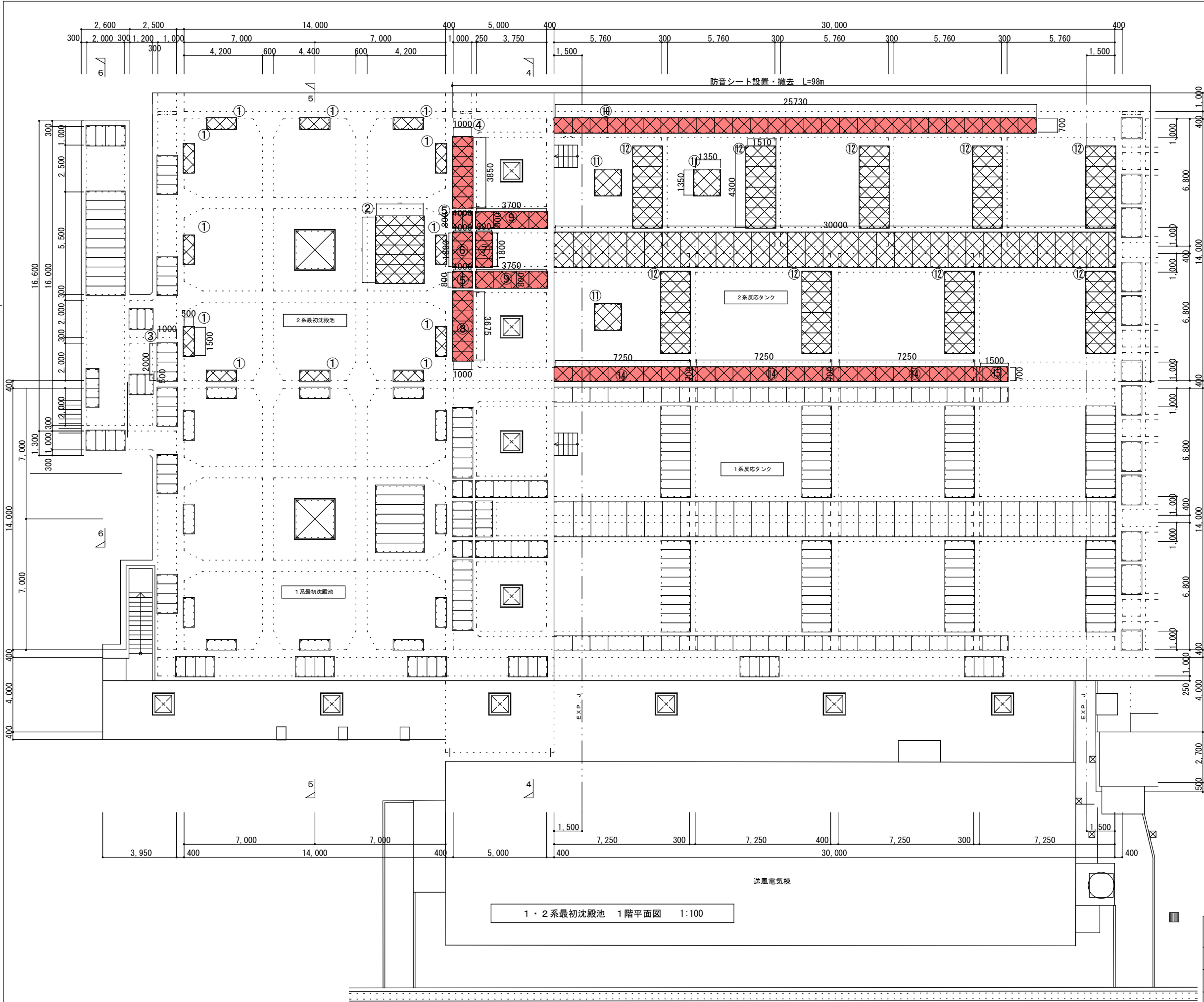


防食仕様:塗布型C種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
2系最初沈殿池		2.0 m <sup>2</sup>	221.9 m <sup>2</sup>	262.3 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	486.2 m <sup>2</sup>	Ⅱ 類	容易
2系反応タンク		49.1 m <sup>2</sup>	283.4 m <sup>2</sup>	7.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	339.5 m <sup>2</sup>	Ⅱ 類	容易

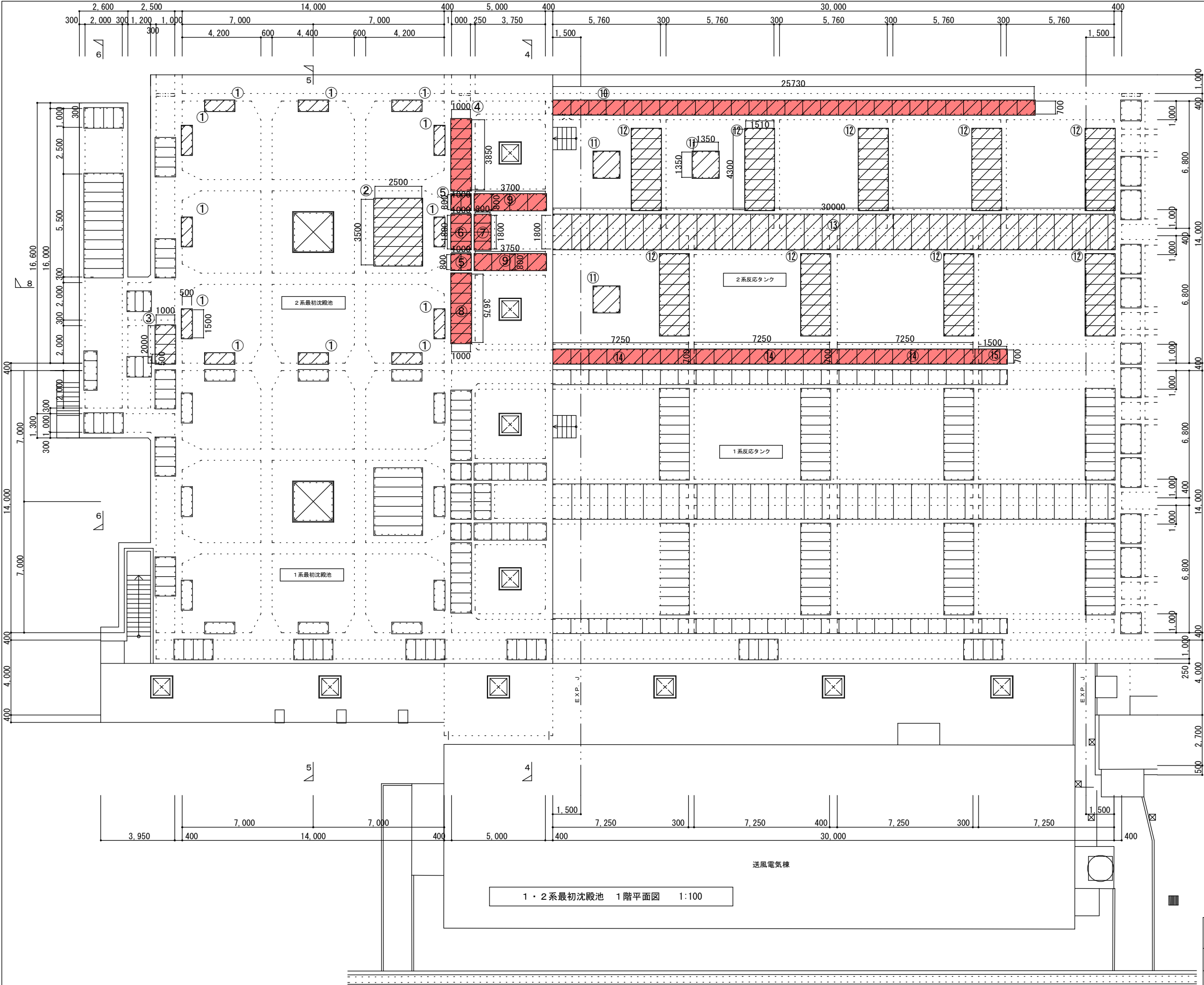
防食仕様:塗布型D種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
スカムピット		1.0 m <sup>2</sup>	9.8 m <sup>2</sup>	1.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	11.8 m <sup>2</sup>	I 類	容易

※劣化部除去および断面修復の施工範囲についても同範囲とする。  
※劣化部除去深さ、断面修復厚さについては、コンクリートの調査を行い、監督員と協議すること。

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池 防食塗装 断面図 (2)		
縮 尺	1/100	番 号	全 51 葉之内 48 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



実施			
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池1F平面図（撤去）		
縮尺	1/100	番号	全 51 葉之内 49 号
福岡県流域下水道事務所			



名称	B	H	開口寸法		個数
①	33	37	500	1500	12
②	33	37	2500	3500	1
③	33	37	1000	2000	1
④	33	37	1000	3850	1
⑤	33	37	1000	800	2
⑥	33	37	1000	1800	1
⑦	33	37	800	1800	1
⑧	33	37	1000	3675	1
⑨	33	37	800	3750	2
⑩	33	37	700	25730	1
⑪	33	37	1350	1350	3
⑫	33	37	1510	4300	9
⑬	33	37	1800	30000	1
⑭	33	37	700	7250	3
⑮	33	37	700	1500	1

簡易覆蓋更新 凡例	
合成木材蓋	

実施

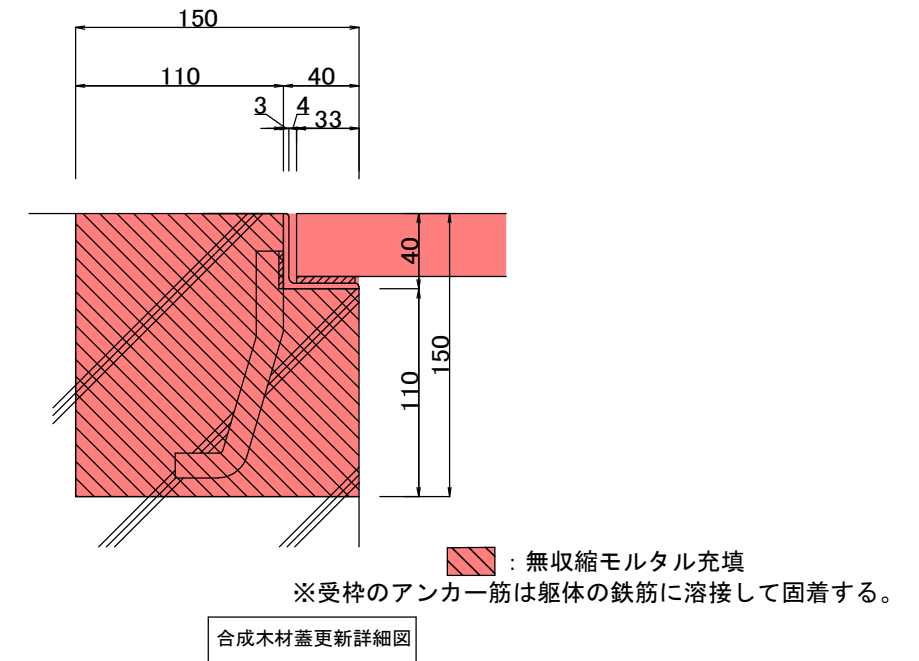
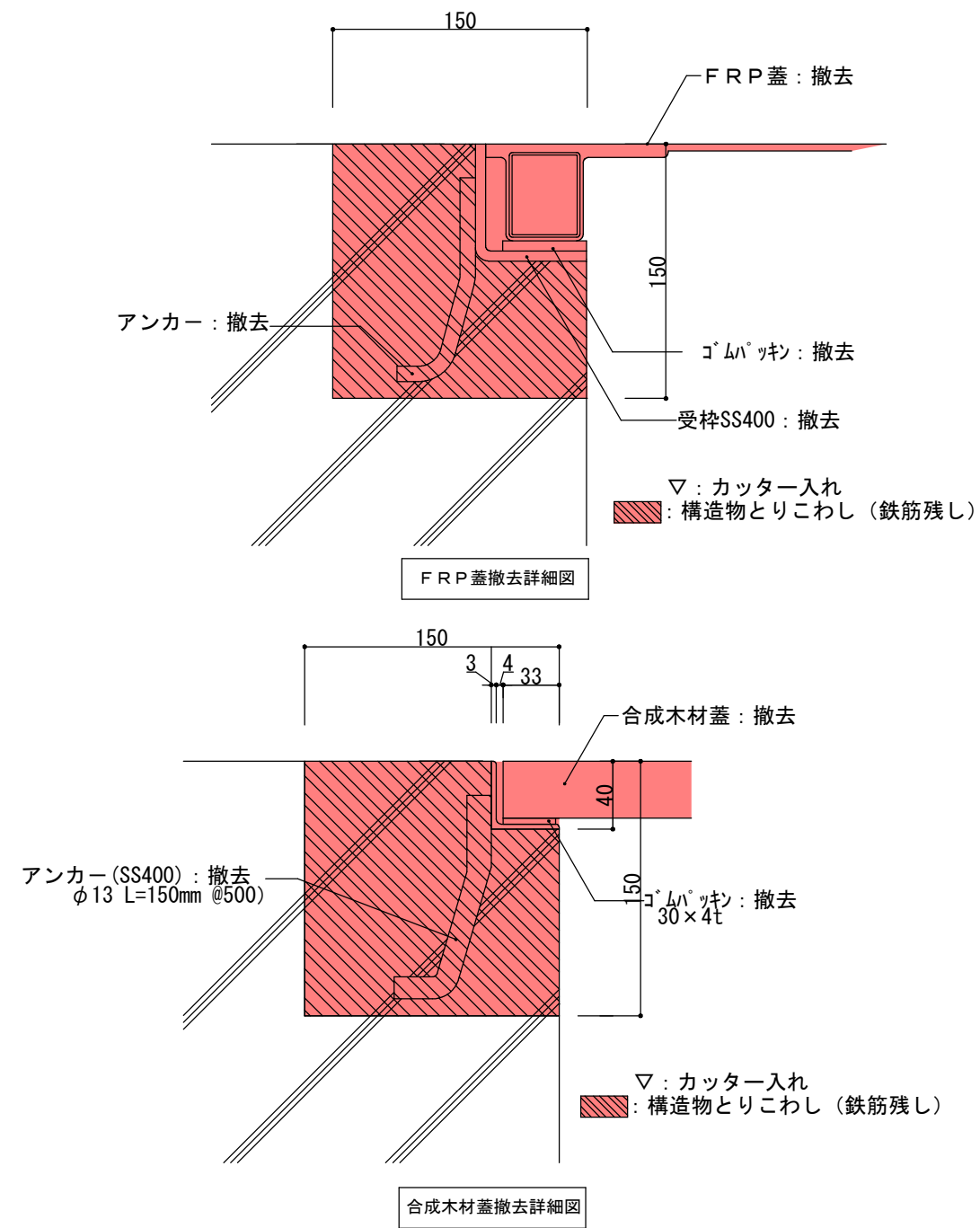
宝満川流域下水道事業

工事名 宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事

図面名 1・2系最初沈殿池1F平面図（更新）

縮尺 1/100 番号 全 51 葉之内 50 号

福岡県流域下水道事務所



## 実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列反応槽耐震及び防食工事		
図面名	簡易覆蓋撤去更新詳細図		
縮尺	図示	番号	全51葉之内51号
福岡県流域下水道事務所			